

地域意見交換の結果について

目 次

1. 開催内容	1
2. 開催日時及び参加者数.....	2
3. 地域ごとのご意見まとめ	
3-1 六地蔵地域	3
3-2① 黄檗地域.....	5
3-2② 黄檗地域（志津川）	7
3-3① 宇治地域.....	9
3-3② 宇治地域（白川）	11
3-4 槇島地域.....	13
3-5 小倉地域.....	15
3-6 大久保地域	17
3-7 山間地域.....	19
3-8 全地域.....	21
4. アンケート結果	
4-1 六地蔵地域	23
4-2 黄檗地域.....	24
3-3 宇治地域.....	25
3-4 槇島地域.....	26
3-5 小倉地域.....	27
3-6 大久保地域	28
3-7 山間地域.....	29

1. 開催内容

まちづくりオープンハウス

【開催内容】

- ① マスタープラン説明パネルの展示
- ② マスタープラン説明映像の上映

【意見の聴取方法】

- 対話形式での聞き取り
- 記述式アンケート
- シールアンケート(強み・弱み)
- 付箋アンケート(アイデア提案)



① 説明パネルの展示



② 説明映像の上映

意見交換会

【開催内容】

- ③ マスタープラン素案の説明
- ④ オープンハウスでの意見紹介

【意見の聴取方法】

- まちづくりに関する意見交換



③素案の説明



④オープンハウスでの
意見紹介

オンライン版 まちづくりオープンハウス

【開催内容】

- ⑤ マスタープラン説明パネルの掲載(①と同じもの)
- ⑥ マスタープラン説明映像の上映(②と同じもの)

【意見の聴取方法】

- オンライン版アンケート

2. 開催日時及び参加者数

【市内 10 会場での開催結果】

開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月12日(火)	山間地域	アクトパル宇治	11:00~15:30	26名	15:30~17:00	25名
10月14日(火)	宇治地域	ゆめりあうじ	11:00~18:00	19名	19:00~20:30	8名
10月15日(金)	槇島地域	槇島コミュニティセンター	14:00~18:00	16名	19:00~20:30	6名
10月18日(月)	黄檗地域	黄檗体育館	11:00~18:00	23名	19:00~20:30	11名
10月21日(木)	白川	白川集会所	13:30~15:30	5名	15:30~17:00	2名
10月23日(土)	志津川	志津川集会所	13:30~15:30	16名	15:30~17:00	13名
10月29日(金)	六地蔵地域	六地蔵公会堂	11:00~18:00	11名	19:00~20:30	8名
10月30日(土)	市内全域	生涯学習センター	11:00~18:00	32名	19:00~20:30	8名
11月2日(火)	大久保地域	南宇治コミュニティセンター	11:00~18:00	14名	19:00~20:30	11名
11月11日(木)	小倉地域	西小倉コミュニティセンター	11:00~18:00	21名	19:00~20:30	13名

→ 延べ 288 名（オープンハウス 183 名、意見交換会 105 名）の方にご参加いただきました。

【オンラインでの開催結果（アンケートの回答者数）】 ※ 9月29日(水)から11月19日(金)まで実施

お住まいの地域	アンケート回答者数
黄檗地域	2名
宇治地域	3名
槇島地域	1名
小倉地域	3名
大久保地域	1名

→ 10 名の方にアンケートにご協力頂きました。

3. 地域ごとのご意見まとめ

3-1 六地蔵地域（六地蔵・木幡・平尾台）

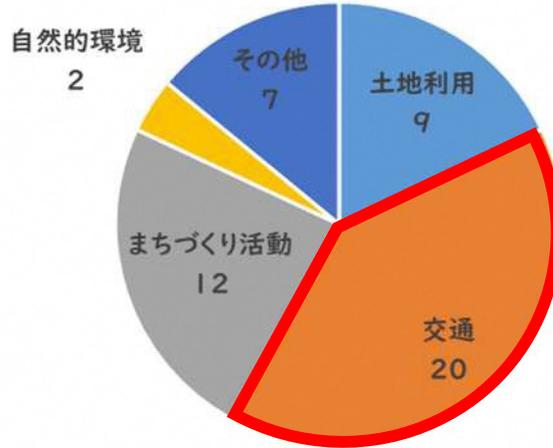
開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月29日(金)	六地蔵地域	六地蔵公会堂	11:00~18:00	11名	19:00~20:30	8名

(1) ご意見の総括（オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言）

ご意見の分野ごとに見ると

- 交通
- まちづくり活動
- 土地利用

に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (9件)	<p>○北の玄関口の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵は、京都市と接しており地域性に配慮したまちづくりが必要 ・六地蔵は北の玄関口と言われるがそれにふさわしい看板などもない <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p66】（地域別構想：5-1 土地利用の方針(2) 商業地）</p> <p>京都市域と一体となった業務施設、住宅などのまちなみを形成していることから、相互効果が期待できるよう地区計画等を活用し、本市の北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出を検討するとしています。</p>
	<p>○駅周辺の変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型のスーパーは、高齢者になると食品売り場に行くのが遠くなる。商店街の小さい店舗の方が便利になる。 ・マンションができ、人口が増加することでまちの活性化を図ってほしい。 ・マンションが増えているが、周辺の整備も同時にしていく必要があり、周辺景観との調和も必要。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p66】（地域別構想：5-1 土地利用の方針(2) 商業地）</p> <p>連携拠点として、鉄道駅と連携した快適な歩行空間の充実を図るなど、回遊できるまちづくりに努めるとともに、市民の商業ニーズの変化を踏まえ地域の特性をいかした魅力ある商業・業務集積を誘導します。</p>

部門	市民意見	市の見解
交通 (20件)	<p>○利便性の良さを活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵は交通の利便性が良く通勤にはとても便利で、若い人に選んでもらえる地域だと思う。 ・大阪、滋賀、奈良などこへ行くにも便利な場所。など 	<p>○位置づけ済【p63】(地域別構想: 1.地域の特徴)</p> <p>多様な交通ネットワークを活かし、京都市域と一体となった快適でにぎわいや活力ある都市空間が形成されている地域と考えております。</p>
	<p>○歩道の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良街道や御蔵山商店街の歩道がデコボコで歩行者や自転車が危なくて通りにくい。 ・町並交差点から京阪六地蔵に抜ける道はスピードを出す車が多く歩行者にとって危険だ。など 	<p>○位置づけ済【p67】(地域別構想:5-2 交通の方針(2)道路②その他道路)</p> <p>地域内の日常生活に密着している主要な道路は、歩行空間の確保等安全性を考慮した整備、改良を検討します。</p>
まちづくり活動 (12件)	<p>○地域コミュニティについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御蔵山商店街に高齢者が「通いの場」というコミュニティを作るなど動きはあるが世代間交流ができるような仕組みがない。 ・町内会など既存のコミュニティの維持が困難になってきている。など 	<p>○位置づけ済【p68】 (地域別構想:5-5まちづくり活動の方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランではまちづくりという観点から地区まちづくり協議会と将来のまちの姿を共有し、活動を支援するとしています。 ・町内会の活性化に関しては、関連部署と情報共有を図ります。
自然的環境 (2件)	<p>○木幡池を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木幡池は四季を通じて野鳥が飛来する市内でも数少ない場所であり木幡池を活かしたまちづくりをしてほしい。など 	<p>○位置づけ済【p67】(地域別構想: 5-3 自然的環境の保全の方針(1)自然的環境)</p> <p>木幡池は貴重な地域資源であり、その保全を図るため、自然的環境の保全の方針において「木幡池は、治水機能を確保しつつ、関係機関と連携を図り、地域の人々にも身近で親しまれる自然豊かな水辺づくりをめざします」としています。</p>

(3) オープンハウスの感想など

- ・宇治市の魅力として市全体の人が考える魅力と六地蔵地域の人が考える魅力に少しズレがあるのが印象的でした。
- ・丁寧に説明して下さって知らなかったことをたくさん知ることができました。既存のインフラを活用したまちづくりをしてほしい。



3-2① 黄檗地域 (五ヶ庄・羽戸山・菟道・明星町・志津川)

開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月18日(月)	黄檗地域	黄檗体育館	11:00~18:00	23名	19:00~20:30	11名

(1) ご意見の総括(オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言)

ご意見の分野ごとに見ると

- 交通
 - 土地利用
 - 災害
- に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (10件)	<p>○日常生活サービス施設へのアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により買い物難民が増えている ・買い物、通院、銀行へのアクセスが困難な地域がある <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○修正【p72】</p> <p>(地域別構想:5-1 土地利用の方針(1) 住宅地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低層住宅地の形成に文言を追加 <p>「また、高齢化の進行等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズの変化に対し、土地利用の方針を踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。」</p>
	<p>○開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾斜地に宅地開発が行われると聞いている。高い擁壁や区画から出る道路の位置など不安な点も多く、土地利用の方針、森林・緑地等の「市街地の背後に広がる森林や宇治川河川敷等の緑の保全に努めます」と合わない ・住宅地周辺の開発では災害避難路などを含め十分検討してほしい <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○関連計画等</p> <p>(宇治市まちづくり景観条例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市では、無秩序な開発事業を防止し、市民・事業者・市の協同により地域の特性に応じた良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るため、宇治市まちづくり景観条例を定めております。 ・個別の宅地開発については、関連部署と情報共有を図ります。

部門	市民意見	市の見解
交通 (17件)	<p>○歩道について</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道が狭く、凸凹も多く歩きにくい JR黄檗駅周辺の道路を歩きやすく整備してほしい 駅周辺のバリアフリー 萬福寺の前の道路がガタガタして歩きにくい など 	<p>○位置づけ済【p73・p74】</p> <p>(地域別構想:5-2 交通の方針(1) 公共交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> JR 黄檗駅及び駅周辺のバリアフリー化に取組み、交通結節点機能の向上に努めます。 主要な道路については、歩行区間の確保や踏切の改善、交差点改良など、歩行者の安全性を考慮した整備・改良を検討します。
	<p>○公共交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民も力をあわせてバス路線を守るような取組みを 自家用車のない人には東西移動が困難 黄檗体育館など公共施設と住宅地を結ぶ交通機関があると便利 など 	<p>○修正【p49】</p> <p>(全体構想:4-3 交通(1) 公共交通)</p> <p>「市民生活を支える公共交通体系をめざします」の内容を修正</p> <p>「市民一人ひとりが公共交通機関を支えていることを認識した上で、地域の実情やニーズの変化に応じた新たな移動ニーズへの対応や、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの構築を進めます。</p> <p>また、技術革新に伴う次世代交通サービスの調査・研究を進めます。」</p>
防災 (10件)	<p>○災害への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 山林の整備、土砂災害警戒区域が近く心配。 ハザードマップの情報について、ペットを連れていける所や高齢者や障がい者に配慮した避難所など内容を充実させてほしい。 災害は想定外に発生するので、それに対応できるまちづくりを。 など 	<p>○位置づけ済【p30】</p> <p>(全体構想:基本目標その3)</p> <p>「総合的に災害リスクに対応できる都市づくり」として、災害リスクの情報を共有したうえで防災・減災対策を実施し、多様な災害リスクと共存しながら安全で安心して住み続けられる都市づくりをめざします。</p>

(3) オープンハウスの感想など

- ・市の職員の方と同じ地域に住んでいる方と、パネルを見ながらお話できたのは貴重な経験でした
- ・これから自分たちが快適に暮らせるように宇治市全体で考えて、より良い環境になればと願っています
- ・実際の行政に具体的に反映させる拘束力が弱いのではないか
- ・市民の生の声を吸い上げようとする意欲には敬意を表する



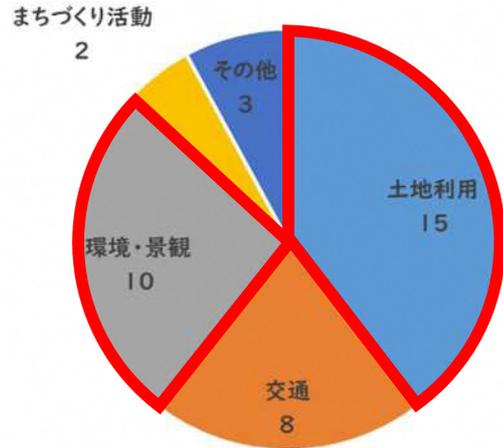
3-2② 黄檗地域 (志津川)

開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月23日(土)	志津川	志津川集会所	13:30~15:30	16名	15:30~17:00	13名

(1) ご意見の総括(オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言)

ご意見の分野ごとに見ると

- 土地利用
 - 環境、景観
- に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (15件)	<p>○市街化調整区域のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域であるため、建物が老朽化しても建て替えができない、売買条件の折り合いが付かないなど新たな土地利用が困難で、子どもたちも志津川に戻って来れない。 ・休耕地において、資材置場の利用が多い。 ・高齢化が進みこのままではコミュニティが成り立たなくなるため、地区計画制度を活用したまちづくりに取り組んでいきたい。 など 	<p>○修正【p73】(地域別構想: 5-1 土地利用の方針(4) 山間集落地)</p> <p>地域と課題を共有しながらまちづくりの検討を進めるため、文言を追加。</p> <p>「住環境の維持や秩序ある発展など地域振興に向けたまちづくりは、市街化調整区域の性格を変えない範囲で、<u>地区計画その他の手法の活用について、地元とともに検討を進めます。</u>」</p>
交通 (8件)	<p>○地域の移動手段について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志津川バイパスを走っている「やんたんバス」に乗せてほしい。 ・高齢になって、歩くのがしんどくなった時に、移動手段がなく心配している。 など 	<p>○修正【p49】</p> <p>(全体構想:4-3 交通(1) 公共交通)</p> <p>全体構想の交通の方針「市民生活を支える公共交通体系をめざします」の内容を修正</p> <p>「市民一人ひとりが公共交通機関を支えていることを認識した上で、<u>地域の実情やニーズの変化に応じた新たな移動ニーズへの対応や、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの構築を進めます。</u></p> <p>また、技術革新に伴う次世代交通サービスの調査・研究を進めます。」</p>

部門	市民意見	市の見解
公園・緑地、環境、景観 (10件)	<p>○自然環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺を山に囲まれており、一見緑豊かな地域に見えるが、人工林は放置され、自然林は松枯れやナラ枯れにより倒木が見られるなど、緑豊かな山の体をなしていない。 ・近年の集中豪雨により、堆積した落葉や土砂の流出により竹が倒れ通れなくなっている道もある。 ・ホテルの飛び交うまちづくりは、取り組んでいないので記載をなくしてほしい。 など 	<p>○修正【p71】</p> <p>(地域別構想:2.地域の現状)</p> <p>地域の現状の志津川に関する文言を変更</p> <p>「地域住民によるホテルの飛び交うまちづくりのため生態系を守る取組みをすすめている」を削除し、「志津川周辺の山では、人工林は手入れされずに放置され、自然林は松枯れやナラ枯れによる倒木が見られます」とします。</p>
まちづくり活動 (2件)	<p>○パートナーシップによるまちづくり活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域としては、市街化調整区域における地区計画を活用したまちづくりに一刻も早く取り組みたいので、市も協力してほしい。 など 	<p>○位置づけ済み【p76】</p> <p>(地域別構想:5-5 まちづくり活動の方針)</p> <p>地域と課題を共有しながら、市・市民・事業者がパートナーシップによるまちづくり活動の推進に取り組むべきと考えています。</p> <p>まちづくり活動の方針のとおり、地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援していきます。</p>
その他 (3件)	<p>○地域活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天ヶ瀬ダムへの観光や、地域資源を活用した観光を連携させて、地区の活性化につなげてほしい。 など 	<p>○位置づけ済み【p74】</p> <p>(地域別構想:5-3 自然的環境の保全および景観形成等の方針(2)公園・緑地)</p> <p>天ヶ瀬ダムの放流を間近で体感することが出来る広場の整備や、宇治川の堤防を利用した緑道などとあわせて、市民の散策やレクリエーションの場とするともに、周辺観光につながるよう自然的環境を損なわない範囲での利用を進めていきます。</p>

(3) オープンハウスの感想など

- ・参加して良かったです。今後もこのような催しがあると市民として積極的にかかわることができます。



3-3① 宇治地域（宇治・折居台・琵琶台・天神台・南陵町・神明・白川）

開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月14日(火)	宇治地域	ゆめりあうじ	11:00~18:00	19名	19:00~20:30	8名

(1) ご意見の総括(オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言)

ご意見の分野ごとに見ると

- 交通
 - 土地利用
 - まちづくり活動
- に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (12件)	<p>○居住ニーズの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢になり車を手放したら折居台には住めなくなり、駅周辺のマンションに引っ越した ・用途地域は昭和40年代に作られたものがベースとなっているが、その時代とは産業構造、人口などが大きく変わっており、用途地域と居住ニーズがあっていない所がある <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○修正【p80】(地域別構想: 5-1 土地利用の方針(1)住宅地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低層住宅地の形成に文言を追加 <p>「また、高齢化の進行等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズの変化に対し、土地利用の方針を踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。」</p>
	<p>○新たな工業立地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業地の面積が狭すぎる。工業団地までを作るスペースは無いかもしれないが、対策が必要。 ・宇治市で素晴らしいものづくりをしても、会社を大きくしようとしたときに宇治市から出ていくという話を聞く <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p39】</p> <p>(全体構想:将来的な都市の骨格「産業立地検討エリア」)</p> <p>全体構想の将来的な都市の骨格「産業立地検討エリア」に記載のとおり、「将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、定住人口につながる多様な働く場を創出するための検討を進めていくエリア」を設定しました。</p>

部門	市民意見	市の見解
交通 (19件)	<p>○歩行空間の確保</p> <p>・車が走る道は整備されているが、歩道が危ない。歩道が途中で終わってしまい、反対側の歩道に渡らないといけないところもある。子どもも大人も安心して歩けるかどうか、それがまちの活性化につながる。</p> <p>・歩行者や車いすで移動するには危ない所が多い。</p> <p>・JR 奈良線複線化で観光客も歩いて来れるまちをめざすのか。 など</p>	<p>○位置づけ済【p82】(地域別構想：5-2 交通の方針(2) 道路②その他道路)</p> <p>「地域内活動を支える道路網の整備」として、幹線道路の整備による通過交通の地域流入を抑制するなど周辺居住環境の向上や、地域全体としての魅力ある歩行者空間づくりをめざします。</p>
	<p>○道路の整備について</p> <p>・中宇治は自動車交通や道路に課題を抱えている。</p> <p>・定住人口や交流人口を増やすには交通が要だが、京都でも縦貫道が出来て寂れてしまったまちがあるように、交通網の整備により、ただ通過されるリスクもあるので十分な検討が必要。 など</p>	<p>○位置づけ済【p82】(地域別構想：5-2 交通の方針(2) 道路①幹線道路)</p> <p>「市街地にアクセスする幹線道路網の整備」として、新名神高速道路開通後の交通状況を見極め、交通の円滑化をはじめ交通容量の拡大や通過交通の市街地流入の抑制などによる交通分散・円滑化の検討を進めていきます。</p>
	<p>○無電柱化について</p> <p>・まちなかの狭い道路は、歩行空間の確保や防災上の観点から無電柱化を進めてほしい。</p>	<p>○修正【p56】</p> <p>(全体構想：4-6 都市防災の方針)</p> <p>「無電柱化や耐震化などにより電気、ガス、上・下水道などのライフラインの機能強化をめざします」と追記いたします。</p>
防災 (5件)	<p>○防災に関する情報について</p> <p>・地域の自主防災のための情報をもっと発信してほしい。(町内会に情報が入ってこない)</p> <p>・宇治川の堤防は水害時にダムがあるから絶対安心とは思えない。 など</p>	<p>○位置づけ済【p56】</p> <p>(全体構想：4-6 都市防災の方針)</p> <p>「災害リスクを踏まえたまちづくりを進めます」において、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努め、災害リスクを踏まえた上でまちづくりを進めます。</p>
	<p>○中宇治のポテンシャルについて</p> <p>・中宇治は魅力的な施設が出来て、人口が最近はやっているようだ。今後もよくなる可能性がある。</p> <p>・JR奈良線の複線化により定時制が確保されると、ベットタウンとして再び選ばれる可能性が出てくる。</p> <p>・産業が動くと雇用が生まれ生活ができ、まちが変わる。 など</p>	<p>○位置づけ済【p84】</p> <p>(地域別構想：5-5 まちづくり活動の方針)</p> <p>JR 宇治駅・京阪宇治駅周辺の商店街等やお茶と宇治のまち歴史公園、産業支援拠点等を含む一帯を「モデルエリア」に位置付け、子育て世代の支援と地域の活性化につながる一体的な取り組みを進めます。</p>
まちづくり活動 (9件)		

(3) オープンハウスの感想など

- ・どのことも単に理想にならずぜひ実現できることを一市民として協力し願っております。
- ・計画プランの実行には、相当な時間と予算が必要であることを改めて認識いたしました。



3-3② 宇治地域（白川）

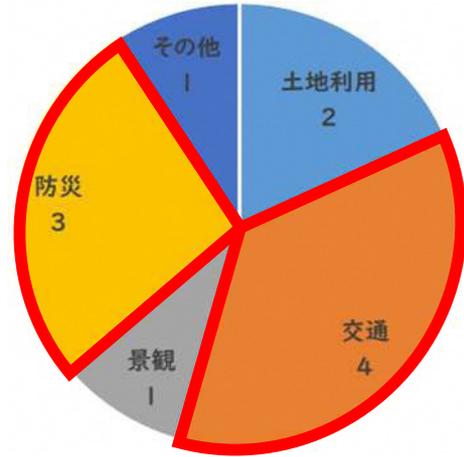
開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月21日(木)	白川	白川集会所	13:30~15:30	5名	15:30~17:00	2名

(1) ご意見の総括（オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言）

ご意見の分野ごとに見ると

- 交通
- 防災

に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (2件)	<p>○白川の良さを活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白川には歴史的遺産や街並みがあり、それを活かしたまちづくりをしてほしい。 ・お茶の白川として頑張れるようなまちづくりをしてほしい。 	<p>○位置づけ済【p83】（地域別構想：5-3 自然的環境の保全および景観形成等の方針（4）景観の方針）</p> <p>景観の方針として、「重要文化的景観に選定された地区や白川などその周辺地域については宇治らしい趣のある風情を守り、育てるため、歴史的風致の維持向上に重点的に取り組むエリアとし、各種施策に取り組みます。」</p>
交通 (4件)	<p>○道路ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白川では通過交通による渋滞が発生している。 ・新名神高速道路の整備後の車の流れを心配している。 ・広域的な交通ネットワークの検討をしてほしい。 ・白川に通過交通が流れてこないよう対策してほしい。 	<p>○位置づけ済【p82】（地域別構想：5-2 交通の方針（2）道路①幹線道路）</p> <p>「市街地にアクセスする幹線道路網の整備」として、新名神高速道路開通後の交通状況を見極め、交通の円滑化をはじめ交通容量の拡大や通過交通の市街地流入の抑制などによる交通分散・円滑化の検討を進めていきます。</p>

部門	市民意見	市の見解
自然的環境、景観 (1件)	<p>○景観の保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観地区の選定に向けた取り組みを頑張ってほしい。 	<p>○位置づけ済【p83】(地域別構想: 5-3 自然的環境の保全および景観形成等の方針 (4) 景観)</p> <p>重要文化的景観に選定された地区や白川などその周辺地域については宇治らしい趣のある風情を守り、育てるため、歴史的風致の維持向上に重点的に取り組むエリアとし、各種施策に取り組んでいきます。</p>
防災 (3件)	<p>○避難場所の集会所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点、避難所となる集会所は地域にとって重要な施設である。 ・現在の集会所は大雨の際に危険な位置であり、耐震的にも問題がある。 ・集会所の建替えの取り組みをしているため、宇治市の支援をお願いしたい。 	<p>○関連計画(公共施設等総合管理計画)</p> <p>公共施設等の適正配置や計画的保全により持続可能な市民サービスを維持していくため、公共施設等の現状と課題を整理し、更新・統廃合・長寿命化などの基本的な方針を定めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連部署と情報共有を図ります。

(3) オープンハウスの感想など

- ・若手茶農家と宇治市が意見交換を行う場を設けてほしい。



3-4 榎島地域（榎島町）

開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月15日(金)	榎島地域	榎島コミュニティセンター	14:00~18:00	16名	19:00~20:30	6名

(1) ご意見の総括（オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言）

ご意見の分野ごとに見ると

- 交通
- 土地利用

に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (14件)	<p>○新たな産業立地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎島は産業のまちなので、住むエリア工業エリアをちゃんと分けて住みやすいまちに。 ・榎島には工業用の広い土地はあまり残っていない。 ・既存の工業、準工業のエリアで工場の拡大ができる場所がない。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p39】(全体構想:将来的な都市の骨格「産業立地検討エリア」)</p> <p>全体構想の将来的な都市の骨格に「産業立地検討エリア」に記載のとおり、「将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、定住人口につながる多様な働く場を創出するための検討を進めていくエリア」を設定しました。</p>
	<p>○巨椋池干拓田を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎島には、巨椋池干拓田があり、農業も産業として成り立つ唯一の場所である。 ・コロナウイルス感染症の拡大により、ライフスタイルが大きく変わった。近場に自然があり、そこで子育てができ、働けるまちというのはポテンシャルが高いのではないか。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p90】(地域別構想: 5-3 自然的環境の保全および景観形成等の方針 (1) 自然的環境)</p> <p>巨椋池干拓田など広大な農地を代表とした自然的環境と調和したゆとりある生活環境を形成し、新たな生活スタイルをめざします。</p>

部門	市民意見	市の見解
交通 (21件)	<p>○道路の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槇島の道路網を計画的に整備してほしい。 ・旧来の田園地域は農道ばかりで、普通車がすれ違える道路が少なく狭くて状態の悪い道も多い。 ・十一外線の鋭角の交差点が危険なため点滅信号を付けてほしい など 	<p>○位置づけ済【p89】(地域別構想: 5-2 交通の方針(2) 道路①幹線道路)</p> <p>槇島地域は行政界に位置する地域であり、またものづくり産業の集積地であることから広域的なまちづくりの視点による道路網の構築により、市民生活と産業活動の活性化を図る必要があるとしています。</p>
	<p>○公共交通のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きい会社は向島駅から会社まで自社のバスで送迎しており、徳洲会病院も通院の人向けのバスを運行している。そうしたものと上手く連携してみんなが利用できる交通体系ができればよい。 ・車を運転しない人が増えているので、従業員を集めるためには何らかの公共交通が必要。 など 	<p>○位置づけ済【p89】(地域別構想: 5-2 交通の方針(1) 公共交通)</p> <p>槇島地域には鉄道駅がなくバスの便も少ないことから、移動手段の確保に向けて、新たな移動ニーズへの対応について、既存公共交通を基盤とした、持続可能な手法について検討します。</p> <p>また、地域住民の主体的な取組みに対して、既存公共交通との整合を図りながら、その運営に関する支援策を検討します。</p>
防災 (7件)	<p>○防災の情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内水については雨水貯留管の整備によりだいぶ良くなった。ハザードマップには 5m冠水と記載されている地域があるが、危険度が強調されすぎていないか。 ・災害ハザードマップを共有しやすいように、情報を発信するだけのアプリを作ってはどうか。(安否確認のアプリは発信・受信により回線混雑になる) など 	<p>○位置づけ済【p56】(全体構想:4-6 都市防災の方針)</p> <p>都市防災の方針の「災害リスクを踏まえたまちづくりを進めます」において、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努め、災害リスクを踏まえた上でまちづくりを進めます。</p>
まちづくり活動 (10件)	<p>○地域の集える場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの集える青少年センターが欲しい ・小さな子どもが遊べる場所が少ない ・地域の拠点となり人が集える場所を作してほしい など 	<p>○関連計画(公共施設等総合管理計画)</p> <p>公共施設等の適正配置や計画的保全により持続可能な市民サービスを維持していくため、公共施設等の現状と課題を整理し、更新・統廃合・長寿命化などの基本的な方針を定めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連部署と情報共有を図ります

(3) オープンハウスの感想など

- ・長い目で見て住みよいまちづくりをめざして欲しいと思います。
- ・生まれた時から宇治に住んでいるので懐かしい写真があり良かったなと思いました。
- ・将来計画にこの地域の空き家対策、再活性化も一体的に考えてほしい。



3-5 小倉地域 (小倉町・伊勢田町・安田町)

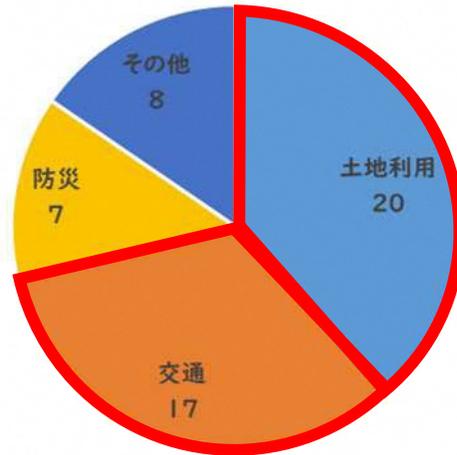
開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
11月11日(木)	小倉地域	西小倉コミュニティセンター	11:00~18:00	21名	19:00~20:30	13名

(1) ご意見の総括(オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言)

ご意見の分野ごとに見ると

- 土地利用
- 交通

に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (20件)	<p>○巨椋池干拓田を中心とした農地の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バードウォッチングのやぐらを建てるなど、巨椋池干拓田をいかしてほしい。 ・巨椋池干拓田の休耕田を利用しているが、水が良く管理されており、今後も大切にすべき。 ・農地を工業用の土地にするのではなく、工業地は大きい道路の沿道に作ればよい ・子どものころは、茶摘み体験があったが、今はその茶畑がない。今後も農業を大事にすべき。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p96】(地域別構想: 5-1 土地利用の方針(4) 農地)</p> <p>農業やみどりは大事であり、基本的には守るべきと考えています。農業の土地利用の方針としても、広大な巨椋池干拓田は市街化調整区域および農業振興地域であり、引き続きその保全・振興に努め、地域に密着した農業の振興とバランスのとれた土地利用となるよう恵まれた自然・農業環境の維持・保全に努めるとしています。</p>
	<p>○近鉄小倉駅周辺のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任天堂資料館が小倉駅の近くに来れば、文化的な施設が集まってくるのではないか。 ・駅の高架を広めにつくり、そこに店舗や行政サービスコーナーが入るとよいのでは。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p95】(地域別構想: 5-1 土地利用の方針(2) 商業地)</p> <p>既存商店などが並ぶ近鉄小倉駅周辺では、個性的で特色のある生活と商いが融合した活気あるまちを目指すとともに、駅前やアクセス性の良さを活かした上で、任天堂資料館(仮称)の新たな魅力を加え、主要地方道城陽宇治線沿道には魅力ある商業・業務集積を誘導するとしています。</p>

部門	市民意見	市の見解
交通 (17件)	<p>○道路の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東西を結ぶ道路が危険であり、今後のまちづくりによりさらに渋滞が起こるなら、拡幅など検討してほしい。 ・近鉄を跨いで東西に移動するのが困難。踏切を渡りやすくしてほしい。 ・近鉄小倉駅西側は、小学生も通学で通っているので安全な道路整備を。 など 	<p>○位置づけ済【p96】(地域別構想: 5-2 交通の方針(1) 公共交通)</p> <p>まちの玄関にふさわしいにぎわいのある駅前空間となるよう近鉄小倉駅周辺の整備を関係機関と連携し進めます。また、個性ある駅東西の地域を連絡することでまちの活性化につなげるとともに水害など災害時の避難通路とするなど防災力向上を検討します。</p>
	<p>○公共交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小倉からバスなどで東地域へ行くことができるようにしてほしい。 ・拠点間(特に小倉から宇治)の行き来ができるバスがほしい。 など 	<p>○位置づけ済【p96】(地域別構想: 5-2 交通の方針(1) 公共交通)</p> <p>中枢拠点をはじめ他の拠点とまちの魅力を共有できるようにまちづくりと一体となった交通ネットワークの構築と、既存公共交通を基盤とした地域住民の新たな移動ニーズへの対応などを検討します。</p>
防災 (7件)	<p>○防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小倉は住宅が密集しており、地震時に火災が発生するなど複合的な災害には弱い。防災について、もっと地域で考えていく必要がある。 ・災害時の情報共有についてもっと明確にほしい。道路の車からのアナウンスでは聞こえない。 など 	<p>○関連計画等(宇治市地域防災計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生前の避難という観点からもハザードマップでの情報共有は重要と考えています。 ・関係部署と情報共有しながら引き続き検討が必要と考えています。

(3) オープンハウスの感想など

- ・ 私たちの宇治は、このように素晴らしい所だと胸を張れる地域づくりを目指してください。
- ・ 宇治市が主として何をめざしているのか分かりにくい。
- ・ 大和街道は歴史ある街道であり、活気あるまちにしてほしい。
- ・ 近鉄小倉駅周辺がどうなるのか楽しみです。



3-6 大久保地域 (大久保町・伊勢田町・広野町・羽拍子町・開町・寺山台・神明)

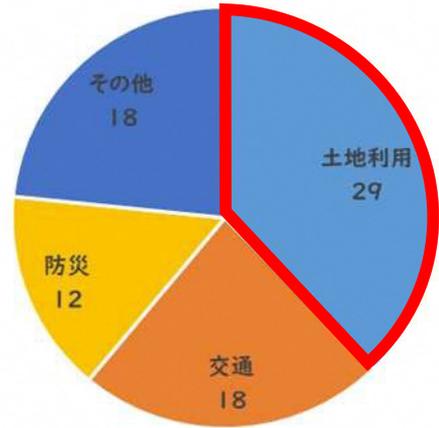
開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
11月2日 (火)	大久保地域	南宇治コミュニティセンター	11:00~18:00	14名	19:00~20:30	11名

(1) ご意見の総括(オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言)

ご意見の分野ごとに見ると

- 土地利用
- 交通
- 防災

に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (29件)	<p>○日常生活サービス施設へのアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保の平盛から駅周辺の食品スーパーへ高齢者が歩いて行くのはしんどい。 ・福祉施設のお弁当や移動スーパーが地域では人気で地域の買い物ニーズが変化しているのでは。 ・食品スーパーや衣料品店が近くにできればよい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○修正【p102】(地域別構想: 5-1 土地利用の方針(1)住宅地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低層住宅地の形成に文言を追加 <p>「また、高齢化の進行等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズの変化に対し、土地利用の方針を踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。」</p>
	<p>○ものづくり産業の用地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスパークの会社で、業務拡大のため、もっと広い土地を探している会社がある。すでに市外に出ていった会社もあり税金や雇用も減るのではないかと。 ・ものづくりが大事。良い技術を持っている会社が市外へ出ていくのはもったいない。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>○位置づけ済【p39】(全体構想:将来的な都市の骨格「産業立地検討エリア」)</p> <p>全体構想の将来的な都市の骨格の「産業立地検討エリア」に記載のとおり、「将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、定住人口につながる多様な働く場を創出するための検討を進めていくエリア」を設定しました。</p>

部門	市民意見	市の見解
交通 (18件)	<p>○道路の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新宇治淀線は整備されて通りやすくなったが、宇治淀線は歩道が急に狭くなったり、高低差が大きかったり通りにくい。車いすでは、狭くてUターンができない。 ・大久保小学校の近くの歩道も、小学生が信号待ちするには狭すぎる。 など 	<p>○位置づけ済【p103】(地域別構想:5-2交通の方針(2)道路①幹線道路)</p> <p>幹線道路の方針として、朝夕の交通渋滞の緩和や安全性向上のため、駅へアクセスする主要地方道宇治淀線および主要地方道城陽宇治線の拡幅など道路整備について引き続き関係機関と協力して進めています。</p>
	<p>○周辺道路状況の変化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新名神高速道路が開通すると、そこから宇治市内への交通量が増えるかもしれない。 ・城陽にできるアウトレットモールに行き来する車は、大久保地域の道路を通過して渋滞するのではと心配している。 など 	<p>○位置づけ済【p51】(全体構想:4-3交通の方針(2)道路)</p> <p>産業や観光振興など今後のまちづくりの動向を踏まえた、地域特性を活かしたまちづくりの必要性、効率的な社会資本整備の必要性などを適宜評価しながら、まちの将来像を見越した道路網づくりに努めます。</p>
防災 (12件)	<p>○地域の防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力をいれて取り組まれている地域の防災計画を公表して、他の地域でも参考にさせてほしい。 ・地域には避難所が少ないのに小中一貫校の整備により小学校が減って避難場所がなくなるのではと心配している。 など 	<p>○位置づけ済【p56】(全体構想:4-6都市防災の方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市防災の方針の「災害リスクを踏まえたまちづくりを進めます」において、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努め、災害リスクを踏まえた上でまちづくりを進めます。 ・関係部署と情報共有を図ります。

(3) オープンハウスの感想など

- ・隣接する市町との連携で大久保地域の発展を願います。
- ・地域づくりには費用と時間がかかる。
- ・ハード面も大事だが、高齢化が進む中で、安心・安全・快適なまちづくりも必要と思う。ソフト面の充実と情報の共有化を考えてほしい。
- ・このまちには緑が少ない。街路樹を増やしてほしい。きれいなまちづくりをみんなでやっていきたい。



3-7 山間地域（炭山・二尾・池尾・東笠取・西笠取）

開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月12日 (火)	山間地域	アクトパル宇治	11:00~15:30	26名	15:30~17:00	25名

(1) ご意見の総括（オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言）

ご意見の分野ごとに見ると

- 交通
 - まちづくり活動
- に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (9件)	<p>○農業振興地域の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東笠取の農業振興地域の指定を外して土地利用の可能性を広げてほしい。 ・「笠取まちづくり計画」の方針に沿った取組みができていないところがある。 ・東笠取は高齢化により農業の担い手不足が深刻で農振地域のままでは益々閑散となる。 ・農業振興地域では農業用水路や農道の整備がほとんどされていない。 など 	<p>○位置づけ済【p108】 (地域別構想:2.地域の現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域外であり農用地区域の指定を外すと土地利用の規制が無くなる地域があるため検討が必要。 ・関係部署と情報共有しながら引き続き検討します。
交通 (15件)	<p>○移動手段の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通がなく、地域外とのつながりがもてない。 ・公共交通を導入し、移動手段を確保してほしい。 ・車を運転しない世代でも移動できる交通の確保。 ・炭山では助け合い事業をやっているが、高齢化が進むと現在運んでいる方が運んでもらう側になる。 ・移動する手段がない人に、スクールバスや福祉バス、アクトパルにやってくる観光バスなどの利用ができないか ・誰にも気兼ねなく利用できる公共交通が必要。 ・交通の問題は切実で、助け合い交通の支援ではなく市が主体となり取り組んでほしい。 など 	<p>○修正【p49】 (全体構想:4-3 交通の方針(1)公共交通) 「市民生活を支える公共交通体系をめざします」の内容を修正 「市民一人ひとりが公共交通機関を支えていることを認識した上で、地域の実情やニーズの変化に応じた新たな移動ニーズへの対応や、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの構築を進めます。また、技術革新に伴う次世代交通サービスの調査・研究を進めます。」</p> <p>○修正【p108】 (地域別構想:3.地域づくりの主な課題) 下線部の文言を追加。「社会的ニーズの変化を踏まえ、地域に必要な移動手段を確保するため、既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応が必要です」</p>

部門	市民意見	市の見解
まちづくり活動(14件)	<p>防災(6件)</p> <p>○災害発生時の避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風が来るたびに倒木で道路の通行が困難 ・災害が起きたとき、東笠取から避難所のアクトバルへ行くのは困難なので地区に集会所を設置してほしい。 ・土砂災害により避難経路である道路の通行ができず、笠取第二小学校へ避難できない。 など 	<p>○関連計画等(宇治市地域防災計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生前の避難という観点からもハザードマップでの情報共有は重要と考えています。 ・関係部署と情報共有しながら引き続き検討が必要と考えています。
	<p>○小学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の中核となる小学校を存続してほしい。 ・学校は運動会や防災活動などで地域コミュニティの中心となる学校の存続、教育環境の充実に関して記載してほしい。 など 	<p>○修正【p108】</p> <p>(地域別構想：1.地域づくりの主な課題)</p> <p>地域内の児童数が少なく、地域交流の中核となる小学校の存続や、教育環境の充実が求められています。</p>
	<p>○地域の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、育友会、地域が一緒になって、児童数減少に歯止めをかけようと、対策委員会を設置し、親子留学のための空き家を探しているがなかなか見つからない。 など 	<p>○修正【p111】</p> <p>(地域別構想：5-5 まちづくり活動の方針)</p> <p>地域住民によるまちづくり活動として笠取第二小学校区では、地域の活性化と児童数増加に向け、学校とともに親子留学などの取組みを進めています。としました。</p>
	<p>○地域の魅力発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山間地域に住む魅力を広く知ってほしい。 ・アクトバルをきっかけに周辺地域を知ってもらう周遊コースの充実。 ・ものづくりをしたい若者に炭山を選んでもらえるように地域産業の応援をしてほしい。 など 	<p>○修正【p107】</p> <p>(地域別構想：1.地域の特徴)</p> <p>「工芸家の集落が形成されており、陶芸等の資源を活用して地域の活性化を図っている地域です。」</p>

(3) オープンハウスの感想など

- ・まちの写真パネルは宇治市内の発展状況がわかりました。
- ・都市計画マスタープランには山間地域の具体的な内容は組み込まれるものではないことは理解するが、地域の具体的な活動や意見などを聞いてもらう場としてはいいなと思いました。
- ・まちづくりの意見が市民から出せるのはとても大事な機会だと思いました。そして、意見が生きることを願っています。



3-8 全地域

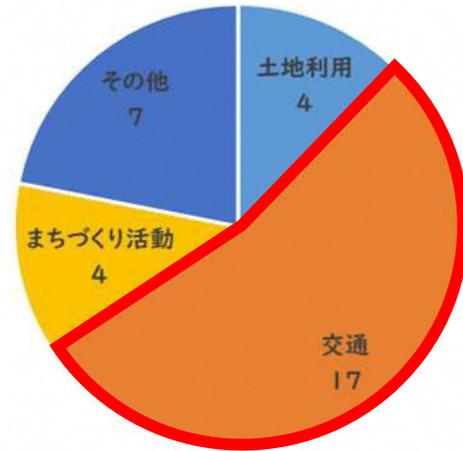
開催日	対象地域	会場	オープンハウス		意見交換会	
			時間	参加者数	時間	参加者数
10月30日 (土)	全地域	生涯学習センター ー	11:00~18:00	32名	19:00~20:30	8名

(1) ご意見の総括(オープンハウスでの聞き取り、記述式アンケートの自由記入欄、意見交換での発言)

ご意見の分野ごとに見ると

○ 交通

に関する意見を多く頂きました。



(2) ご意見の概要

部門	市民意見	市の見解
土地利用 (4件)	<p>○土地利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平尾の医療少年院跡地に図書館を含む複合施設ができればよい。 ・大久保に大規模小売店舗ができれば。 <p>など</p>	<p>○位置づけ済【p45】</p> <p>(全体構想:4-2 土地利用の方針)</p> <p>商業・工業など産業系の土地利用には、社会経済状況の動向を踏まえ、拠点周辺や既存の商業・業務集積などの資源を有効に活用しながら地域経済に寄与する土地利用の誘導に努めていきます。</p>

部門	市民意見	市の見解
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">交通 (17件)</p>	<p>○道路網のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路を整備して、市内に産業が集まり、人が集まるようなまちづくりをしてほしい。 ・道路拡幅をしている所で一部の土地が残り、なかなか進んでいない所がある。 ・市役所の前の道路はいつも混んでおり、六地蔵から市役所へ車で行くのは時間がかかる。 など 	<p>○位置づけ済【p34】(全体構想: (2) 将来的な都市の骨格②幹線網)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的な都市の骨格として幹線網では、バランスのとれた道路の幹線網を確立するとしています。 <p>○位置づけ済【p51】(全体構想: 4-3 交通の方針(2) 道路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の方針としては、今後のまちづくりの動向を踏まえ、まちの将来像を見越したまちづくりに努めていきます。
	<p>○公共交通網のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は、たまに乗るニーズは多いが、日常的な需要がないと成り立たない。需要を生み出すまちづくりをしてほしい。 ・交通が便利にならないとまちは発展しないので、リニアを宇治市に誘致することはできないか。 など 	<p>○位置づけ済【p49】 (全体構想:4-3 交通の方針)</p> <p>「まちの拠点や産業活動を側面から支える交通網を充実させます」として、地域の特色を活かし、都市機能の集積・役割分担を行いつつ、周辺地域と相互に連携・補完する、まちの拠点を配置し、そこで展開される様々な産業活動などを側面から支え将来の発展につながる交通網を充実させます。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まちづくり活動 (4件)</p>	<p>○観光資源を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の観光地と比べて、地域住民も観光地をきれいに育てようという努力が少なく、もったいない。 ・源氏ミュージアム、歴史資料館、植物公園など素晴らしい施設があるので、リピーターが増える展示をしてほしい。 など 	<p>○関連計画等(宇治市観光振興計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の観光客のニーズや社会情勢の変化を的確に把握し、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人が訪れる観光地を目指しています。 ・関係部署と情報共有を図ります。



4. アンケート結果

4-1 六地蔵地域（六地蔵・木幡・平尾台）

記述式 アンケートの回答 (9名)	参加者の年齢 	お住まいの地域 <table border="1"> <tr> <td>六地蔵</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>木幡</td> <td>6名</td> </tr> </table>	六地蔵	3名	木幡	6名
	六地蔵	3名				
木幡	6名					
重要と考えられるテーマ <input type="radio"/> 得票順 <六地蔵エリア> <input checked="" type="radio"/> 交通利便性の高さをいかしたにぎわいと活力あるまちづくり …… 5票 <input checked="" type="radio"/> 安心して歩けるまち …… 4票 <input checked="" type="radio"/> 人々の交流の活性化 …… 4票 <input checked="" type="radio"/> 商業地と住宅地の回遊性を高める …… 2票 【その他】 自然と歴史的景観の保全、環境対策（交通、緑化、憩いの場） <木幡エリア> <input checked="" type="radio"/> 自然（木幡池・松殿山荘・宇治陵）や文化・歴史（許波多神社・お茶）の保全 …… 4票 <input checked="" type="radio"/> 住宅地内の通過交通を低減し、安心して歩ける暮らしの道づくり …… 3票 <input checked="" type="radio"/> 災害リスクに対応できるまちづくり …… 2票	<input type="radio"/> シールを多く貼られた項目（強み） ・京都・大阪に近く、通勤・通学などが容易である ・日常生活における買い物などに便利である	<input type="radio"/> 全く貼られなかった項目（弱み） ・お茶や歴史、文化などを活用したまちづくり ・スポーツ・レクリエーション施設が整っている ・公共施設が充実している				
アンケートの総括	<六地蔵エリア> ◎交通利便性を評価 ●交通、まちづくり、土地利用に関する意見が多い 交通利便性が高い、歩道が歩きにくい、地域コミュニティの活性化、駅周辺の商業地のありかた など ➡ 京都・大阪に近く、通勤・通学などの利便性の高さをいかしたまちづくりが求められている。					
	<木幡エリア> ◎自然・文化・歴史を評価 ●自然的環境、交通に関する意見が多い 木幡池をいかしたまちづくり、歩道が歩きにくい など ➡ 木幡池をはじめとした自然や文化の保全とそれを活かしたまちづくりが求められている。					

4-2 黄檗地域（五ヶ庄・羽戸山・菟道・明星町・志津川）

<p>記述式 アンケートの回答 (19名 内、オンライン2 名)</p>	<p>参加者の年齢</p> <table border="1"> <caption>参加者の年齢分布</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70歳代</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>80歳代</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>19歳以下</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	割合	70歳代	53%	60歳代	11%	80歳代	11%	50歳代	10%	30歳代	10%	19歳以下	5%	<p>お住まいの地域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>五ヶ庄</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>羽戸山</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>木幡</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>志津川</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>菟道</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>明星町</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	地域	人数	五ヶ庄	6名	羽戸山	4名	木幡	3名	志津川	3名	菟道	2名	明星町	1名
	年齢	割合																												
70歳代	53%																													
60歳代	11%																													
80歳代	11%																													
50歳代	10%																													
30歳代	10%																													
19歳以下	5%																													
地域	人数																													
五ヶ庄	6名																													
羽戸山	4名																													
木幡	3名																													
志津川	3名																													
菟道	2名																													
明星町	1名																													
<p>重要と考えられるテーマ</p> <p>○得票順</p> <p><五ヶ庄・羽戸山・菟道・明星町エリア></p> <p>安心して住みよいまちを支える都市基盤の充実 …… 9票</p> <p>みどりと歴史・文化に囲まれた安らぎある住宅地の形成 …… 7票</p> <p>うるおいのある自然的環境と世界に誇る文化・歴史的遺産を保全・活用 …… 4票</p> <p>地域内の文教施設などを活用したまちづくり …… 2票</p> <p>【その他】 市民の日常生活の利便性の向上</p> <p><志津川エリア></p> <p>志津川のまちなみの保全 …… 4票</p> <p>居住環境を守り引継ぐ …… 2票</p> <p>【その他】 エリア全体がつながる観光づくり</p>																														
<p>シールアンケート (強み・弱み)</p>	<p>○シールを多く貼られた項目(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている ・歴史や文化にめぐまれている ・京都・大阪に近く、通勤・通学などが容易である 	<p>○全く貼られなかった項目(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住環境が整備されていて住みやすい 																												
<p>アンケートの総括</p>	<p><五ヶ庄・羽戸山・菟道・明星町エリア></p> <p>◎自然・歴史・文化を評価 ●交通、土地利用に関する意見が多い</p> <p>歩道が歩きにくい、バス路線の維持、高齢化により買い物難民が増えている など</p> <p>➡ 自然や歴史的遺産に囲まれた安心して住みよい居住環境づくりが求められている。</p> <p><志津川エリア></p> <p>◎山並みや自然を評価 ●土地利用、環境・景観に関する意見が多い</p> <p>市街化調整区域であるため新たな土地利用が困難、山は荒れており、高齢化によりこのままではコミュニティが成り立たなくなる など</p> <p>➡ 志津川のまちなみの保全と生涯助け合って生きていけるまちづくりが求められている。</p>																													

4-3 宇治地域 (宇治・折居台・琵琶台・天神台・南陵町・神明・白川)

記述式 アンケートの回答 (15名 内、オンライン3 名)	参加者の年齢 	お住まいの地域 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td style="text-align: center;">6名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">菟道</td> <td style="text-align: center;">2名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">五ヶ庄、明星町、 白川、琵琶台、 南陵町、神明、 小倉町</td> <td style="text-align: center;">各1名</td> </tr> </table>	宇治	6名	菟道	2名	五ヶ庄、明星町、 白川、琵琶台、 南陵町、神明、 小倉町	各1名
	宇治	6名						
菟道	2名							
五ヶ庄、明星町、 白川、琵琶台、 南陵町、神明、 小倉町	各1名							
重要と考えられるテーマ ○得票順 <宇治橋周辺エリア> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">だれもが安心して歩いて楽しめるまちづくり</div> … 9票 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">宇治川周辺の文化・歴史・自然が調和したまちづくり</div> … 7票 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">宇治川周辺が快適空間となる整備</div> … 5票 【その他】 商業施設の充実、宇治橋通りの車侵入規制 <白川エリア> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">白川のまちなみの保全及び景観、文化・歴史の継承と住環境の維持</div> … 3票 【その他】 防災 <宇治・折居台・琵琶台・天神台・南陵町・神明エリア> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">みどり豊かな快適な住環境</div> … 5票 【その他】 歩道の整備								
シールアンケート (強み・弱み)	○シールを多く貼られた項目(強み) ・宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている ・宇治茶や世界遺産など全国に誇れるものがある ・歴史や文化に恵まれている ・治安が良く、安心して暮らせる	○全く貼られなかった項目(弱み) ・スポーツ・レクリエーション施設が整っている						
アンケートの総括	<宇治橋周辺エリア><宇治・折居台・琵琶台・天神台・南陵町・神明エリア> ◎宇治川や山並みなどの自然・景観や文化・歴史を評価 ●交通、土地利用に関する意見が多い 中宇治の渋滞、歩行空間の確保、高齢になり丘陵地の住宅街では暮らしにくい など ➡ 恵まれた自然・景観の保全、通過交通の地域流入抑制の検討が求められている。 <白川エリア> ◎歴史的遺産を評価 ●交通、防災、土地利用に関する意見が多い 通過交通による渋滞、新名神開通後の交通への懸念、歴史的遺産の保全 など ➡ 通過交通の地域流入抑制の検討とお茶や歴史的遺産を活かしたまちづくりが求められている。							

4-4 榎島地域（榎島町）

<p>記述式 アンケートの回答 (12名 内、オンライン1 名)</p>	<p>参加者の年齢</p> <table border="1"> <caption>参加者の年齢分布</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70歳代</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>59%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	割合	70歳代	8%	30歳代	8%	40歳代	8%	50歳代	17%	60歳代	59%	<p>お住まいの地域</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>榎島</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>小倉</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	榎島	11名	小倉	1名
	年齢	割合																
70歳代	8%																	
30歳代	8%																	
40歳代	8%																	
50歳代	17%																	
60歳代	59%																	
榎島	11名																	
小倉	1名																	
<p>重要と考えられるテーマ</p> <p>○得票順</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉施設等整備促進エリアの充実 …… 7票 魅力あるものづくり産業の集積 …… 4票 農地を保全し、地域と密着した農業の振興 …… 4票 魅力ある工業地の形成を支える都市基盤の充実 …… 3票 恵まれた自然的環境と文化・歴史的遺産の保全と活用 …… 2票 <p>【その他】 子供たちの活動拠点の整備、道路の整備</p>																		
<p>シールアンケート (強み・弱み)</p>	<p>○シールを多く貼られた項目(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療施設が充実している ・日常生活における買い物などに便利である ・コミュニティ活動が活発であり、安心して暮らせる ・宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている 	<p>○全く貼られなかった項目(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーション施設が整っている ・自然災害等への防災に強く、安心して暮らせる 																
<p>アンケートの総括</p>	<p>◎医療施設の充実、買い物などが便利を評価</p> <p>●交通、土地利用に関する意見が多い</p> <p>狭くて凸凹な道路、計画的な道路網整備、工場を拡大できる場所がない など</p> <p>➡ 医療施設のさらなる充実や一層魅力ある「ものづくり産業拠点」を支える都市基盤の充実が求められている。</p>																	

4-5 小倉地域 (小倉町・伊勢田町・安田町)

<p>記述式 アンケートの回答 (22名 内、オンライン3 名)</p>	<p>参加者の年齢</p> <table border="1"> <caption>参加者の年齢</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30歳代</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>23%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	割合	30歳代	4%	40歳代	18%	50歳代	14%	60歳代	41%	70歳代	23%	<p>お住まいの地域</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>小倉町</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>宇治</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	小倉町	17名	伊勢田町	4名	宇治	1名
	年齢	割合																		
30歳代	4%																			
40歳代	18%																			
50歳代	14%																			
60歳代	41%																			
70歳代	23%																			
小倉町	17名																			
伊勢田町	4名																			
宇治	1名																			
<p>重要と考えられるテーマ</p> <p>○得票順</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活利便性向上をめざした安全で暮らしやすいまちづくり …… 12票 生活と商いが融合した活気あるまち …… 10票 まちの玄関にふさわしいにぎわいのある駅前空間 …… 10票 地域の貴重なみどりを保全しつつ、人々が憩い、交流のできる空間の確保 …… 5票 <p>【その他】 現在のみどりは保全する</p>																				
<p>シールアンケート (強み・弱み)</p>	<p>○シールを多く貼られた項目(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都・大阪に近く、通勤・通学などが容易である ・医療施設が充実している 	<p>○全く貼られなかった項目(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化に恵まれている ・市内に働く場所がある 																		
<p>アンケートの総括</p>	<p>◎交通利便性、医療施設の充実を評価 ●土地利用、交通に関する意見が多い</p> <p>巨椋池干拓田を活かしたまちづくり、駅周辺の整備、南北の移動の改善 など</p> <p>➡ 安全で暮らしやすく、生活と商いが融合した活気あるまちを目指し、近鉄小倉駅のまちの玄関にふさわしいにぎわいのある駅前空間の整備など交通結節機能の強化が求められている。</p>																			

4-6 大久保地域（大久保町・伊勢田町・広野町・羽拍子町・開町・寺山台・神明）

<p>記述式 アンケートの回答 (11名 内、オンライン1 名)</p>	<p>参加者の年齢</p> <table border="1"> <caption>参加者の年齢</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80歳代</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	割合	80歳代	9%	70歳代	18%	60歳代	37%	50歳代	27%	40歳代	9%	<p>お住まいの地域</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>広野町</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>大久保町</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>	広野町	6名	大久保町	2名	伊勢田町	3名
	年齢	割合																		
80歳代	9%																			
70歳代	18%																			
60歳代	37%																			
50歳代	27%																			
40歳代	9%																			
広野町	6名																			
大久保町	2名																			
伊勢田町	3名																			
<p>重要と考えられるテーマ</p> <p>○得票順</p> <p><大久保エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> にぎわいのある商業・業務集積空間の形成 …… 5票 鉄道網の利便性を高める都市基盤の充実 …… 2票 地域内の水やみどり、文化・歴史の保全・活用 …… 2票 良好な既存住宅地の保全と改善 …… 2票 <p>【その他】市内東西方向の移動手段の確保、朝夕の交通渋滞の緩和</p> <p><伊勢田エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> 良好な既存住宅地の保全と改善 …… 2票 <p>【その他】みどりを増加させてきれいなまちづくり</p>																				
<p>シールアンケート (強み・弱み)</p>	<p>○シールを多く貼られた項目(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都・大阪に近く、通勤・通学などが容易である ・医療施設が充実している 	<p>○全く貼られなかった項目(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている ・お茶や歴史・文化などを活用したまちづくり ・福祉施策が充実しており安心して暮らせる 																		
<p>アンケートの総括</p>	<p>◎交通利便性、医療施設の充実を評価 ●土地利用に関する意見が多い</p> <p>駅周辺の商業の活性化、高齢化により買い物不便、フェニックスパークの活用 など</p> <p>➡ 駅周辺のにぎわいのある商業活性化の検討や交通利便性の向上が求められている。</p>																			

4-7 山間地域（炭山・二尾・池尾・東笠取・西笠取）

<p>記述式 アンケートの回答 (11名)</p>	<p>参加者の年齢</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>参加者の年齢分布</caption> <thead> <tr> <th>年齢代</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30歳代</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>18%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢代	割合	30歳代	9%	40歳代	46%	50歳代	0%	60歳代	27%	70歳代	18%	<p>お住まいの地域</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>笠取</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>炭山</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>折居台</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>宇治</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	地域	人数	笠取	5名	炭山	4名	折居台	1名	宇治	1名
	年齢代	割合																						
30歳代	9%																							
40歳代	46%																							
50歳代	0%																							
60歳代	27%																							
70歳代	18%																							
地域	人数																							
笠取	5名																							
炭山	4名																							
折居台	1名																							
宇治	1名																							
<p>重要と考えられるテーマ</p> <p>○得票順</p> <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄を防止し宇治の誇りである自然の保全 …… 5票 豊かな自然環境と調和した地域振興 …… 4票 安心して住むことのできる生活環境の充実 …… 3票 地域内の観光・レクリエーション施設や豊かな自然を活用したまちづくり …… 3票 自然環境保全のあり方を実践し里山の保全、復元、活用 …… 2票 <p>【その他】 公共交通の整備、地域活動の拠点となる施設の整備や学校の存続</p>																								
<p>シールアンケート (強み・弱み)</p>	<p>○シールを多く貼られた項目(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている ・治安が良く、安心して暮らせる ・コミュニティ活動が活発であり、安心して暮らせる 	<p>○全く貼られなかった項目(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都・大阪に近く、通勤・通学などが容易である ・住環境が整備されていて住みやすい ・公共施設が充実している ・福祉施策が充実しており、安心して暮らせる ・医療施設が充実している 																						
<p>アンケートの総括</p>	<p>◎山並みや自然、治安の良さを評価 ●交通、まちづくり活動に関する意見が多い 公共交通がない、移動する手段の確保、地域の活性化、山間地域の魅力発信 など ➡ 宇治の誇りである自然の保全や豊かな自然と調和したまちづくりが求められている。</p>																							

検討部会での検討経過について

1. 策定の経過

年 月 日	事 項	内 容
2020（令和2） 7. 20	宇治市都市計画審議会へ 諮問	1. 次期宇治市都市計画マスタープランの策定 2. 部会設置（宇治市都市計画マスタープラン検討部会）
8. 4	第1回検討部会	1. 検討部会について 2. 策定の経緯と検討の主な視点 3. 全体スケジュールについて
9. 7	第2回検討部会	1. 宇治市の地勢について 2. 検証・評価について（全体構想） 3. 課題と方向性について（全体構想）
10. 19	第3回検討部会	1. 宇治市の都市構造について 2. 宇治市の人口等について 3. マスタープランの方向性に必要な項目について
12. 2	第4回検討部会	1. 全体構想（原案）について 2. 市民参画の手法について
2021（令和3） 1. 20	第5回検討部会	1. 全体構想（原案）について 2. 市民参画の手法について
2. 8	宇治市都市計画審議会へ 中間報告	1. 次期宇治市都市計画マスタープランの策定について （中間報告）
3. 11	第6回検討部会	1. 全体構想（原案）について 2. 部門別方針について 3. 市民参画の手法について
4. 15	第7回検討部会	1. 部門別方針（案）について 2. 全体構想（部会案）について 3. 全体構想のパブリックコメント（案）について 4. 地域別構想の進め方について
5. 7	宇治市都市計画審議会へ 中間報告	1. 次期宇治市都市計画マスタープランの策定について
5. 24 ～6. 30	市民意見募集 （パブリックコメント）	意見者数：23人、意見数：92件

年 月 日	事 項	内 容
6. 24	第 8 回検討部会	1. まちづくりの成果について 2. 地域づくりの基本方針（素案）について 3. 地域の特徴及び現状と課題について
7. 19	第 9 回検討部会	1. 全体構想パブリックコメントの結果について 2. 地域別構想（部会原案）について 3. まちづくりオープンハウスについて
8. 23	宇治市都市計画審議会へ 中間報告	1. 次期宇治市都市計画マスタープランの策定について
10. 11 ～11. 11	都市計画まちづくりオー プンハウス&意見交換会	会場参加者数：延べ288名 オンラインアンケート回答者数：10名
12. 8	第 10 回検討部会	1. 地域意見交換の結果について 2. マスタープラン（部会最終案）について 3. 評価・検証（案）について

2. 会議の公開方法について

宇治市都市計画マスタープラン検討部会は、私権に関わる土地利用規制に係る変更の議論が各所に含まれることが予想され、公開にした場合、検討部会での内容如何によっては、市民の方に誤解や混乱が生じる場合があることから非公開で実施し、都市計画審議会への報告を以て公開することとした。

■ 宇治市情報公開条例第6条第2項

「特定の個人を識別することは出来ないが、公にすることにより、なお個人の権利利益を害するおそれがあるもの」

■ 宇治市情報公開条例第6条第4項

「本市等の内部又はその相互間における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、公正な意思形成に著しい支障が生ずるおそれのあるもの」

3. 検討部会議事概要

第1回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日	時	令和2年8月4日(火) 午後3時30分～午後5時45分
場	所	宇治市議会棟第3委員会室
議	題	1. 検討部会について 2. 策定の経緯と検討の主な視点 3. 全体スケジュールについて

【主な意見等】

- 拡大していく都市をどの様に制御するか、逆に小さくなっていくときにどこだけは守るのか、どうやって都市サービスが維持できる人口規模をキープするのかの議論が必要。
- 広域拠点、産業拠点、地区拠点、中枢拠点などの性格づけがされているのが、これまでの20年の成果として、どうだったのか知りたい。
- 隣接する市町と競合ではなく協調も必要で、都市を分析し、どのような思想で整えていくのか、という視点も非常に重要になってくるのではないかと。

第2回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日	時	令和2年9月7日(月) 午後3時30分～午後6時00分
場	所	うじ安心館3階ホール
議	題	1. 宇治市の地勢について 2. 検証・評価について(全体構想) 3. 課題と方向性について(全体構想)

【主な意見等】

- 予定として設定されるべき都市計画が、結果として説明されるべき都市計画になっている。あまり、在来型や従来型である予定としての都市計画、人口、将来人口などに固執しすぎるとよくわからなくなる。
- これからは人口だけでなく、生活スタイルの問題というのが非常に大きい。世帯構成の変化や分布、生活スタイルがこれから都市計画を議論するときの非常に重要なポイントである。
- これから20年先見たときに、人の生活のスタイルや街の在り方、あるいは広域のなかでの宇治市の在り方など、これから変わっていくであろうことを少し議論してまとめておくのがよいのではないかと。

第3回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日	時	令和2年10月19日(月) 午後2時00分～午後4時30分
場	所	宇治市役所 8階大会議室
議	題	1. 宇治市の都市構造について 2. 宇治市の人口等について 3. マスタープランの方向性に必要な項目について

【主な意見等】

- 人口が減るといろんな活動が低下する。その中で都市計画としてどうしたらいいのか発想の転換が必要である。
- 人口フレームを先に与えてやらないと作れないような都市計画を考えるべきではない。
- 前段として人口減少社会のなか、このまちをどういうふうに作っていくべきかをまとめられたら良いのではないのか。
- 地域間で相対的どういう状況になるかということは分かるはずなので、地域間でどの様な違いが出てくるかを丁寧に読み解いて、課題として提示するというのも大事なのではないか。

第4回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日	時	令和2年12月2日(水) 午後5時00分～午後7時40分
場	所	宇治市役所 5階大会議室
議	題	1. 全体構想(原案)について 2. 市民参画の手法について

【主な意見等】

- 不確定な要因が多くある中で選択していく、試しながら直していくという発想は必要なのではないか。
- 今のマスタープランの基本姿勢である「市民と行政が対話し、ともに育む都市づくり」のルールづくりは一定できていて、今回はそれをベースによりパートナーシップを基にして都市づくりを進めるという方向に踏み出すと考えて良いのではないか。

第5回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日 時	令和3年1月20日(水) 午後5時30分～午後8時15分
場 所	Web会議形式 (Zoom)
議 題	1. 全体構想(原案)について 2. 市民参画の手法について

【主な意見等】

- 現状と課題には、平均的な統計数値だけではなく、少しフォーカスをおくべきところがあれば追加したほうがより良いのではないかと。
- 少子高齢化や人口減少による社会のありようそのものが変わるという側面と、技術的な革新や産業構造の劇的な変化により社会がどのように変わるかについての見通しがつきにくいという点があり、不確定性がある状況の中でどのように都市計画マスタープランを描くのかという議論が必要。

第6回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日 時	令和3年3月11日(木) 午後3時30分～午後5時45分
場 所	産業会館 多目的ホール
議 題	1. 全体構想(原案)について 2. 部門別方針について 3. 市民参画の手法について

【主な意見等】

- 部門別方針について、大きな視点から身近な視点の順で整理したほうがよいのではないかと。
- 今までと違うところの新しいベクトルをどう見つけていくかということや、部門ごとにどのように織り込んでいくのかということが、今回のポイントとなるのではないかと。
- これは残したい、伸ばしたいという項目と、これはやめてもいい、ちょっとトーンダウンでもいい項目、あるいは、今度新たにこういう視点は入れる必要があるという、3つぐらいのグループで部門別の各方針を整理すると良いのではないかと。

第7回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日 時	令和3年4月15日(木) 午後5時00分～午後7時45分
場 所	宇治市役所 8階大会議室
議 題	1. 部門別方針(案)について 2. 全体構想(部会案)について 3. 全体構想のパブリックコメント(案)について 4. 地域別構想の進め方について

【主な意見等】

- 地域意見交換の中で、様々な変化のシナリオとなるものや、これからの見立てに役立つ情報を得ることができるとよいのではないかと。
- 見立ての再構成が要るかどうかを定期的に点検したほうがいい。事業進捗や想定している人口の変化、高齢化が予想と比べてどう変化しているのかなど、4年に1回ぐらいのサイクルでチェックをしていかないと20年後に急に対応できないのではないかと。

第8回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日 時	令和3年6月24日(木) 午前9時00分～午前11時20分
場 所	オンライン会議形式(ZOOM)
議 題	1. まちづくりの成果について 2. 地域づくりの基本方針(素案)について 3. 地域の特徴及び現状と課題について

【主な意見等】

- 地域別構想のまちづくり活動の方針について、具体的な整備方針は前段で書かれているので、もう少しそれを進めていくために住民の方あるいは観光客の方とどんな連携を取っていくのか、どう支援をしていくのかを書くほうがよいのではないかと。
- マスタープランに限らず、庁内で違う部局の人が、特にテーマを決めずに話すような機会があるとよいのではないかと。
- 六地蔵地域の六地蔵と木幡や、黄檗地域の市街化区域と志津川など地域の中での違いのありなしを、地域に入って確認できるとよいのではないかと。

第9回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日 時	令和3年7月19日(月) 午前10時00分～午後12時20分
場 所	うじ安心館3階ホール
議 題	1. 全体構想パブリックコメントの結果について 2. 地域別構想(部会原案)について 3. まちづくりオープンハウスについて

【主な意見等】

- 地域づくりのテーマは、性格の異なるエリアごとに分けた方がよいのではないか。
- オープンハウスのメリットは、双方向でいろんなやりとりができるということの良さがあるのではないか。直接話し合っけて聞き取れる情報や分かる情報が多くあるのでそれを活かしたほうがよいのではないか。

第10回 宇治市都市計画マスタープラン検討部会 議事概要

日 時	令和3年12月8日 午後2時00分～午後4時15分
場 所	産業会館 多目的ホール
議 題	1. 地域意見交換の結果について 2. マスタープラン(部会最終案)について 3. 評価・検証(案)について

【主な意見等】

- 地域の方からすると情報発信の機会が足りていないのではないか。今後工夫が必要。
- マスタープランは総合計画のサイクルで見直ししながら、実際の施策に活かせるようにしていき、市民のみなさんの意見もその都度聞いて、反映できるようにしていくとよいのではないか。
- 地域意見は都市計画マスタープランの範囲に収まらない多様なものが多く、都市計画部局だけではなく他の部局と連携していくことが重要なのではないか。

宇治市都市計画マスタープラン
検討部会資料（抜粋）

— 資料編 —

もくじ

1. これまでのマスタープランの分析

①現マスタープラン（地域別構想）の現状と課題	・ ・ ・ ・ ・ 1
②まちづくりの成果	・ ・ ・ ・ ・ 3

2. 現状分析

①第2期宇治市人口ビジョン	・ ・ ・ ・ 10
②年齢区分別人口	・ ・ ・ ・ 11
③人口の推計プロセス	・ ・ ・ ・ 13
④人口推移	・ ・ ・ ・ 14
⑤地域別の高齢者の状況	・ ・ ・ ・ 15
⑥地区別の年少人口の状況	・ ・ ・ ・ 16
⑦地区別現状分析	・ ・ ・ ・ 17

3. 市民意見結果

①全体構想パブリックコメントの結果	・ ・ ・ ・ ××
②まちづくりオープンハウス・地域意見交換会の結果	・ ・ ・ ・ ××
③宇治市案パブリックコメントの結果	・ ・ ・ ・ ××

※市民意見は、最終版に掲載予定

1. これまでのマスタープランの分析

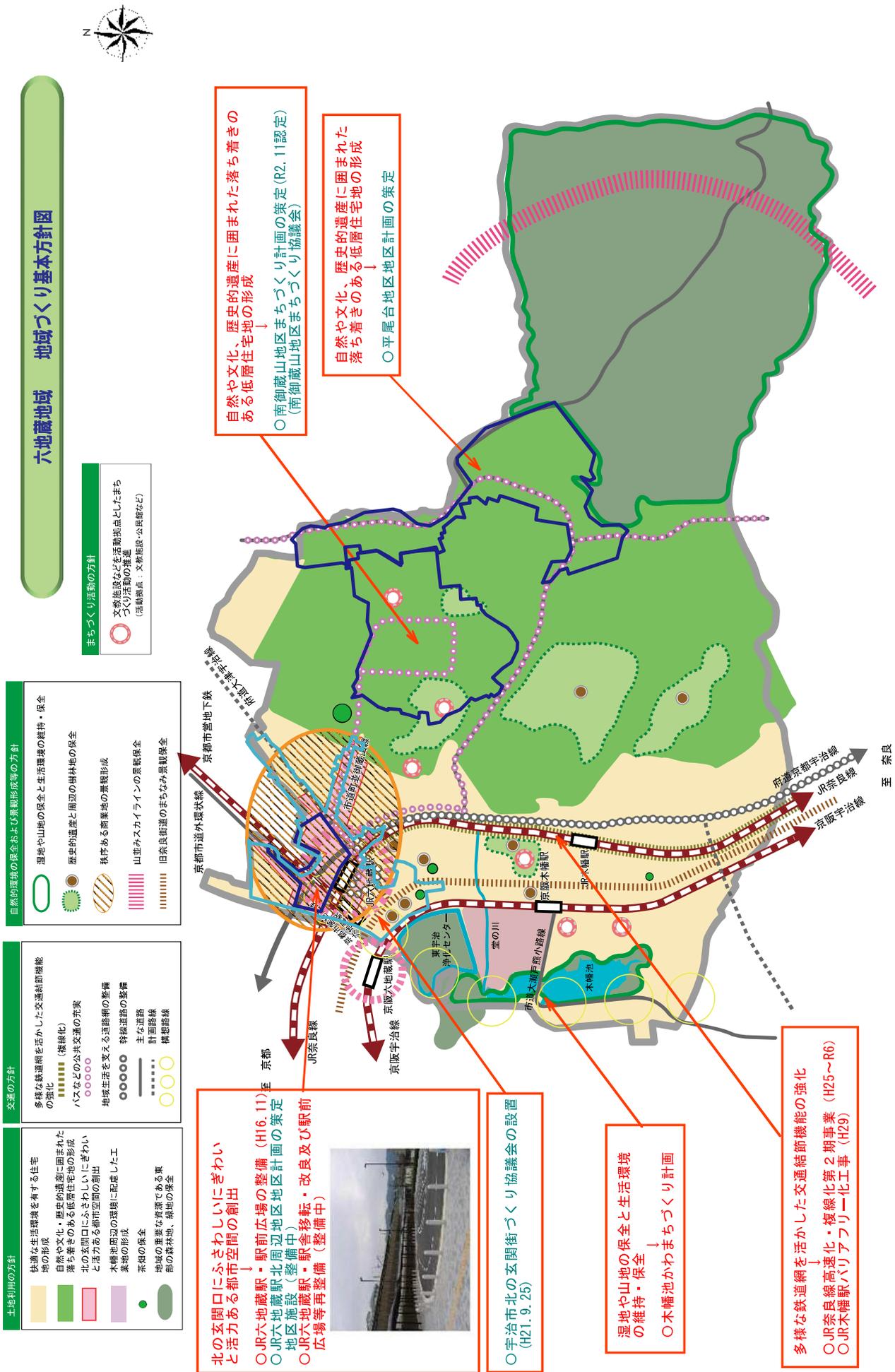
① 現都市計画マスタープラン（地域別構想）の分析と課題

地域名		まちづくりのテーマ	誘導手法（都市計画関連）	現 状	実施（中）事業	課 題
① 六地蔵地域	六地蔵 木幡 平尾台	宇治市の副都心としての「北の玄関口」 古いまちなみや茶園 うるおいのあるみどりなど「まちの風情」 木幡池 より利便性の高い公共交通 道路 歩行者環境 商業 防災 サイン	用途地域（主に商業、第1趣低層住居専用地域、第1種住居地域） 特別用途地域（大型商業施設規制） JR六地蔵駅北周辺地区地区計画 平尾台地区地区計画（低層専用住宅地区、低層店舗付住宅地区、近隣センター地区） (都)六地蔵駅前線（駅前広場） (都)京都宇治線 (都)大津宇治線 (都)外環状線 (都)横島木幡線 (都)東宇治浄化センター	六地蔵は京都市と隣接しておりまちづくりの連携が必要 交通結節点機能の向上により駅利用者数は増加傾向 市民ニーズの変化による大型商業施設、ホテルなどが撤退 都市計画道路、地区計画施設が未整備	JR六地蔵駅新設（完） 京都市営地下鉄東西線の延伸（完） 地区施設（地区計画）の整備 JR高速化・複線化第2期事業及び駅のバリアフリー化 宇治市北の玄関街づくり協議会との連携 南御蔵山地区まちづくり協議会との連携 など	商業ニーズの低下、住宅ニーズの増大、ホテル撤退による文化交流機能が低下
	② 黄檗地域	五ヶ庄 羽戸山 菟道 明星町 志津川	用途地域（主に第1趣低層住居専用地域、第1種住居地域、準工業地域） 風致地区、特別風致地区 特別用途地域（大型商業施設規制） (都)黄檗山手線 (都)京都宇治線 (都)明星線 (都)羽戸山線 (都)黄檗公園（地域防災拠点）	京都大学、陸上自衛隊、萬福寺や三室戸寺など、文教・歴史的に多様なまち 地域の規模に見合った小規模な商業施設が点在しており、こうした既存商業を活かしたまちづくりを進めている 黄檗断層が走っていることから防災上の対策が必要	JR高速化・複線化第2期事業 府道京都宇治線交差点改良（完） 黄檗駅周辺地区バリアフリー（京阪完） 景観誘導（景観計画） (都)黄檗公園防災公園事業を実施中 明星町地区まちづくり協議会との連携 志津川地区まちづくり協議会との連携 など	人口減少の中、商業の活性化には、京都大学宇治キャンパス（宇治おうばくプラザ）や萬福寺との連携の促進など活性化が必要 JR黄檗駅バリアフリーの早期実現
	③ 宇治地域	宇治 折居台 琵琶台 天神台 南陵町 神明 白川	「伝統・歴史・観光、利便性」 「伝統・歴史・観光、自然的環境」 交通問題 まちづくり	用途地域（主に商業地域、第1趣低層住居専用地域、第1種住居地域、工業地域、準工業地域） 風致地区、特別風致地区 特別用途地域（大型商業施設規制） 15m第3種高度地区、15m第4種高度地区 里尻地区地区計画（福祉・交流・医療等の都市生活を支える機能の充実） 折居台地区地区計画（宇治茶の振興） (都)宇治淀線 (都)宇治白川線 (都)県神社御旅線 (都)宇治横島線 (都)宇治伊勢田線 (都)宇治川線 (都)下居大久保線 (都)宇治公園 (都)山城総合運動公園（府広域防災活動拠点）	世界遺産である平等院や宇治上神社や宇治川、宇治橋通り商店街など文化・歴史・自然・観光の中心的役割を担っている 市役所、中央図書館、文化センターなど行政の中心地となっている 各種施策を展開し、行政、文化・歴史、商工業の中心地となるべく誘導をしている	JR及び京阪宇治駅整備（完） JR高速化・複線化第2期事業及び関連事業の府道向島宇治線の立体交差化 歴史的風致維持向上計画事業（(仮)お茶と宇治のまち歴史公園整備等） 景観誘導（景観計画・重要文化的景観） 史跡・名勝指定（世界遺産の背景地）（完） 宇治駅周辺地区バリアフリー（完） 宇治川河川改修及び改修に伴う宇治公園再生事業 空き家対策（利活用助成） 平等院表参道まちづくり協議会、 南陵町地区まちづくり協議会、 白川区まちづくり協議会と連携 など

拠点種別		方針	誘導手法（都市計画関連）	現 状	実施（中）事業	課 題
④ 榎島地域	榎島町	自然環境の保全 歴史と文化財の保全 道路の整備 環境の整った工業地域 二号用水路をはじめとした用水路整備（環境改善） 公共交通を便利に 消費者と農業生産者の共存 公共施設（福祉施設）の充実 全ての世代を通じて地域の連携	用途地域（主に第1種住居地域、工業地域、準工業地域） 特別用途地域（大型商業施設規制） 吹前地区地区計画 石橋地区地区計画（救急・高度医療施設や福祉施設等の整備促進） （都）滋賀京都線（京滋バイパス） （都）国道24号線・宇治久御山線（国道24号） （都）榎島公園	市最大の工業集積地 他地域と比べ良好な操業環境が維持されているが、国道24号沿道など商業への転換が進行 区画道路は比較的狭く、幹線道路は朝夕のラッシュ時は慢性的に渋滞 2010年～2020年で人口は増加したが年少、生産年齢人口は減少	京滋バイパスと側道（完） 市道目川南北線（完） 雨水排除計画（公共下水道） ・目川貯留管 など	幹線道路沿道から工場が撤退するなど商業系の土地利用が進む 土地利用が進み、事業拡大のための用地が不足（市外転出） 操業環境の保全が必要 道路網は市南北の口が慢性的に渋滞しており、東西軸の強化による分散など、産業振興のためにも改善が必要
	小倉町 伊勢田町 安田町	便利がよく、水害・騒音・迷惑駐車がないまち 密集市街地 駅周辺 道路	用途地域（主に近隣商業地域、第1趣中高層住居専用地域、第1種住居地域） （都）国道24号線 （都）八幡荘宇治線 （都）西宇治公園（地域防災拠点） 大久保地区地区計画（日産京都工場跡地）	市内第2の乗降客数を抱える駅であり、駅周辺に日用品の店舗も多く地区拠点の役割を果たしている ベットタウンとして拡大したまちであり、高齢化に伴う公共交通や商業などの維持が困難になりつつある 市民ニーズの変化により駅東西の大型商業施設がともに閉鎖	雨水排除計画（公共下水道） ・堀池貯留管 ・老ノ木貯留管（完） ・西小倉小学校調整池（完） 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり ・検討委員会の設置 ・ワークショップの開催 ・来年度基本構想の策定予定 府道八幡宇治線整備（完）	商業需要の低下及び買い物形態の変化に伴い、駅周辺への商業集約のあり方について見直す必要がある 駅及びまちの中心部の広範囲が浸水想定エリアであり、災害を踏まえたまちづくりのあり方 駅西側には、都市計画法施行前の公共施設が十分整備されない密集した住宅地が広範囲の存在 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会での方向性との整合
⑥ 大久保地域	大久保町 伊勢田町 広野町 羽拍子町 開町 寺山台 神明	河川 みどり 歴史 道路 便利さ 景観 市街地開発 陸上自衛隊	用途地域（主に商業地域、第1趣低層住居専用地域、第1種住居地域、工業地域、準工業地域） 特別用途地域（大型商業施設規制） 大開地区地区計画 尖山地区地区計画 大久保地区地区計画 （都）宇治淀線 （都）新田線 （都）国道24号線 （都）大久保停車場線 （都）大久保駅前線 （都）近鉄側道西線、近鉄側道東線 （都）近畿日本鉄道京都線 （都）宇治市植物公園 （都）山城総合運動公園（府広域防災活動拠点）	市内乗降客数1位の駅であり、連続立体交差、駅前広場、道路整備など当面の取り組みは完了し、市外も含めた広域交通結節点として広域拠点の役割を果たしている 近隣の大型商業施設撤退、地元商店街とのまちづくりの停滞など波及効果が十分でない 府道宇治淀線沿道及び地区計画（日産跡）を中心に産業拠点の役割を果たしている 特に、地区計画内にはものづくり系企業や宇治ベンチャー企業育成工場など産業が集積 一方で、府道沿道（南側）では工場の閉鎖、廃業に伴い商業、マンションへ転換が進む 広大な大久保自衛隊（約43ha）が位置	都市再生整備計画 ・近鉄大久保駅前広場（完） ・府道宇治淀線（完） ・近鉄大久保駅、JR新田駅バリアフリー（完） ・JR新田駅東口改札・駅前広場、アクセス道路（完） （都）宇治淀線（完） など	住居、商業のニーズが高く、府道沿道（南側）の工業的土地利用が減少傾向 府道沿道には広大な大久保自衛隊（約43ha）が位置し、これ以上の産業集積は困難 住民ニーズの変化により、駅周辺への商業の集約化や滞在時間延長などにつがっていない 過去に社会経済状況の変化から再開事業が頓挫した経緯から、新たな土地利用促進には時間を要すると考える 駅前広場等、計画決定時と現在では整備手法が変化しており、都市計画の見直しが必要
	炭山 二尾 池尾 東笠取 西笠取	自然、農業、土地利用、 高齢化の問題、道路整備、 公共交通、環境問題、 不法投棄問題、交流、伝統産業、 レクリエーション、施設整備、 教育環境、情報関連、 汚水処理の適正化	主に市街化調整区域	市域の3分の1を占めている そのうち山林が約9割を占めている 人口減少、少子高齢化が特に進展	炭山地区まちづくり協議会との連携	人口減少、少子高齢化が特に進展

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果

まちづくりの成果



土地利用の方針

- 快適な生活環境を有する住宅地の形成
- 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着きのある低層住宅地の形成
- 北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出
- 木幡池周辺の環境に配慮した工業地の形成
- 茶畑の保全
- 地域の重要な資源である農地の森林地、緑地の保全

交通の方針

- 多様な鉄道路線を活かした交通調節機能の強化
- バスなどの公共交通の充実(複線化)
- バスなどの公共交通の充実
- 地味生活を支える道路網の整備
- 幹線道路の整備
- 主な道路
- 計画路線
- 構想路線

自然的遺産の保全および景観形成等の方針

- 湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全
- 歴史的遺産と周辺の樹林地の保全
- 残存する商業地の景観形成
- 山並みスカラインの景観保全
- 旧奈良街道のまちなみ景観保全

まちづくり活動の方針

- 文庫施設などを活動拠点としたまちづくり活動の推進 (活動拠点：文庫施設・公民館など)

六地蔵地域 地域づくり基本方針図

北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出

- JR六地蔵駅・駅前広場の整備 (H16.11)
- JR六地蔵駅北周辺地区計画の策定 (整備中)
- JR六地蔵駅・駅舎移転・改良及び駅前広場等再整備 (整備中)



○ 宇治市北の玄関街づくり協議会の設置 (H21.9.25)

湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全

- 木幡池かわまちづくり計画

多様な鉄道路線を活かした交通調節機能の強化

- JR奈良線高速化・複線化第2期事業 (H25~R6)
- JR本幡駅バリアフリー化工事 (H29)

自然や文化、歴史的遺産に囲まれた落ち着きのある低層住宅地の形成

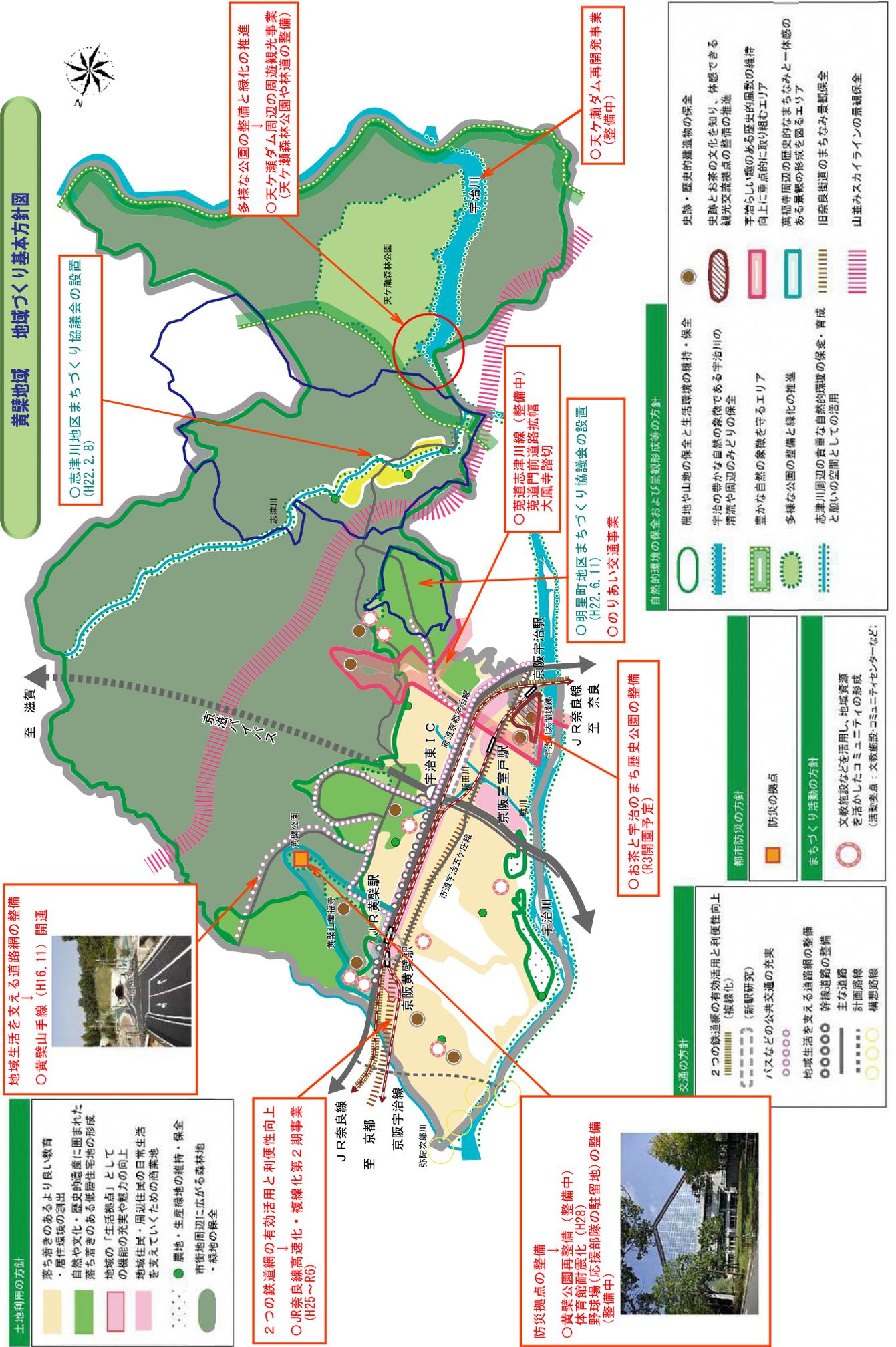
- 南御蔵山地区まちづくり計画の策定 (R2.11認定) (南御蔵山地区まちづくり協議会)

自然や文化、歴史的遺産に囲まれた落ち着きのある低層住宅地の形成

- 平尾台地区地区計画の策定

まちづくりの成果

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果



土地利用の方針

- 落ち着きのあるより良い教育・居住環境の創出
- 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着きのある低層住宅地の形成
- 地域の「生活拠点」としての機能の充実や魅力の向上
- 地域住民・周辺住民の日常生活を支えていくための商業地
- 農地・生産緑地の維持・保全
- 市街地周辺に広がる森林地・緑地の保全

地域生活を支える道路網の整備

○黄檗山手線（H16.11）開通

2つの鉄道網の有効活用と利便性向上

○JR奈良線高速化・複線化第2期事業（H25～R6）

防災拠点の整備

○黄檗公園再整備（整備中）
○体育館耐震化（H28）
○野球場（応援部隊の駐留地）の整備（整備中）

交通の方針

2つの鉄道網の有効活用と利便性向上（総線化）
バスなどの公共交通の充実（新駅研究）

- 地域生活を支える道路網の整備
- 幹線道路の整備
- 主な道路
- 計画道路
- 構想路線

都市防災の方針

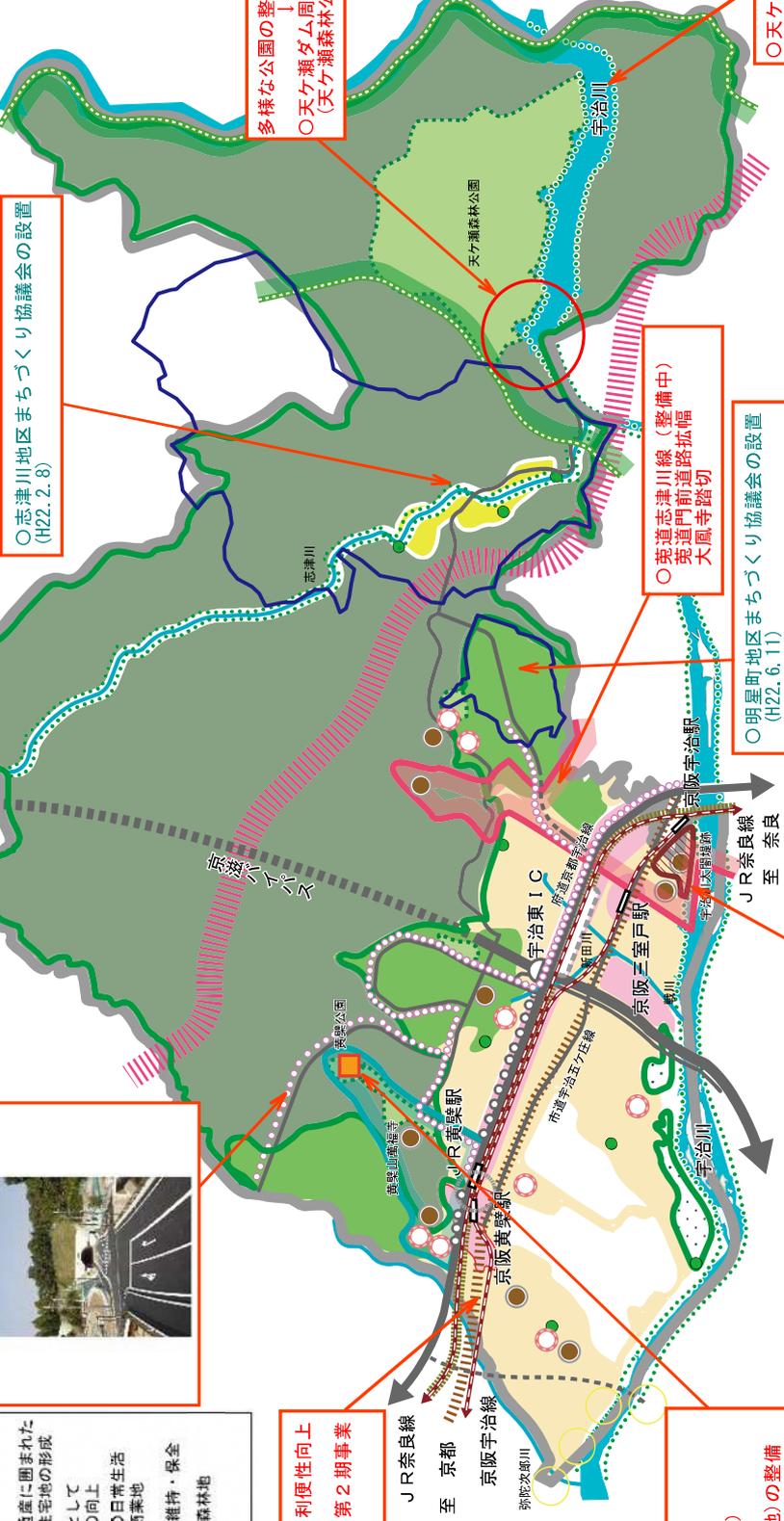
- 防災の拠点
- まちづくり活動の方針

文庫施設などを活用し、地域資源を活かしたコミュニティの形成（活動拠点：文庫施設・コミュニケーションセンターなど）

自然環境の保全および景観形成等の方針

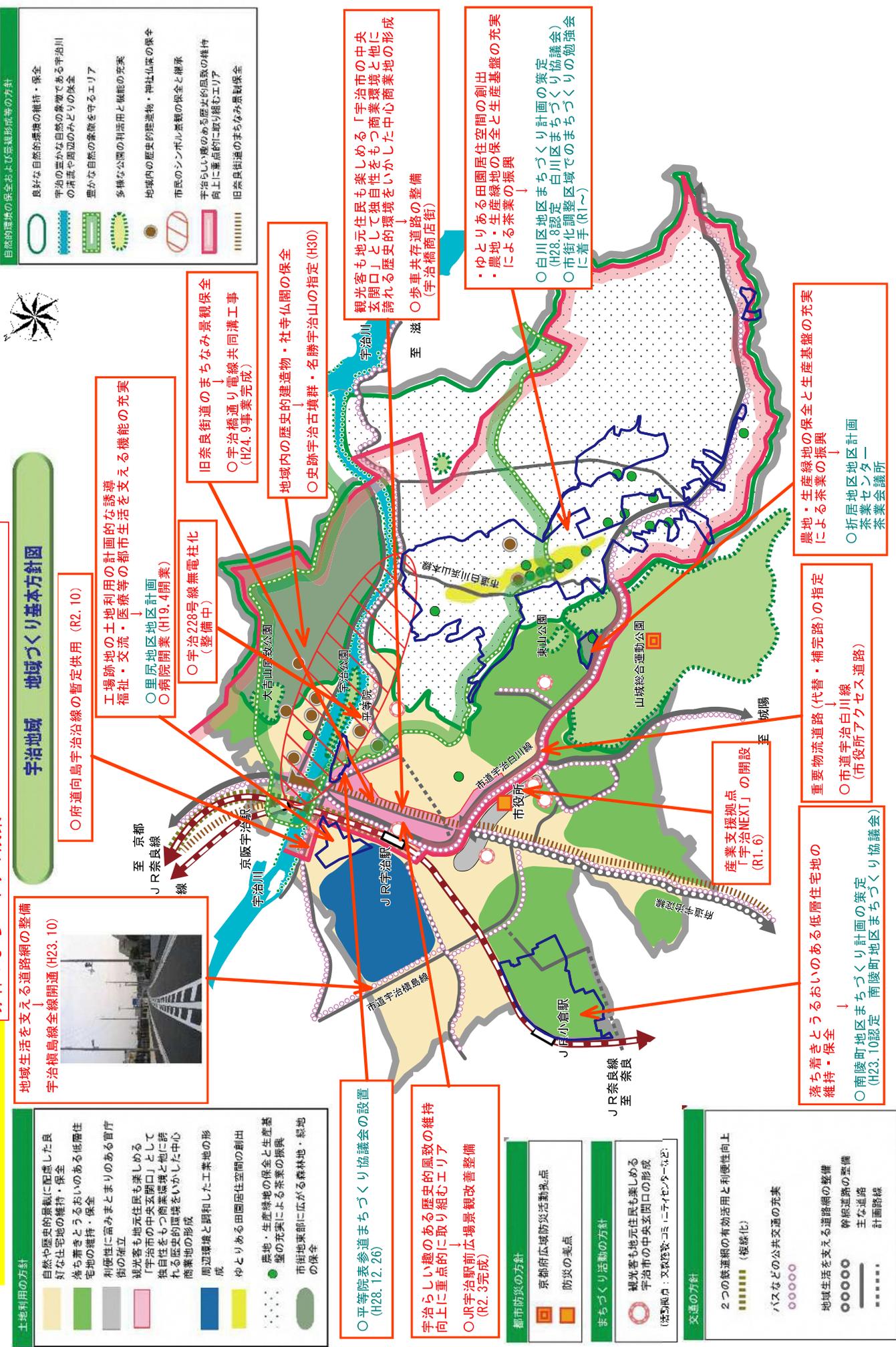
- 農地や山地の保全と生活環境の維持・保全
- 宇治の豊かな自然の条件である宇治川の清流や周辺のみどりの保全
- 豊かな自然の条件を守るエリア
- 多様な公園の整備と緑化の推進
- 志津川周辺の貴重な自然的環境の保全・育成と緑の空間としての活用
- 史跡・歴史的建造物の保全
- 史跡とお茶の文化を知り、体感できる観光交流拠点の整備の推進
- 宇治らしい趣のある歴史の風情の維持向上に重点的に取り組むエリア
- 黄檗寺周辺の歴史的なまちなみと一体感のある景観の形成を図るエリア
- 旧奈良街道のまちなみ景観保全
- 山並みスカイラインの景観保全

黄檗地域 地域づくり基本方針図



まちづくりの成果

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果



自然環境の保全および景観形成等の方針

- 良好な自然環境の維持・保全
- 宇治の豊かな自然の景観である宇治川の清流や周辺のみどりの保全
- 豊かな自然の景観を守るエリア
- 多様な公園の利活用と景観の充実
- 地域内の歴史的建造物、神社仏閣の保存
- 市民のシンボル景観の保全と継承
- 宇治らしい趣のある歴史的風致の維持向上に重点的に取り組むエリア
- 旧奈良街道のまちなみ景観保全

宇治地域 地域づくり基本方針図

○ 府道向島宇治沿線の暫定供用 (R2.10)

工場跡地の土地利用の計画的な誘導
福祉・交流・医療等の都市生活を支える機能の充実

- 里戻地区地区計画 (H19.4開業)
- 病院開業 (H19.4開業)
- 宇治228号線無電柱化 (整備中)

旧奈良街道のまちなみ景観保全

- 宇治橋通り電線共同溝工事 (H24.9事業完成)

地域内の歴史的建造物・社寺仏閣の保全

- 史跡宇治古墳群・名勝宇治山の指定 (H30)

まちづくりの成果

地域生活を支える道路網の整備

宇治横島線全線開通 (H23.10)

赤枠：まちづくりの成果

土地利用の方針

- 自然や歴史的景観に配慮した良好な住宅地の維持・保全
- 落ち着きとうるおいのある低層住宅地の維持・保全
- 利便性に富みまとまりのある官庁街の確立
- 観光客も地元住民も楽しめる「宇治市の中央玄関口」として独自のまちづくり商業環境と他に誇れる歴史的景観をいかした中心商業地の形成
- 周辺環境と調和した工業地の形成
- ゆとりある田園居住空間の創出
- 農地・生産緑地の保全と生産基盤の充実による茶業の振興
- 市街地東部に広がる森林地・緑地の保全

都市防災の方針

- 京都府広域防災活動拠点
- 防災の拠点

まちづくり活動の方針

- 観光客も地元住民も楽しめる宇治市の中央玄関口の形成 (活動拠点：交差点・コミニティセンターなど)

交通の方針

- 2つの鉄道線の有効活用と利便性向上 (複線化)
- バスなどの公共交通の充実

地域生活を支える道路網の整備

- 幹線道路の整備
- 主な道路
- 計画路線

観光客も地元住民も楽しめる「宇治市の中央玄関口」として独自のまちづくり商業環境と他に誇れる歴史的景観をいかした中心商業地の形成

- 歩車共存道路の整備 (宇治橋商店街)

ゆとりある田園居住空間の創出

- 農地・生産緑地の保全と生産基盤の充実による茶業の振興

白川地区区まちづくり計画の策定 (H28.8認定 白川地区まちづくり協議会)

- 市街化調整区域でのまちづくりの勉強会に着手 (R1~)

農地・生産緑地の保全と生産基盤の充実

重要物流道路 (代替・補完路)の指定

- 市道宇治白川線 (市役所アクセス道路)

産業支援拠点「宇治NEXT」の開設 (R1.6)

落ち着きとうるおいのある低層住宅地の維持・保全

- 南陵町地区まちづくり計画の策定 (H23.10認定 南陵町地区まちづくり協議会)

折居地区地区計画 茶業センター 茶業会議所

平等院表参道まちづくり協議会の設置 (H28.12.26)

宇治らしい趣のある歴史的風致の維持向上に重点的に取り組むエリア

- JR宇治駅前広場景観改善整備 (R2.3完成)

まちづくりの成果

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果



楨島地域 地域づくり基本方針図

土地利用の方針

	快適な生活環境を有する住宅地
	住宅と共存する工業地
	地域住民・周辺住民の日常生活を支える商業地
	新たな産業の誘致・振興
	重まれた自然・生態環境や住環境の維持・保全



活力に満ちた工業地の整備・充実を進めます
 ○目川南北線の整備 (H21.9)
 ○目川 (雨水貯留管) (整備中)

自然的環境の保全および景観形成等の方針

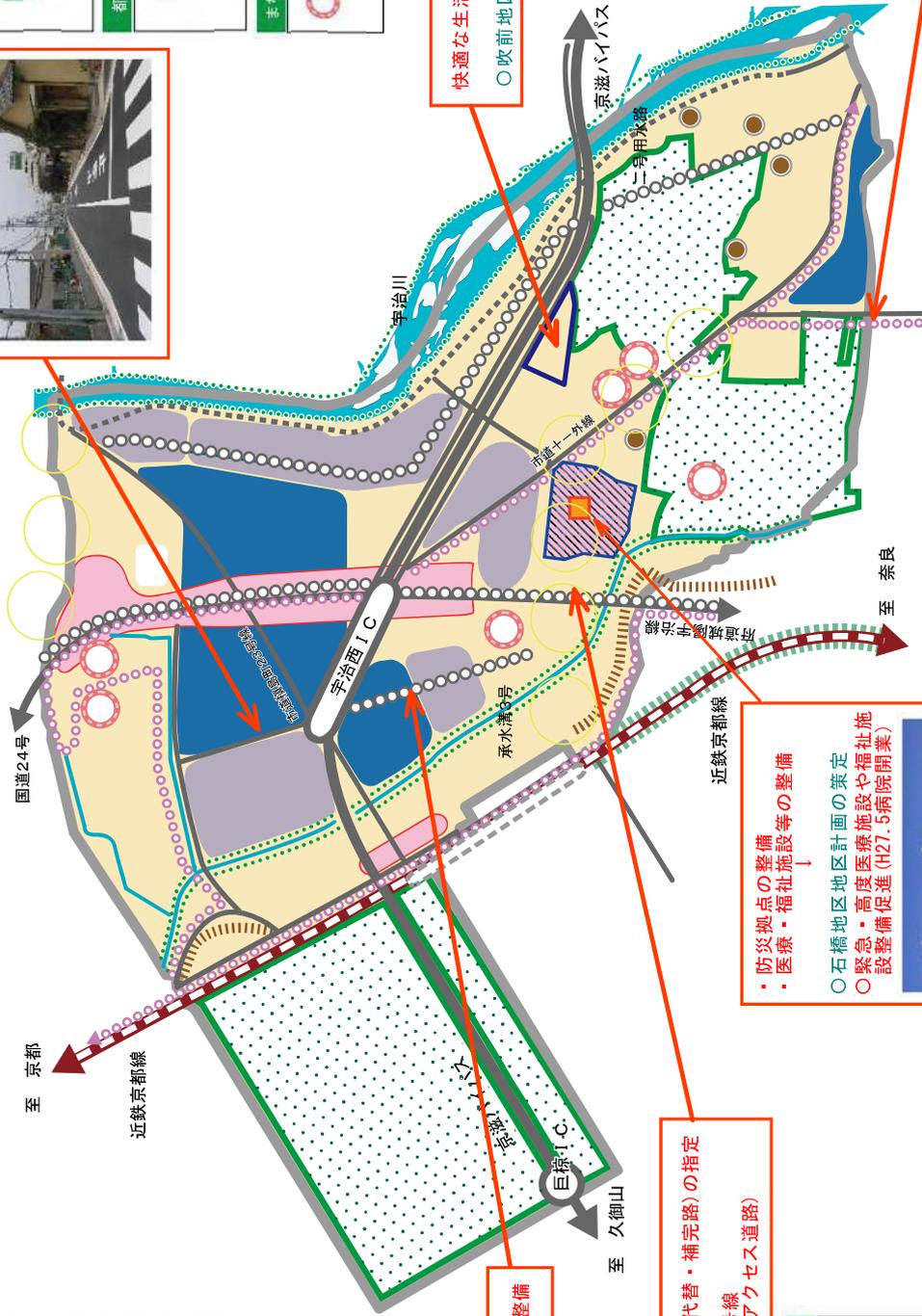
	地域内用水路の再生・活用
	平治の豊かな自然の景観で有る宇治川の清流や周辺のみどりの保全
	史跡・歴史的建造物・神社仏閣の保全
	落ち着きある田園風景の保全
	歴史的景観の保全

都市防災の方針

	医療・福祉施設等の整備促進
	防災の拠点

まちづくり活動の方針

「開けゆくまちづくり」を進めるための地域組織の構築 (活動拠：文藝楽団・コミュニティセンターなど)



快適な生活環境を有する住宅地の形成
 ○吹前地区地区計画の策定



地域生活を支える道路網の整備
 宇治横島線全線開通 (H23.10)



・防災拠点の整備
 ・医療・福祉施設等の整備
 ○石橋地区地区計画の策定
 ○緊急・高度医療施設や福祉施設整備促進 (H27.5病院開業)

重要物流道路(代替・補完路)の指定
 ○市道楨島70号線 (防災拠点のアクセス道路)

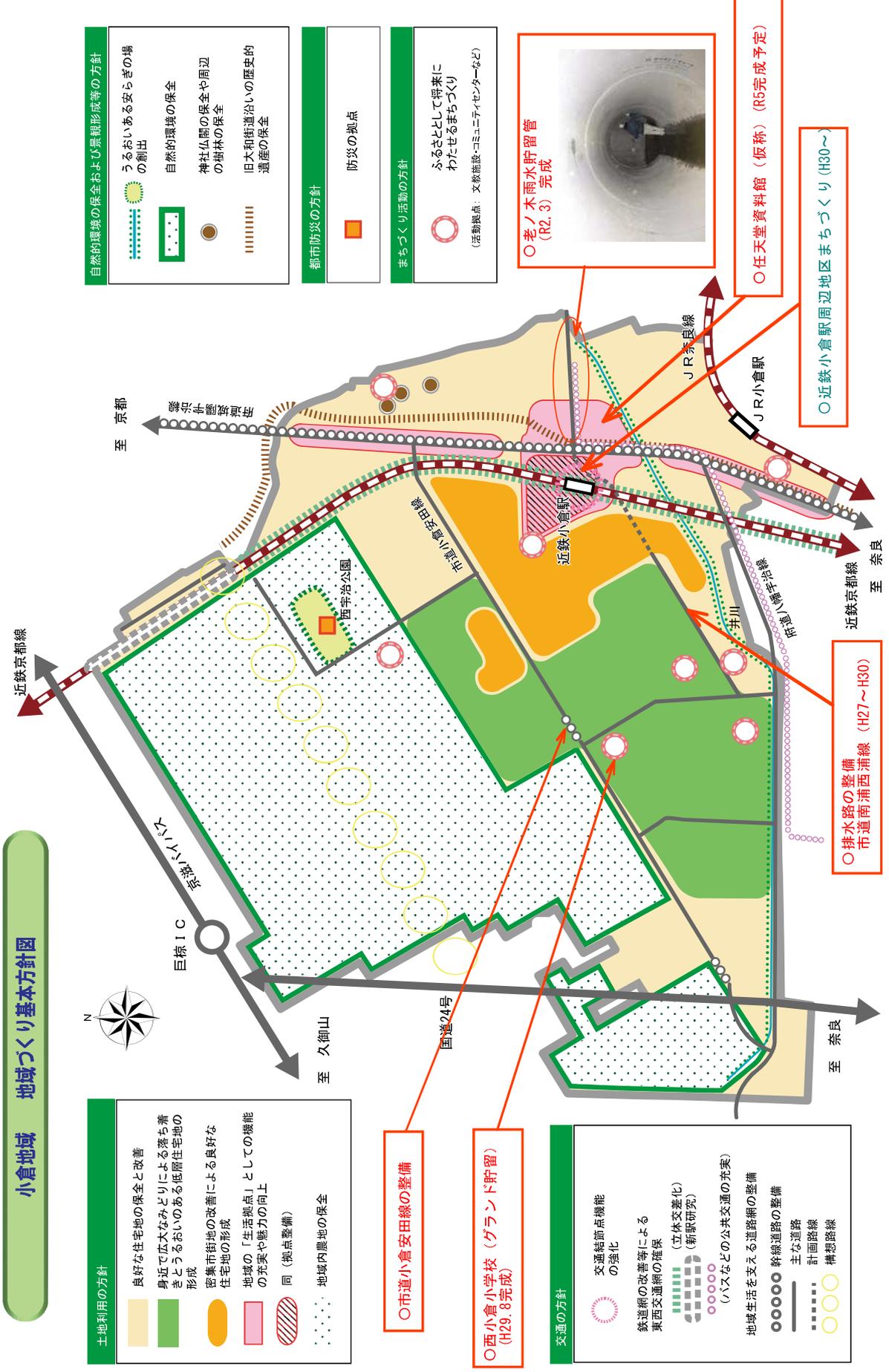
○市道楨島町206号線の整備

交通の方針

	バスなどの公共交通の充実
	鉄道網の利便性向上 (立体交差化) (新駅研究)
	地域生活を支える道路網の整備
	幹線道路の整備
	計画路線
	構想路線

まちづくりの成果

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果



小倉地域 地域づくり基本方針図

土地利用の方針

- 良好な住宅地の保全と改善
- 身近で広大なみどりによる落ち着きとうるおいのある低層住宅地の形成
- 密集市街地の改善による良好な住宅地の形成
- 地域の「生活拠点」としての機能の充実や魅力の向上
- 同 (拠点整備)
- 地域内農地の保全

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- うるおいある安らぎの場の創出
- 自然的環境の保全
- 神社仏閣の保全や周辺の樹木の保全
- 旧大和街道沿いの歴史的遺産の保全

都市防災の方針

- 防災の拠点

まちづくり活動の方針

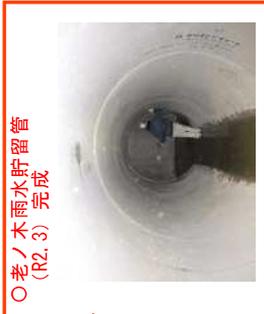
- ふるさととして愛にわたらせるまちづくり (活動拠点：文教施設・コミュニティセンターなど)

交通の方針

- 交通結節点機能の強化
- 鉄道網の改善等による東西交通網の確保 (立体交差化) (新駅研究)
- バスなどの公共交通の充実 (ハスなどの公共交通の充実)
- 地域生活を支える道路網の整備
- 幹線道路の整備
- 主要道路
- 計画道路
- 構想道路

○市道小倉安田線の整備

○西小倉小学校 (グラウンド貯留) (H29.8完成)



○任天堂資料館 (仮称) (R5完成予定)

○近鉄小倉駅周辺地区まちづくり (H30~)

○排水路の整備 市道南浦西浦線 (H27~H30)

まちづくりの成果

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果

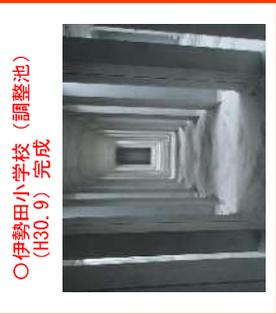
大久保地域 地域づくり基本方針図

自然環境の保全および景観形成等の方針

- 良好な緑地環境の維持・保全
 - 各木川を中心とした緑豊かな空間づくり
 - 多様な公園の整備と緑化の推進
- 史跡や周辺の樹木の保全
 - 旧奈良街道・大和街道沿いの歴史的遺産の保全

まちづくり活動の方針

- 大久保ならではの歴史的で豊かな地域コミュニティの形成
(活動拠点：文藝施設・コミュニティセンターなど)



土地利用の方針

- 良好な住宅地の保全と改善
- みどりと文教の薫り高い落ち着いた層のある低層住宅地の形成
- 玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出
(駅前広場整備など)
- 空間の創出
- 周辺環境と調和した工業地の形成
- 地域の重要な資源である東部の森林地・緑地の保全

○西宇治中学校（調整池）
(H30.9完成)

・周辺環境と調和した工業地の形成
○大久保地区地区計画

新たな産業の誘致・振興
○ベンチャー育成工場の開設(H17.4)

○西大久保小学校（グラウンド貯留）
(H28.5完成)

交通の方針

- 交通結節点機能の強化
- 鉄道網の利便性向上
(複線化)
(立体交差化)
- 地域生活を支える道路網の整備
○主要道路
○計画路線

にぎわいと活力ある都市空間の創出
○歩車共存道路の整備
(市道新田久保線)

○開第一児童公園（調整池）
(H28.3完成)

みどりと文教の薫り高い落ち着いた層のある低層住宅地の形成
○大開地区地区計画

玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出
○JR新田駅東口駅前広場整備・東口改札(H30.5)

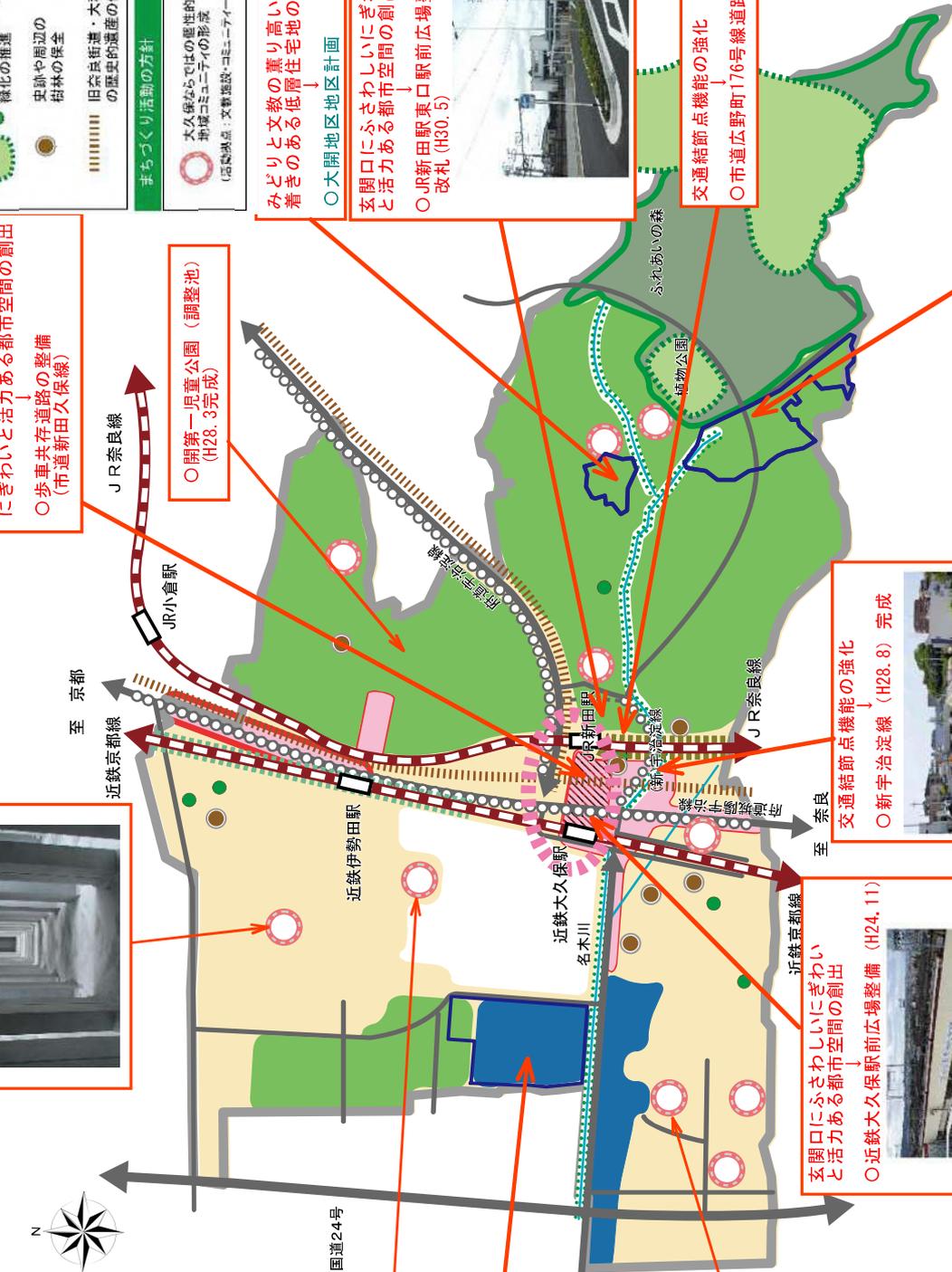


交通結節点機能の強化
○市道広野町176号線道路拡幅(H31)

みどりと文教の薫り高い落ち着いた層のある低層住宅地の形成
○尖山地区地区計画の策定



玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出
○近鉄大久保駅前広場整備(H24.11)

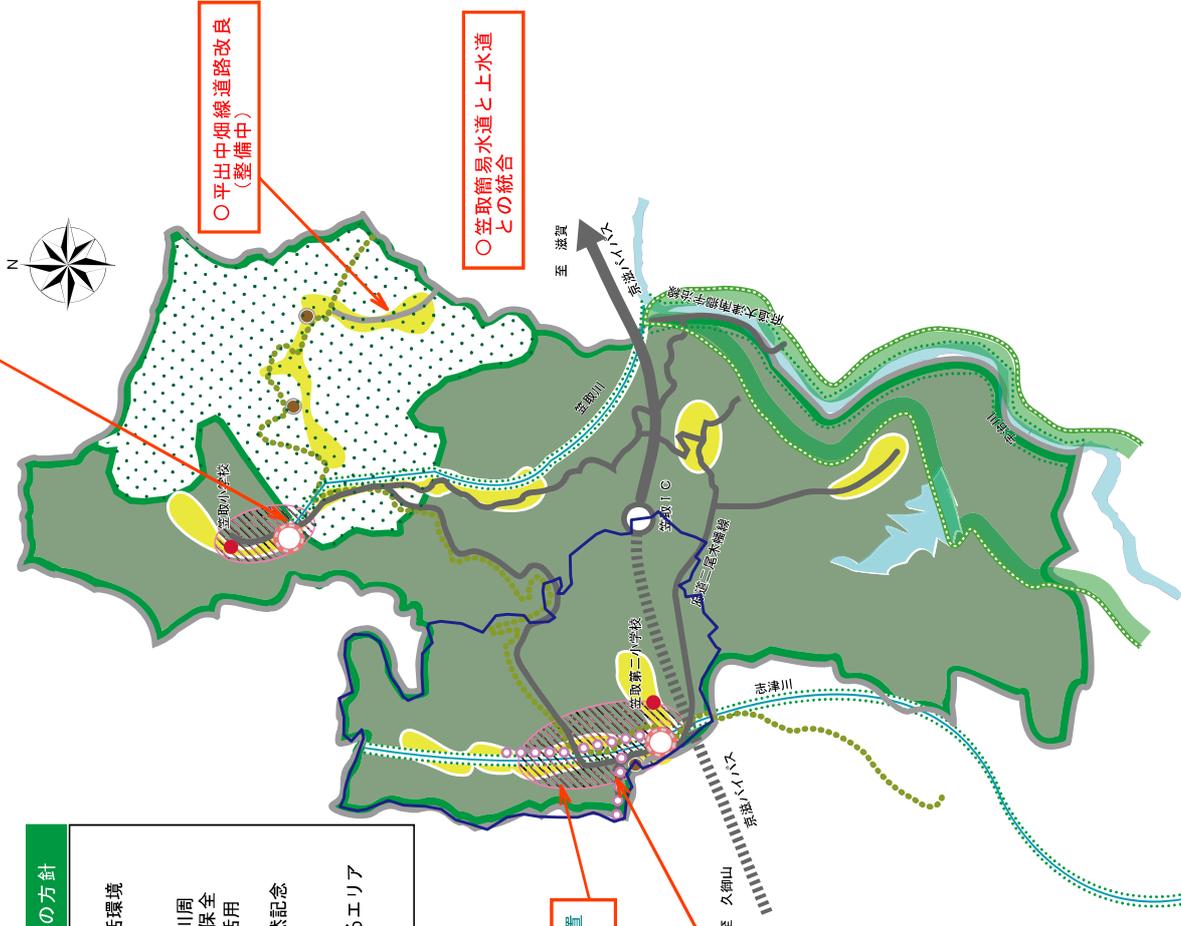


まちづくりの成果

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果

山間地域 地域づくり基本方針図

土地利用の方針 集落毎のまとまりを大切に した生活環境の向上 優良農地・森林の維持・保全 山間自然ゾーンとして緑地 環境及び農業環境の保全 観光・レクリエーション資源 の活用と自然環境を損なわ ない範囲での整備・活用	自然環境の保全および景観形成等の方針 農地や山地の保全と生活環境 の維持・保全 宇治川、志津川、笠取川周 辺の貴重な自然環境の保全 と憩いの空間としての活用 地域内の神社仏閣・天然記念 物の保全 豊かな自然の象徴を守るエリア
交通の方針 地域生活を支える道路網の充実 主な道路 バスなどの公共交通の充実	まちづくり活動の方針 里山の保全活動や、地域内の活性化の 推進 （活動拠点：アクトハル宇治・炭山工芸村・ 工芸の里） 活動拠点のエリア



○総合野外活動センター（アクトハル宇治）での活動プログラムの提供

○平出中畑線道路改良（整備中）

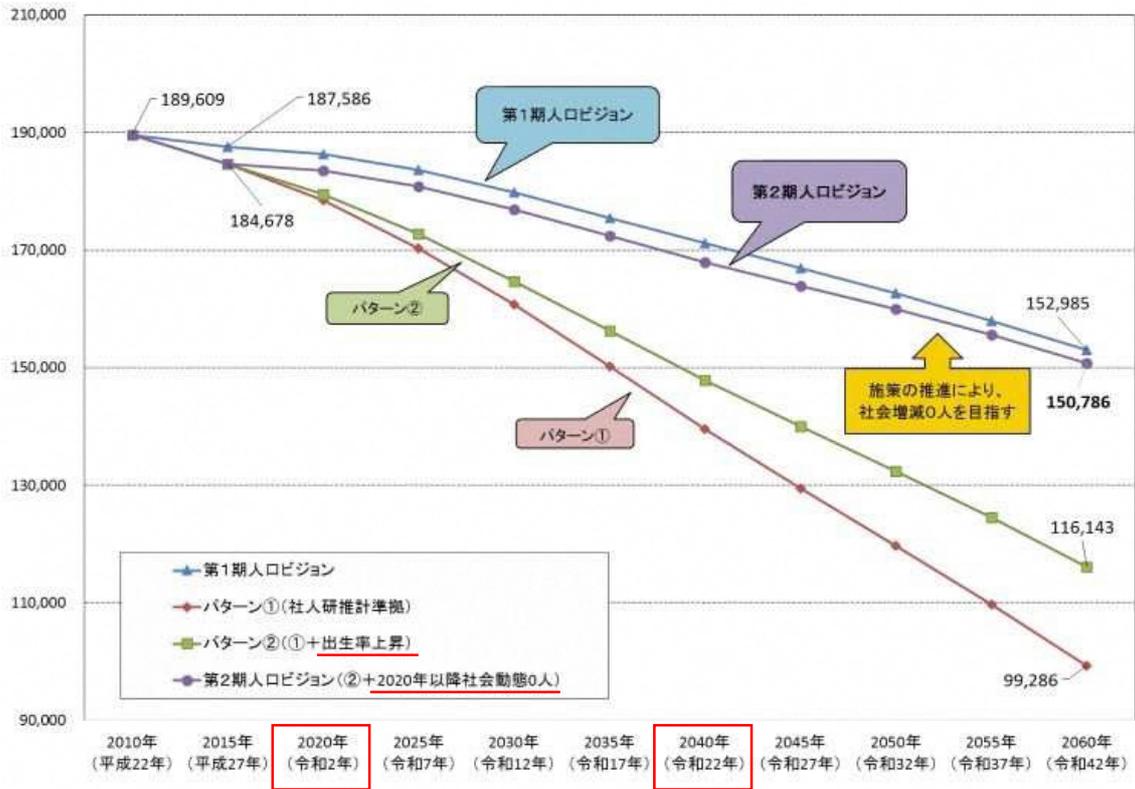
○笠取簡易水道と上水道との統合

○炭山地区まちづくり協議会の設置（H29.9.20）

○炭山助け合い移動支援事業（R3～）

2. 現状分析

① 第2期宇治市人口ビジョン



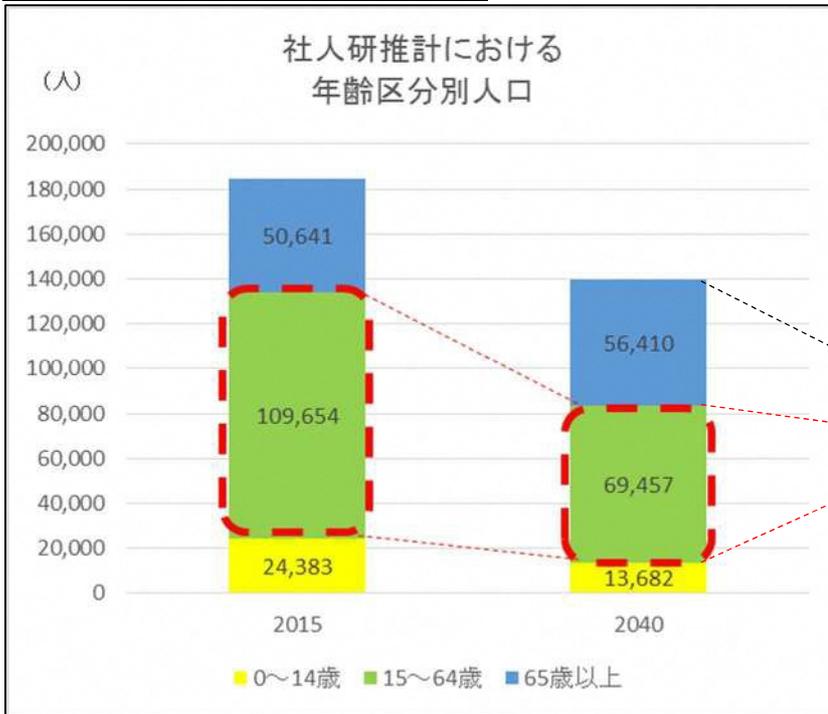
(単位:人)

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2040年 (令和22年)	2050年 (令和32年)	2060年 (令和42年)
第1期人口ビジョン	189,609	187,586	186,352	183,636	179,782	171,151	162,666	152,985
パターン①(社人研推計準拠)	189,609	184,678	178,465	170,329	160,718	139,549	119,719	99,286
パターン②(①+出生率上昇)	189,609	184,678	179,519	172,739	164,668	147,910	132,403	116,143
第2期人口ビジョン (②+2020年以降社会動態0人)	189,609	184,678	183,546	180,837	176,917	167,893	159,938	150,786
(参考)住民基本台帳を 基にした推計人口	190,282	189,798	188,971	186,597	183,021	174,527	166,844	157,565

資料：第2期 宇治市人口ビジョン 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略

② 年齢区分別人口

社人研推計準拠の年齢区分別人口

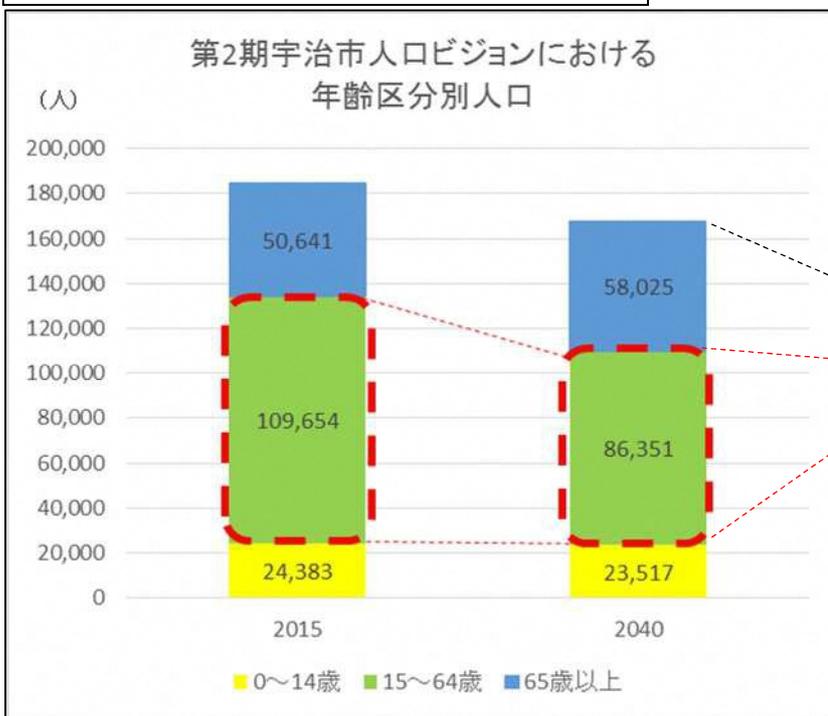


2015年 2040年

1人 1人
2.2人 1.2人

※生産年齢人口が支える
高齢者の数

第2期宇治市人口ビジョンの年齢区分別人口



2015年 2040年

1人 1人
2.2人 1.5人

※生産年齢人口が支える
高齢者の数

宇治市第2期人口ビジョンより作成

③ 人口の推計プロセス

字別・男女別・年齢階級別人口の推計は、第2期宇治市人口ビジョンの将来人口予測方法（コーホート要因法）と同様とし、2015年国勢調査における字別・男女別・5歳階級別人口をもとに推計した。

1. 合計特殊出生率

国の長期ビジョンにおいては、2060年（令和42年）に1億人程度の人口を維持するために必要な合計特殊出生率は、2020年（令和2年）に1.60、2030年（令和12年）に1.80、2040年（令和22年）以降は人口が長期的に増減しない水準である2.07と仮定している。

本市においても、2040年（令和22年）以降、人口水準を維持するため、国の長期ビジョンにおいて示された合計特殊出生率を直線的に補完した値を目標とする。

	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)	2040年 (令和22年)	2045年 (令和27年)	2050年 (令和32年)	2055年 (令和37年)	2060年 (令和42年)
国の長期ビジョン	1.35	1.60	-	1.80	-	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
宇治市人口ビジョン	1.35	1.60	1.70	1.80	1.94	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

資料：第2期宇治市人口ビジョン

2. 社会増減

国は2010年から2015年の純移動率が2040年以降も続くと仮定して人口推計を行っている。それによると2060年の本市人口は、11万6,143人となり40年間で約7万人もの人口が減少することになる。

そこで、本市においては社会増減の減少幅が改善してきている現状を踏まえ引き続き地方創生に寄与する施策を推進していくことで、2020年以降、社会増減を0人とすることを目標とする。

3. 5-9歳以上の5歳階級人口の推計

5歳以上の年齢における男女別・5歳階級別の将来人口は、その5年前における1階級下（5歳下）の人口に「生残率」及び「純移動率」を乗ずることにより推計する。

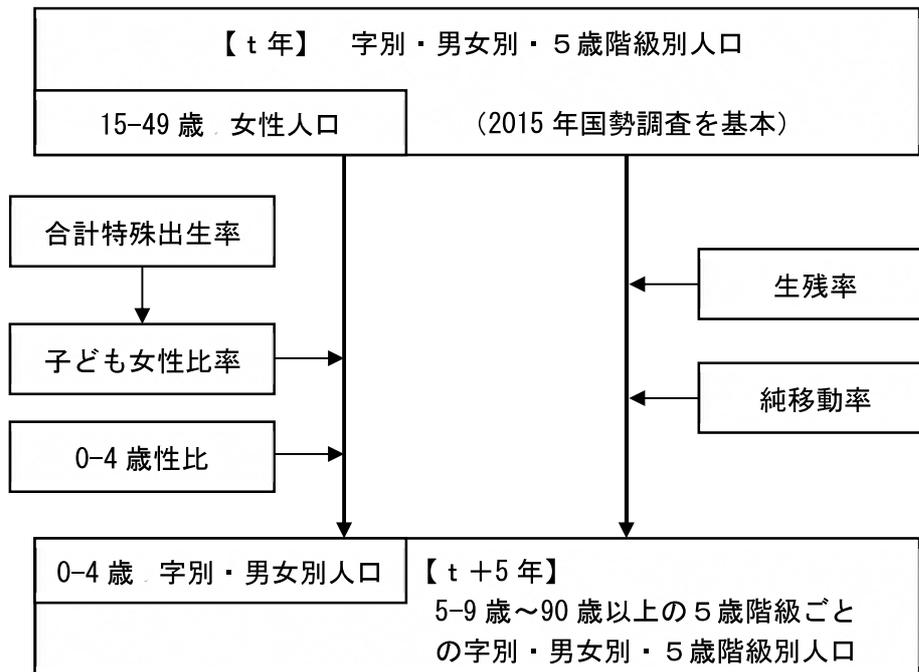
①生残率：社会保障人口問題研究所において仮定した都道府県別仮定値を使用

②純移動率：第2期人口ビジョンにおいて、2020年に社会減が解消し、それ以降は社会増減が0人と仮定

4. 0-4 歳人口の推計

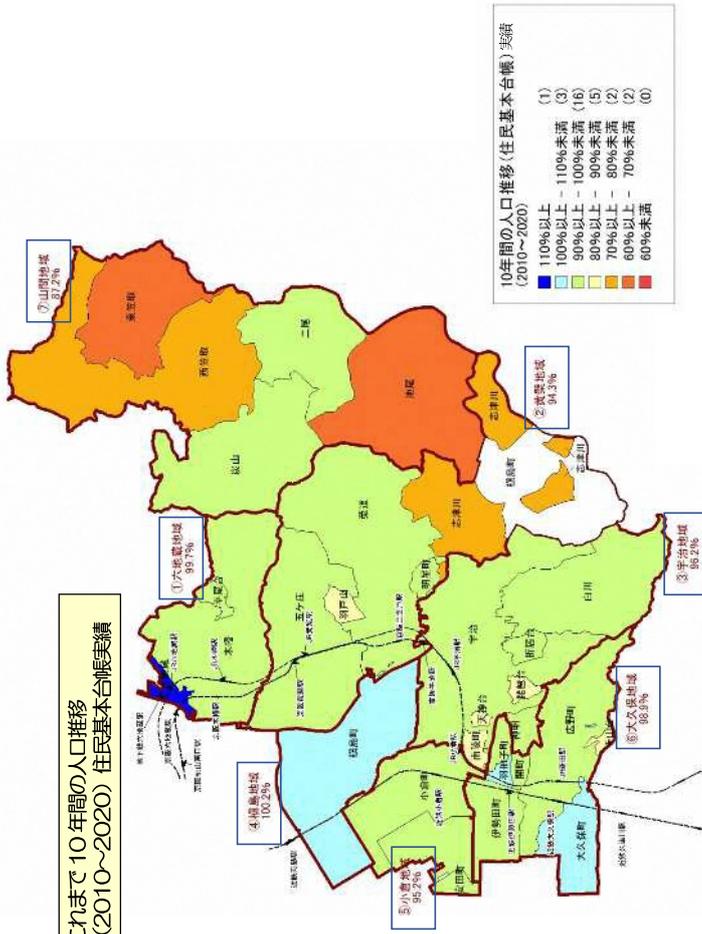
0-4 歳人口は、同時点の女性 15-49 歳の人口に「子ども女性比率」を乗じて推計し、この値に「0-4 歳性比」を乗じて、男女別に配分した男女別人口を推計する。

- ①子ども女性比率：社会保障人口問題研究所による推計値をもとに換算率（合計特殊出生率／子ども女性比率）を設定し、年次別に設定した合計特殊出生率に応じて、「子ども女性比率」を仮定
- ②0-4 歳性比：社会保障人口問題研究所による仮定値を使用



④人口推移

これまで10年間の人口推移
(2010～2020) 住民基本台帳実績



2010年：190,282人
2020年：185,203人 (2010年を100として97.3%)

●これまでの10年間の人口推移 (2010～2020年)
人口は5,079人減少し、2010年を100として97.3%と減少している。

【大字別】

増加傾向にあったのは29地区の内4地区
最も増加みられたのは「穴穂置」の171.8% (要因は大型マンション等)
(次いで「羽拍子町」106.4%、「大久保」103.1%、「横島畑」100.2%)
昭和40年代後半から昭和50年代にかけて開発された古い一団の開発地 (南殿町、天神台、琵琶台、羽戸山、寺山台) での減少率が大きい (90%以下)

【地域別】

横島地域は微増傾向 (100.2%) であるが、工場跡地の宅地化によるものであり望ましくない傾向ではない。(住工商混在)
減少傾向の少ない地域は、穴穂置の「穴穂置」99.7%、「大久保」98.9%、「宇治」96.2%であった。
一方、減少傾向の高い地域は、「山間地域」87.2%のほか高度経済成長期に商業地として栄えた「美濃地域」94.3%、「小倉地域」95.2%となっている。

●今後20年間の人口推計 (2020～2040年)

2040年の本市の人口は、2020年を100として社人研推計では78.9%、人口ビジョンでは91.4%と人口減少が進展する。

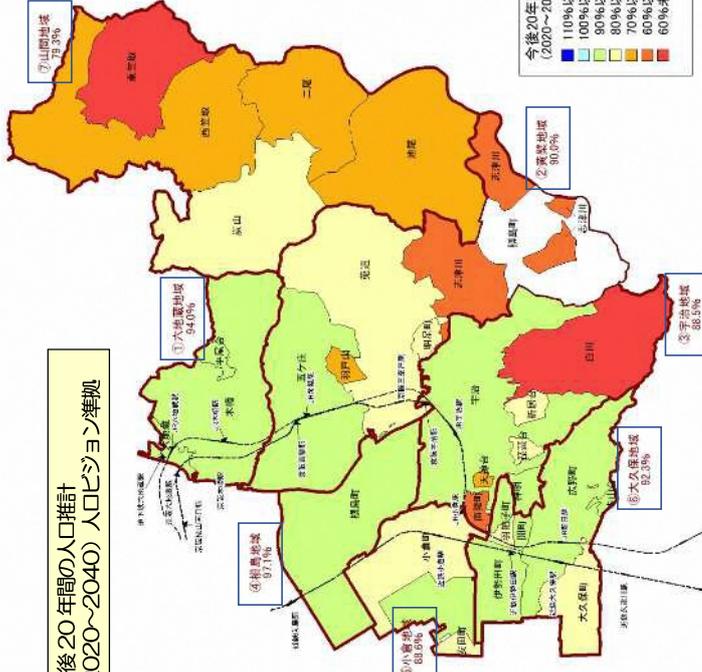
【大字別】

社人研推計、人口ビジョン推計ともすべての地区で減少傾向となっている。
最も、差異となる社人研推計においても、生活利便性の高い中核拠点 (宇治、穴穂置) の減少率は、他と比べ比較的低い

【地域別】

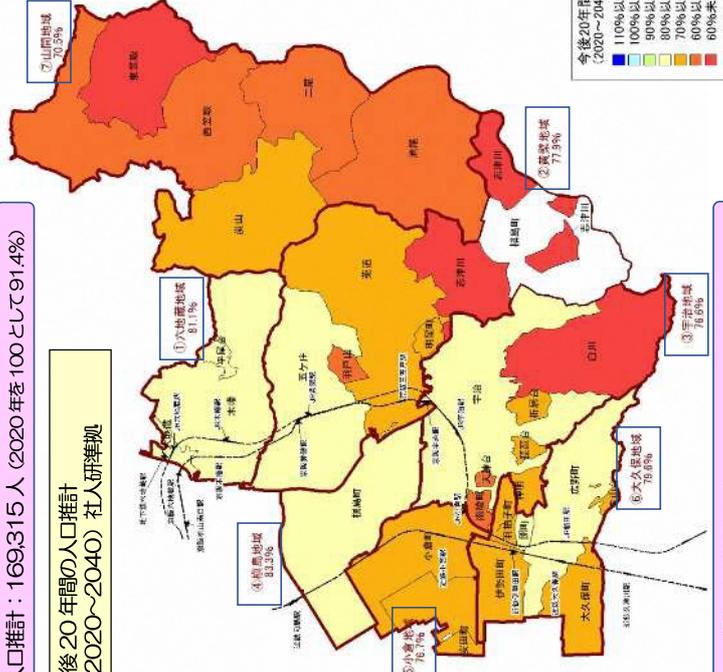
社人研推計、人口ビジョン推計ともすべての地域で減少傾向である。
高度成長期一気に開発が進み、駅周辺に約2万人が居住する「小倉地域」での減少率が高い (社人研推計76.7%、人口ビジョン推計88.6%)

今後20年間の人口推計
(2020～2040) 人口ビジョン準拠



2040年人口推計：169,315人 (2020年を100として91.4%)

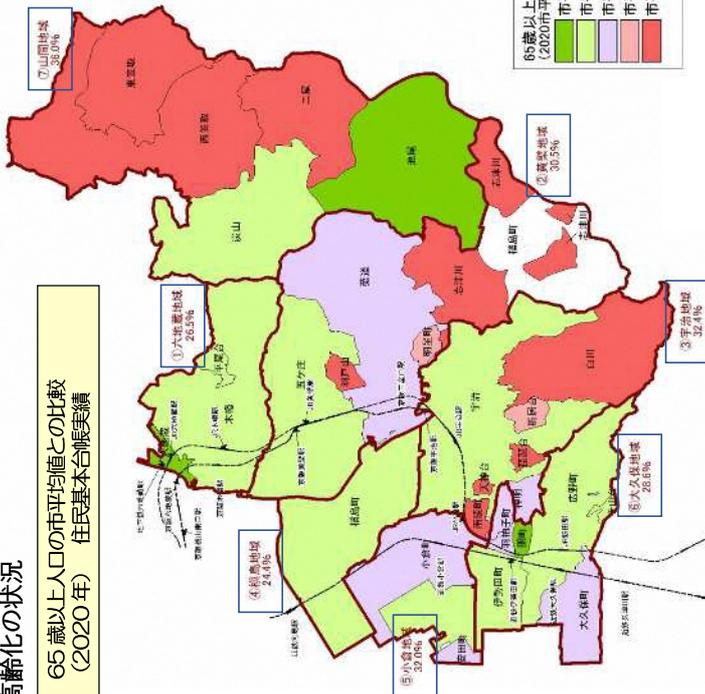
今後20年間の人口推計
(2020～2040) 社人研準拠



2040年人口推計：146,204人 (2020年を100として78.9%)

⑤地区別の高齢化の状況

65歳以上人口の市平均値との比較
(2020年) 住民基本台帳実績



2010年：190,282人 65歳以上人口（高齢者）比率：21.4%
2020年：185,203人 65歳以上人口（高齢者）比率：29.4%

●高齢化比率（2010～2020年）
高齢者は13,639人増加して、8ポイント上がり高齢化率は29.4%に進展している。

【大字別】

構成比をみると、すべての地区で増加している。山間部と古い一団の団地で高齢化率は高い傾向にある。「南萩町」50.0%、「羽戸山」47.6%、「天神台」43.6%、「西笠取」48.7%、「東笠取」61.0%、「西笠取」48.7%、「二尾・池尾」40.0%。山間部は従業、交通、買い物などの生活利便性から若い世代の転入が進みます。古い一団の団地は団塊の世代が多いなど同年代構成から高齢化が進みやすい傾向にある。

一方、高齢者比率が最も低かった地区は、「六ヶ島」で、人口増加が最も高い地区であり、子育て世帯の流入が多くみられた地区である。

【地域別】

高度成長期に一気に開発が進んだ小倉地域では一団の団地同様、高齢化率が高い

●高齢化比率（2020～2040年）

2040年の高齢者比率は、社人研推計では39.9%、人口ビジョン推計では35.1%と高齢化率は進展している。社人研推計では2055年、人口ビジョンでは2045年をピークに高齢化率は減少に転じる。

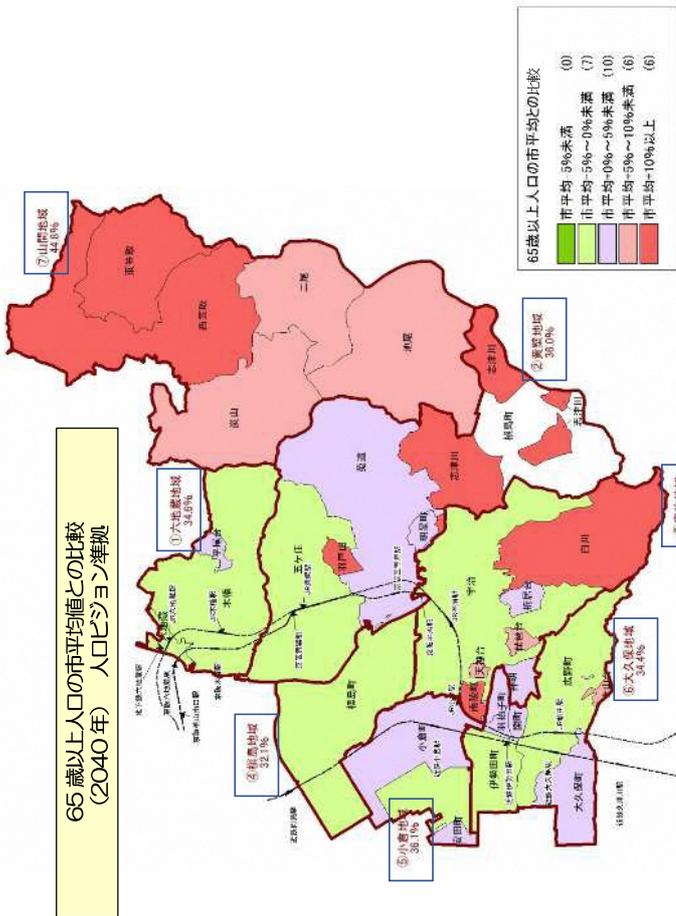
【大字別】

山間部で将来推計にバラツキが出ているが、高齢化率が高く、その上母数が小さいことによる誤差である。

【地域別】

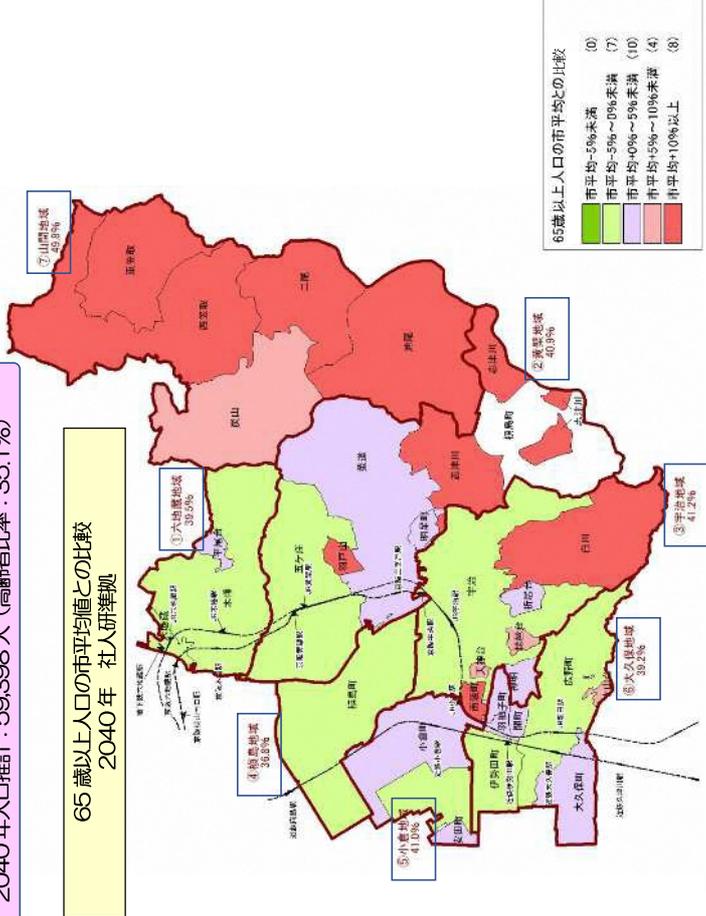
地域別にみると社人研推計、人口ビジョン推計ともにすべての地域で増加傾向である。増加傾向が特に高い地区は、「萩島地域」で社人研推計36.8%、人口ビジョン推計32.1%である。

65歳以上人口の市平均値との比較
(2040年) 人口ビジョン推計



2040年人口推計：59,398人（高齢者）比率：35.1%

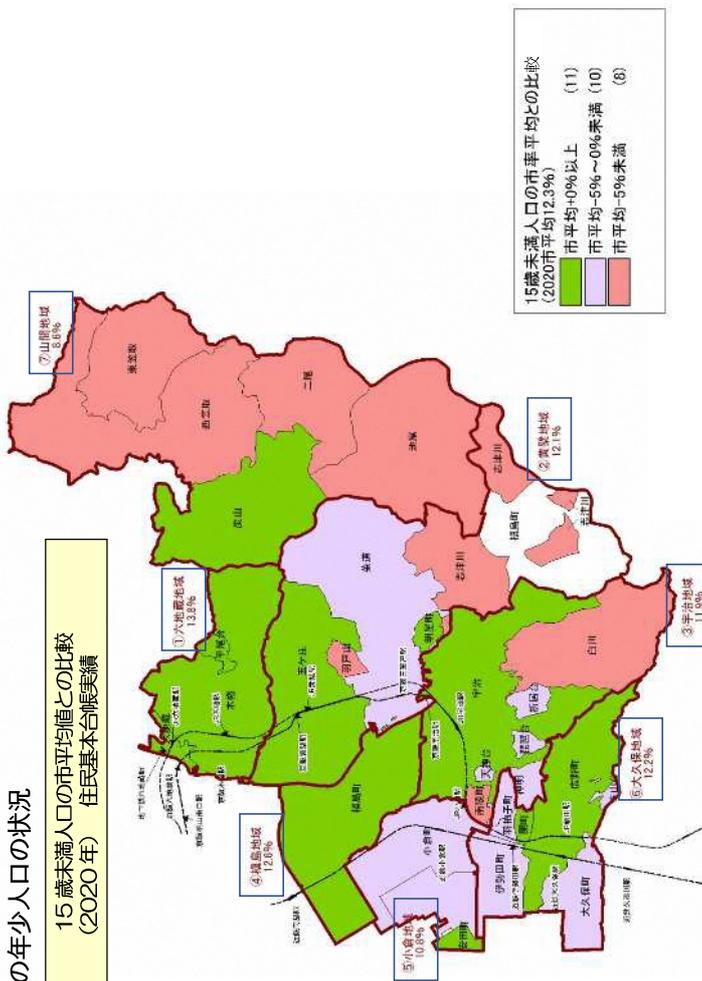
65歳以上人口の市平均値との比較
2040年 社人研推計



2040年人口推計：58,373人（高齢者）比率：39.9%

⑥地区別の年少人口の状況

15歳未満人口の市平均値との比較
(2020年) 住民基本台帳実績



2010年：190,282人 15歳未満人口：27,397人 (年少人口比率：14.4%)
2020年：185,203人 15歳未満人口：22,699人 (年少人口比率：12.3%)

●年少人口の推移 (2010~2020年)

15歳未満人口の構成比をみると、2010年の14.4%に対して2020年では、4,698人減少して、2ポイント下がり12.3%

【大字別】

「六地域」15.2%と市平均値と比較して15歳未満人口構成比が多い。(要因は大規模マンション等)

【地域別】

人口増減、高齢化率と連動する形で、「小倉地域」が低い(10.8%)

「六地域」は、大字別と同様大規模マンション開発による、子育て世帯の流入により高い傾向にある。(13.8%)

●年少人口推計 (2020~2040年)

人口ビジョン準拠では2040年に13.8%と2020年(12.3%)と比べ改善したが、社研準拠では9.8%と改善できない。

人口ビジョン準拠では、早い段階で増加傾向に転じる

【大字別】

社研準拠でも2040年前後で増加傾向がみられ始める。

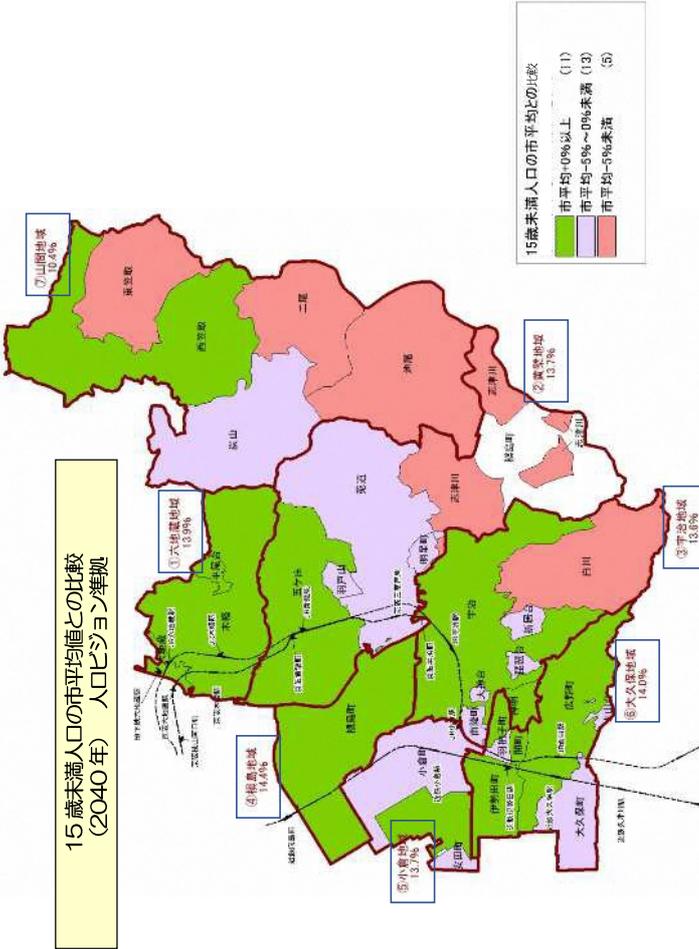
社研準拠では、「福島」10.4%、「免道」と「寺山台」10.1%で、市平均よりも構成比が高い。

【地域別】

市平均より15歳未満人口割合の高い地域は、社研準拠で、「福島地域」10.4%、「山間地域」7.2%と市平均より低い母数が少なく

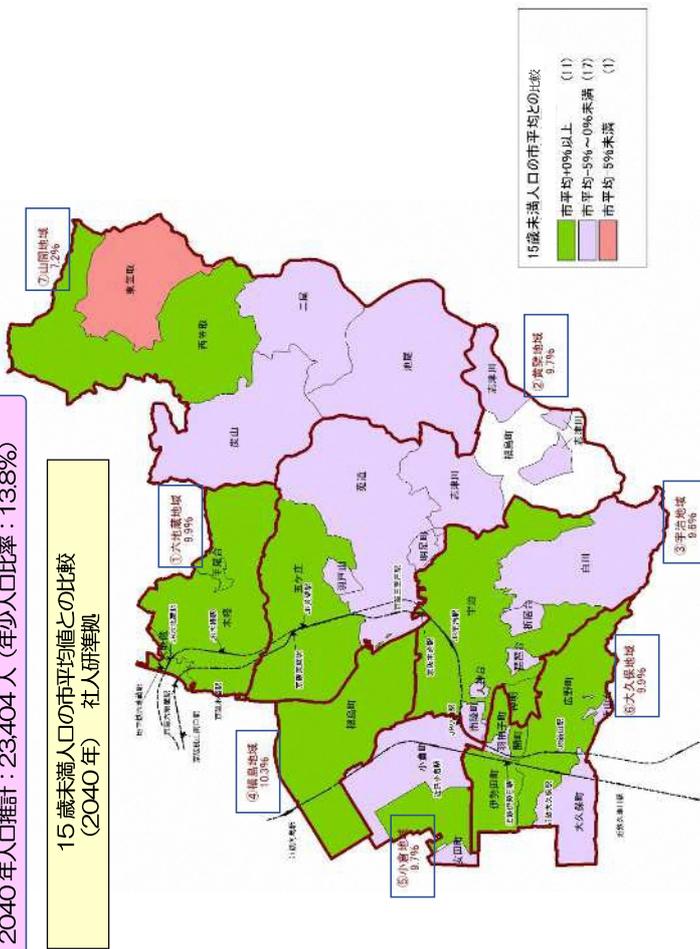
明確な傾向が得られない

15歳未満人口の市平均値との比較
(2040年) 人口ビジョン準拠



2040年人口推計：23,404人 (年少人口比率：13.8%)

15歳未満人口の市平均値との比較
(2040年) 社研準拠



2040年人口推計：14,369人 (年少人口比率：9.8%)

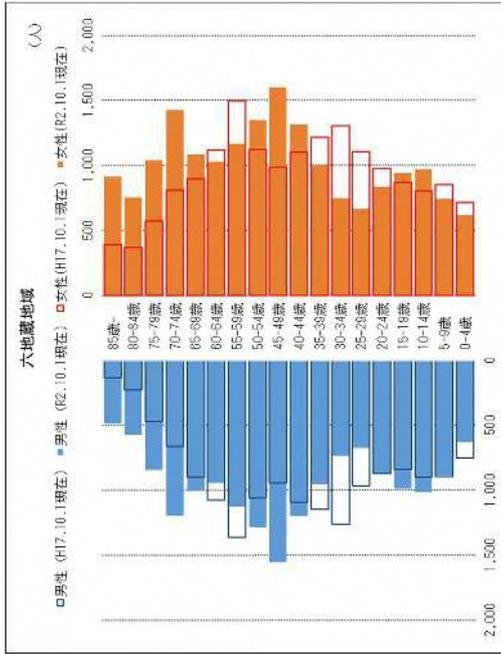
六地藏地域の現状



1. 人口

①人口ピラミッド

地域内の人口は、35,151人(2020/10)です。人口ピラミッドをみると、2005(H17)年から2020年(R2)にかけて、少子高齢化が進んでいることがわかります。



②人口減少

六地藏地域の人口は、宇治市の人口ピラミッドの予想では、2020年から2040年までに、約2,100人減少します。(社人研による推計では、約4,700人減少します。)

■地域の人口予測



2020年から2040年までに15歳から64歳の生産人口は約21,000から17,000人となり、約4,000人減少します。(市の人口ピラミッド予想)

■地域の年齢3区分別人口推移



③地域の通勤人口

現在六地藏地域に居住する就業者のうち、宇治市内で就業者の割合は32.3%となっており、62.5%は宇治市外へと働きに出ています。この割合は、市全体の平均と比較しても高くなっています。

■地域の人口流動の状況(2015)

流出人口	宇治市(人)	六地藏地域(人)	(%)
宇治市に居住する就業者	81,764	15,585	100.0
宇治市で従業	32,890	5,028	32.3
他市区町村で従業	43,499	9,738	62.5
府内	34,576	7,655	49.1
府外	8,297	1,991	12.8

資料：国勢調査

④地域の事業所数と従業者数の推移 (2009→2016)

- ・2009年と比べて、地域内の事業所数や従業者数は減少しています。(事業所数-18%、従業者数-10%)
- ・情報通信、教育・学習支援、医療・福祉、サービス業などの従業者数は増加していますが、それ以外の業種は減少しています。

■地域内産業別事業所数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	854	100.0%	699	100.0%	-155	▲18.1%
農林漁業	2	0.2%	0	0.0%	-2	▲100.0%
非農林漁業 (S公務を除く)	852	99.8%	699	100.0%	-153	▲18.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	0	0.0%	-	-
建設業	124	14.5%	82	11.7%	-42	▲33.9%
製造業	51	6.0%	34	4.9%	-17	▲33.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	1	0.1%	1	-
情報通信業	8	0.9%	3	0.4%	-5	▲62.5%
運輸業、郵便業	9	1.1%	9	1.3%	0	0.0%
卸売業、小売業	187	21.9%	147	21.0%	-40	▲21.4%
金融業、保険業	16	1.9%	14	2.0%	-2	▲12.5%
不動産業、物品賃貸業	72	8.4%	53	7.6%	-19	▲26.4%
学術研究、専門・技術サービス業	32	3.7%	21	3.0%	-11	▲34.4%
宿泊業、飲食サービス業	85	10.0%	64	9.2%	-21	▲24.7%
生活関連サービス業、娯楽業	80	9.4%	86	12.3%	6	7.5%
教育、学習支援業	54	6.3%	51	7.3%	-3	▲5.6%
医療、福祉	90	10.5%	99	14.2%	9	10.0%
複合サービス業	2	0.2%	2	0.3%	0	0.0%
サービス業 (他に分類されないもの)	42	4.9%	33	4.7%	-9	▲21.4%

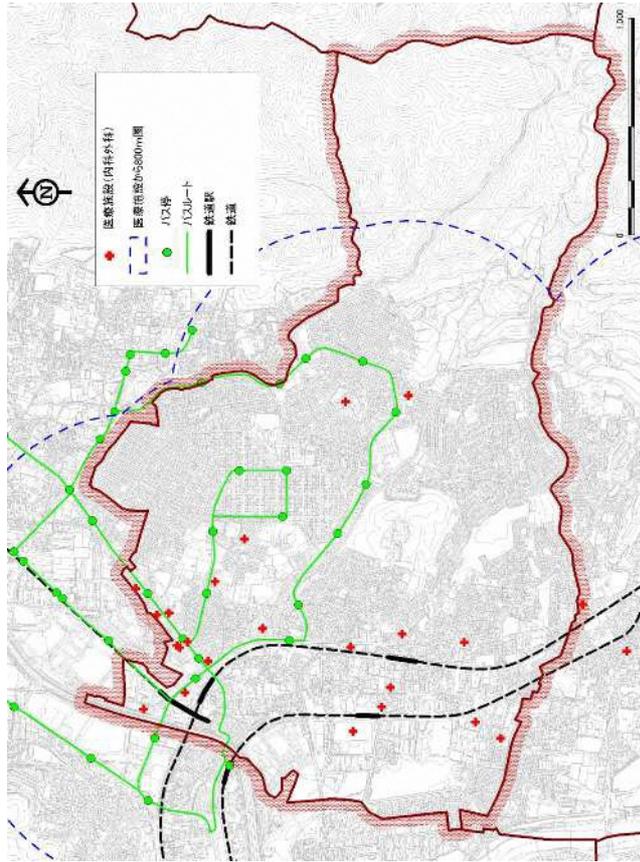
■地域内産業別従業者数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	6,822	100.0%	6,146	100.0%	-676	▲9.9%
農林漁業	42	0.6%	0	0.0%	-42	▲100.0%
非農林漁業 (S公務を除く)	6,780	99.4%	6,146	100.0%	-634	▲9.4%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設業	524	7.7%	338	5.5%	-186	▲35.5%
製造業	1,315	19.3%	993	16.2%	-322	▲24.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	13	0.2%	13	-
情報通信業	164	2.4%	203	3.3%	39	23.8%
運輸業、郵便業	39	0.6%	46	0.7%	7	17.9%
卸売業、小売業	1,458	21.4%	1,354	22.0%	-104	▲7.1%
金融業、保険業	139	2.0%	144	2.3%	5	3.6%
不動産業、物品賃貸業	171	2.5%	108	1.8%	-63	▲36.8%
学術研究、専門・技術サービス業	108	1.6%	76	1.2%	-32	▲29.6%
宿泊業、飲食サービス業	768	11.3%	486	7.9%	-282	▲36.7%
生活関連サービス業、娯楽業	309	4.5%	293	4.8%	-16	▲5.2%
教育、学習支援業	270	4.0%	313	5.1%	43	15.9%
医療、福祉	1,101	16.1%	1,274	20.7%	173	15.7%
複合サービス業	17	0.2%	15	0.2%	-2	▲11.8%
サービス業 (他に分類されないもの)	397	5.8%	490	8.0%	93	23.4%

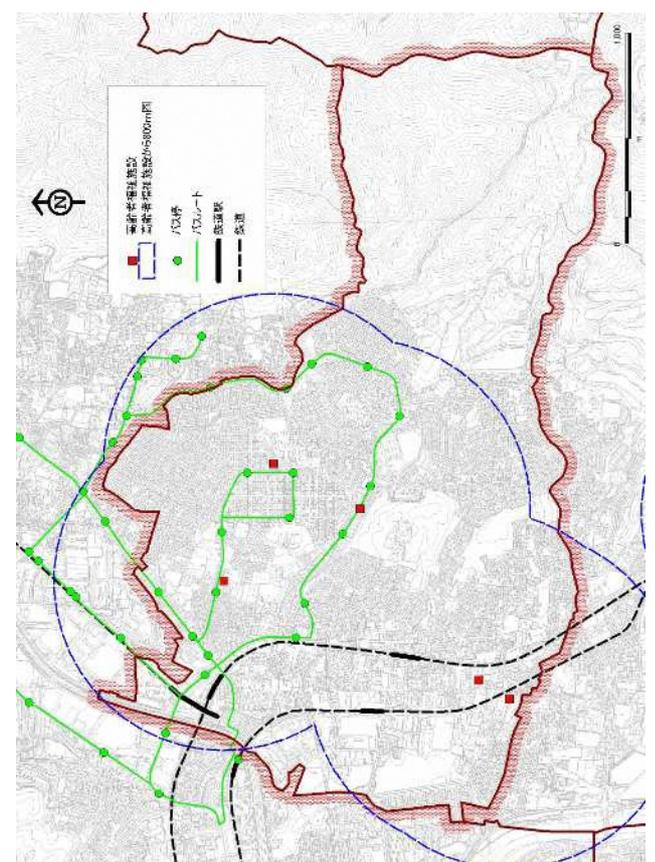
資料：経済センサス

2. 生活サービス施設の分布状況

①医療施設と徒歩圏



②高齢者福祉施設と徒歩圏

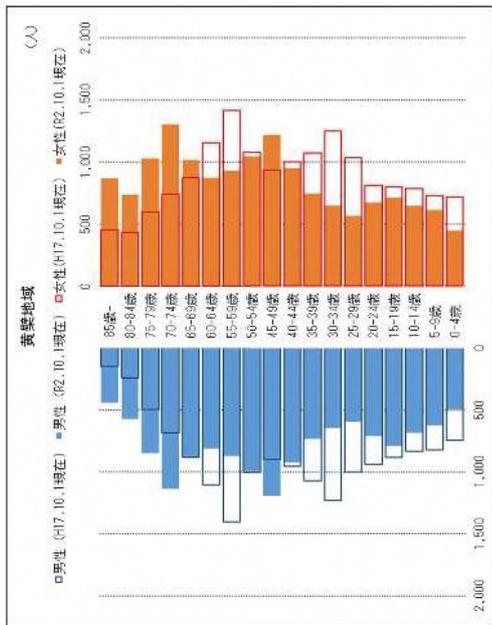


黄檗地域の現状

1. 人口

①人口ピラミッド

地域内の人口は、28,980人(2020/10)です。人口ピラミッドをみると、2005(H17)年から2020(H2)にかけて、少子高齢化が進んでいることがわかります。



②人口減少

黄檗地域の人口は、宇治市の人口ピラミッドの予想では、2020年から2040年までに、約3,000人減少します。(社人研による推計では、約6,400人減少します。)

■地域の人口予測



2020年から2040年までに15歳から64歳の生産人口は約17,000から13,000人となり、約4,000人減少します。(市の人口ピラミッド予想)

■地域の年齢3区分別人口推移



③地域の通勤人口

現在黄檗地域に居住する就業者のうち、宇治市内で就業する人の割合は44.2%となっており、50.1%は市外へと働きに出ています。この割合は、市全体の平均と比較して少し低くなっています。

■地域の人口流動の状況 (2015)

流出人口	宇治市 (人)	黄檗地域 (人)	黄檗地域 (%)
宇治市に居住する就業者	81,764	12,760	100.0
宇治市で従業	32,890	5,640	44.2
他市区町村で従業	43,499	6,392	50.1
府内	34,576	4,948	38.8
府外	8,297	1,349	10.6

資料：国勢調査

- ④地域の事業所数と従業者数の推移（2009～2016）
- ・2009年と比べて、地域内の事業所数や従業者数は減少しています。（事業所数-18.4%、従業者数-7.5%）
 - ・教育・学習支援、医療・福祉などの従業者数は増加していますが、それ以外の業種は微増又は大きく減少しています。

■地域内産業別事業所数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009～2016増減	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	811	100.0%	662	100.0%	-149	▲18.4%
農林漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
非農林漁業 (S公務を除く)	811	100.0%	662	100.0%	-149	▲18.4%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.1%	0	0.0%	-1	▲100.0%
建設業	69	8.5%	50	7.6%	-19	▲27.5%
製造業	50	6.2%	35	5.3%	-15	▲30.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%
情報通信業	4	0.5%	4	0.6%	0	0.0%
運輸業、郵便業	6	0.7%	3	0.5%	-3	▲50.0%
卸売業、小売業	187	23.1%	145	21.9%	-42	▲22.5%
金融業、保険業	3	0.4%	5	0.8%	2	66.7%
不動産業、物品賃貸業	61	7.5%	43	6.5%	-18	▲29.5%
学術研究、専門・技術サービス業	43	5.3%	34	5.1%	-9	▲20.9%
宿泊業、飲食サービス業、娯楽業	100	12.3%	81	12.2%	-19	▲19.0%
生活関連サービス業、娯楽業	94	11.6%	80	12.1%	-14	▲14.9%
教育、学習支援業	47	5.8%	37	5.6%	-10	▲21.3%
医療、福祉	85	10.5%	88	13.3%	3	3.5%
複合サービス業	3	0.4%	3	0.5%	0	0.0%
サービス業 (他に分類されないもの)	57	7.0%	53	8.0%	-4	▲7.0%

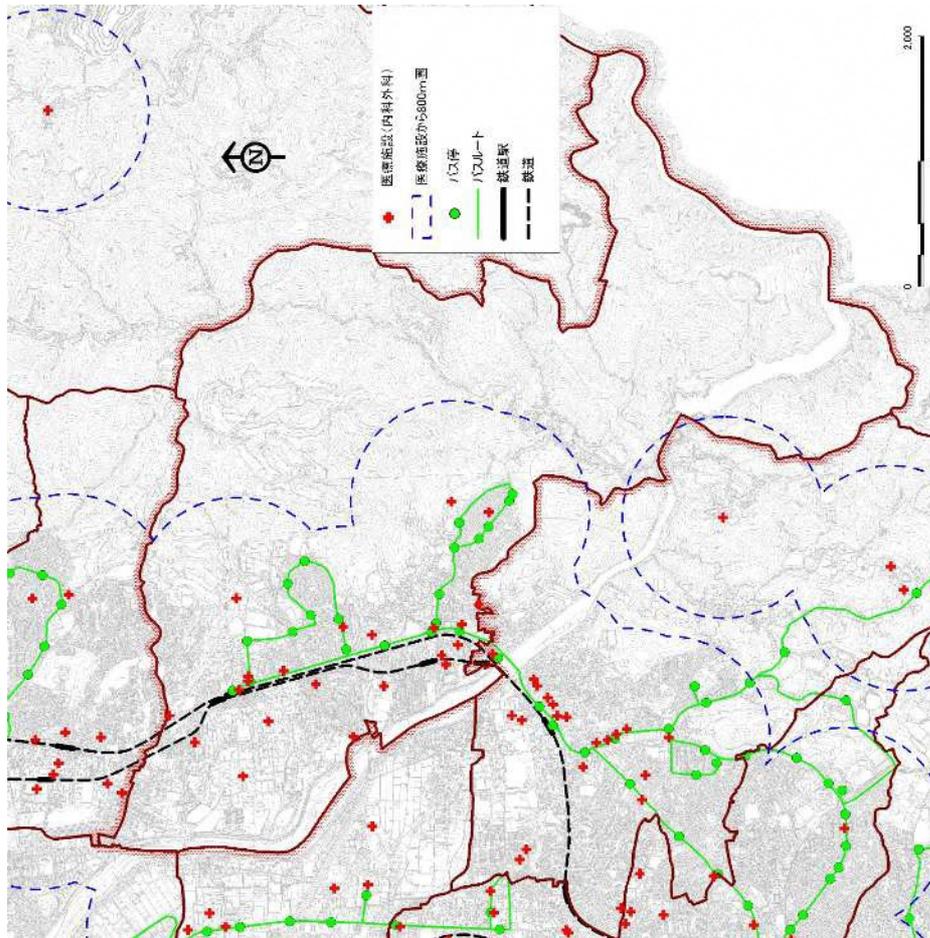
■地域内産業別従業者数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009～2016増減	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	7,522	100.0%	6,957	100.0%	-565	▲7.5%
農林漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
非農林漁業 (S公務を除く)	7,522	100.0%	6,957	100.0%	-565	▲7.5%
鉱業、採石業、砂利採取業	4	0.1%	0	0.0%	-4	▲100.0%
建設業	292	3.9%	254	3.7%	-38	▲13.0%
製造業	607	8.1%	471	6.8%	-136	▲22.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.1%	11	0.2%	5	83.3%
情報通信業	17	0.2%	21	0.3%	4	23.5%
運輸業、郵便業	213	2.8%	66	0.9%	-147	▲69.0%
卸売業、小売業	1,578	21.0%	1,478	21.2%	-100	▲6.3%
金融業、保険業	43	0.6%	48	0.7%	5	11.6%
不動産業、物品賃貸業	180	2.4%	99	1.4%	-81	▲45.0%
学術研究、専門・技術サービス業	1,012	13.5%	865	12.4%	-147	▲14.5%
宿泊業、飲食サービス業	576	7.7%	498	7.2%	-78	▲13.5%
生活関連サービス業、娯楽業	539	7.2%	419	6.0%	-120	▲22.3%
教育、学習支援業	258	3.4%	336	4.8%	78	30.2%
医療、福祉	1,816	24.1%	2,027	29.1%	211	11.6%
複合サービス業	26	0.3%	25	0.4%	-1	▲3.8%
サービス業 (他に分類されないもの)	355	4.7%	339	4.9%	-16	▲4.5%

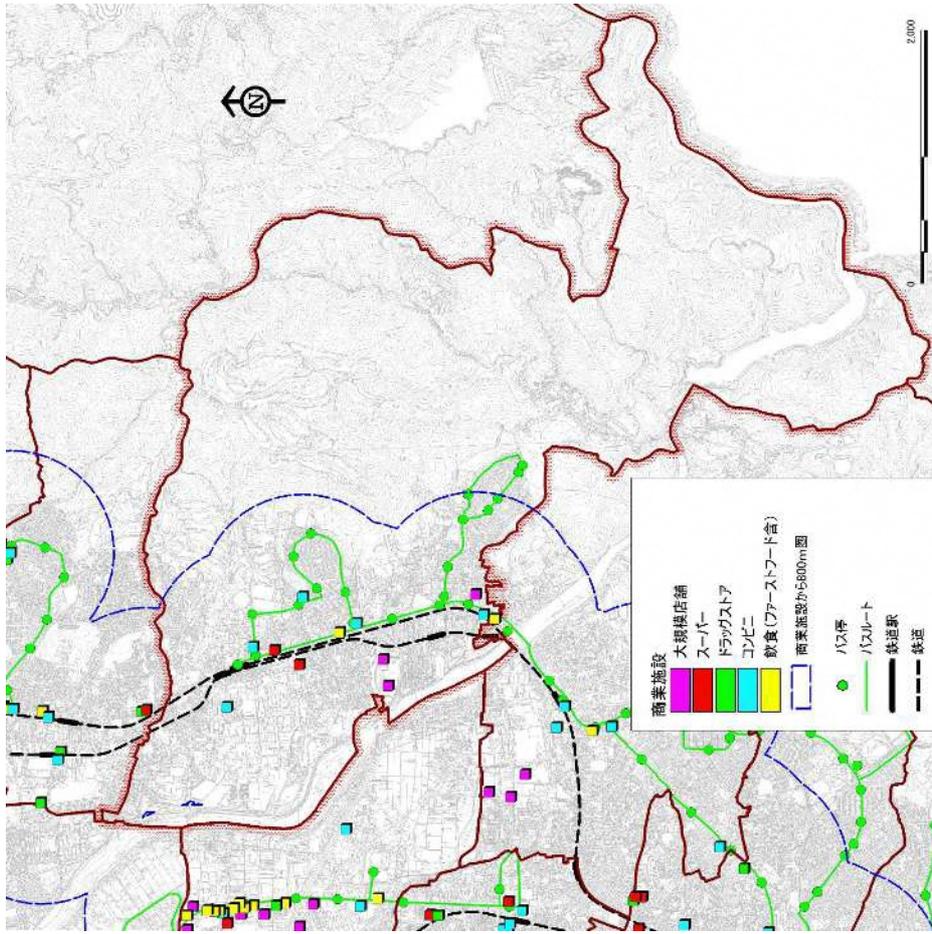
資料：経済センサス

2. 生活サービス施設の分布状況

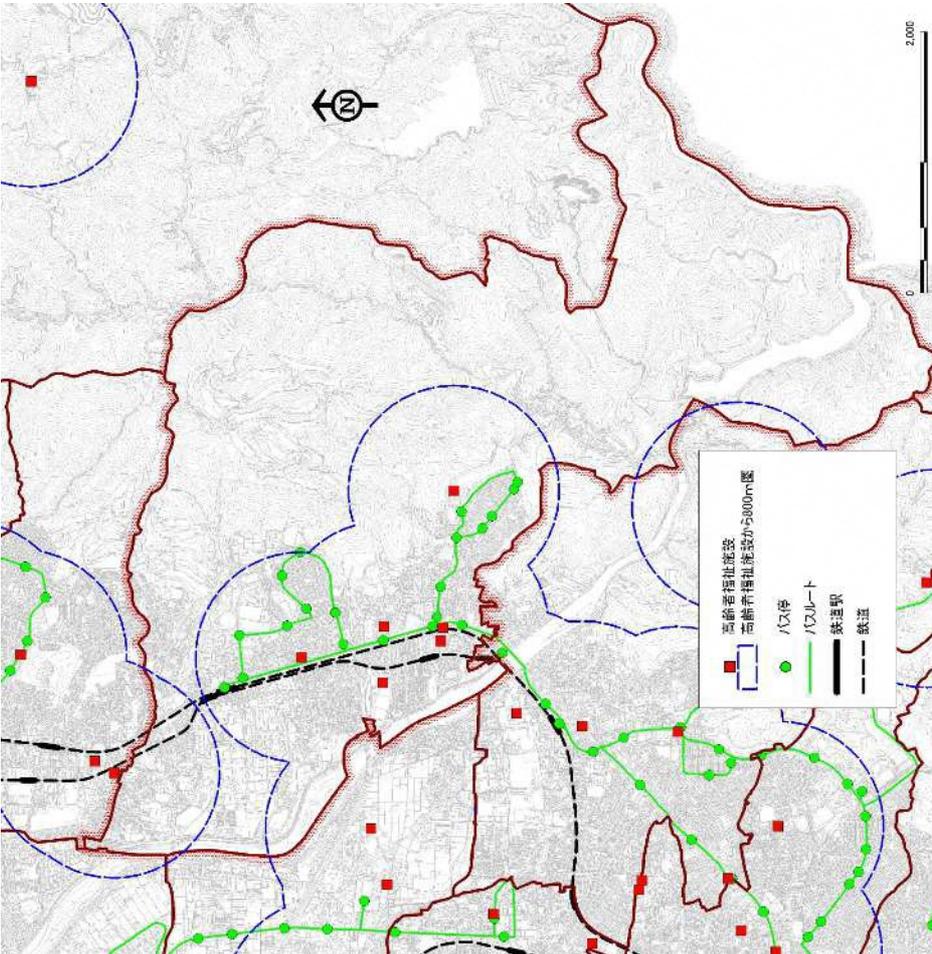
①医療施設の徒歩圏



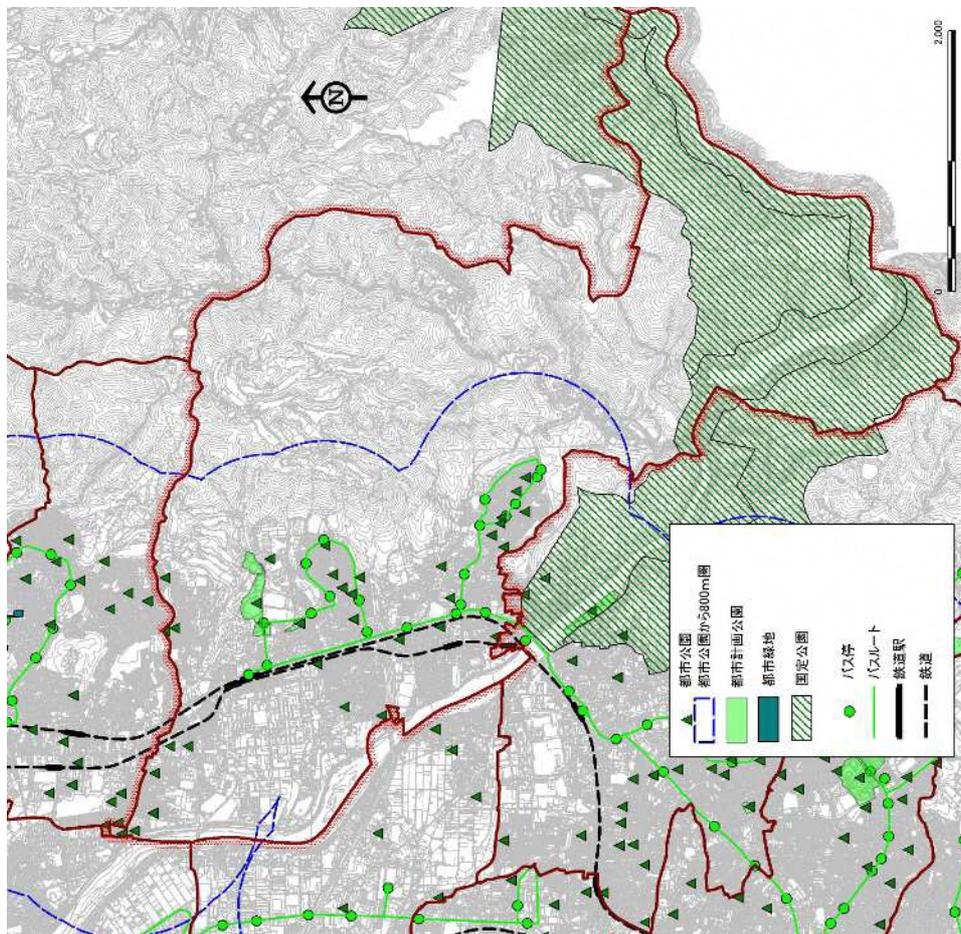
③商業施設の徒歩圏



②高齢者福祉施設の徒歩圏



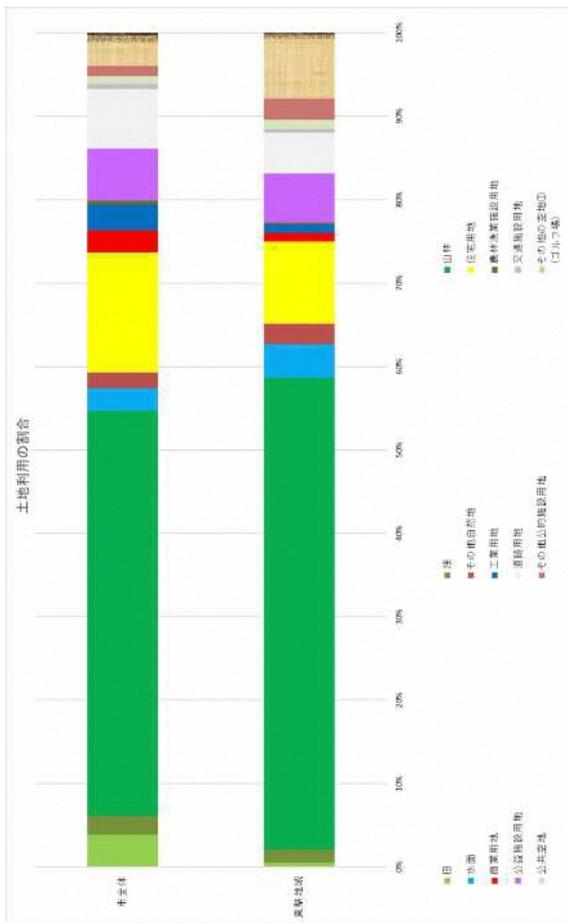
④公園の徒歩圏



3. 土地

①土地利用

黄葉地域は山林の割合が市全体と比較して大きくなっている。資料：都市計画基礎調査 (R2)



②用途地域別面積構成 (市街化区域内) 2019.3

黄葉地域は第一種住居地域の割合が、市全体と比較して大きくなっている。



住居系		商業系			工業系			合計
第一種低層住居専用地域	95ha	第一種低層住居専用地域	0ha	第一種住居地域	5ha	工業地域	53ha	418ha
第二種低層住居専用地域	0ha	第二種低層住居専用地域	213ha	第二種住居地域	15ha	準工業地域	0ha	
第一種中高層住居専用地域	29ha	第一種中高層住居専用地域	0ha	近隣商業地域	5ha	工業系	0ha	
第二種中高層住居専用地域	0ha	第二種中高層住居専用地域	36.8%	商業地域	0ha	工業系	0ha	
第一種住居地域	0ha	第一種住居地域	6.4%	工業系	0ha	工業系	0ha	
第二種住居地域	0ha	第二種住居地域	0.1%	工業系	0ha	工業系	0ha	
商業地域	0ha	商業地域	28.9%	工業系	0ha	工業系	0ha	
工業地域	0ha	工業地域	0.1%	工業系	0ha	工業系	0ha	
近隣商業地域	0ha	近隣商業地域	1.0%	工業系	0ha	工業系	0ha	
準工業地域	0ha	準工業地域	6.9%	工業系	0ha	工業系	0ha	
特別用途地域	0ha	特別用途地域	0.0%	工業系	0ha	工業系	0ha	
工業系	0ha	工業系	36.8%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			0.8%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			1.7%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			2.3%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			14.1%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			6.0%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			0.0%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			0.0%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			3.5%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			2.1%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			1.1%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			12.8%	工業系	0ha	工業系	0ha	
			0.0%	工業系	0ha	工業系	0ha	

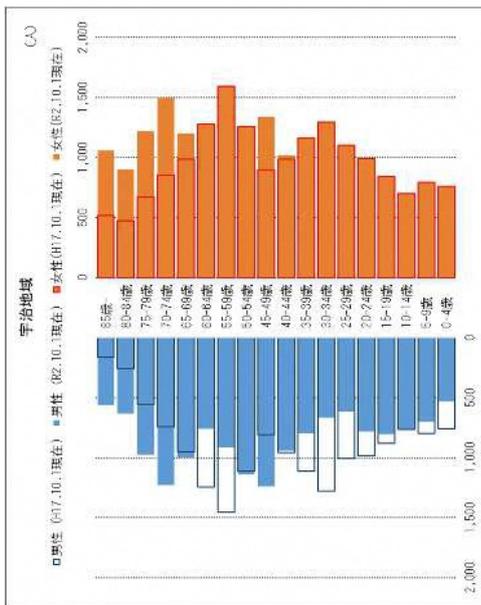
資料：宇治市作成

宇治地域の現状

1. 人口

①人口ピラミッド

地域内の人口は、31,693人(2020/10)です。人口ピラミッドをみると、2005(H17)年から2020(R2)にかけて、少子高齢化が進んでいることがわかります。



②人口減少

宇治地域の人口は、宇治市の人口ピラミッドの予想では、2020年から2040年までに、約3,600人減少します。(社人研による推計では、約7,400人減少します。)

■地域の人口予測



宇治地域	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全体人口ピラミッド	32,636	33,011	32,950	32,495	31,694	30,946	30,049	29,042	28,038
全体人口ピラミッド	32,636	33,011	32,950	32,495	31,694	30,076	28,247	26,269	24,278

2020年から2040年までに15歳から64歳の生産人口は約17,600から14,000人となり、約3,600人減少します。(市の人口ピラミッド予想)

■地域の年齢3区分別人口推移



③地域の通勤人口

現在宇治地域に居住する就業者のうち、宇治市内で就業する人の割合は46.5%となっており、47.9%は宇治市外へと働きに出ています。この割合は、市全体の平均と比較しても低くなっています。

■地域の人口流動の状況 (2015)

流出人口	宇治市 (人)	宇治地域 (%)	宇治地域 (人)	割合 (%)
宇治市に居住する就業者	81,764	100.0	14,027	100.0
宇治市で従業	32,890	40.2	6,521	46.5
他市区町村で従業	43,499	53.2	6,720	47.9
府内	34,576	42.3	5,212	37.2
府外	8,297	10.1	1,407	10.0

資料：国勢調査

④地域の事業所数と従業員数の推移 (2009→2016)

- ・2009年と比べて、地域内の事業所数や従業員数は減少しています。(事業所数-5%、従業員数-5.5%)
- ・情報通信業、複合サービス事業の従業員数は増加していますが、それ以外の業種は減少しています。

■地域内産業別事業所数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	1,045	100.0%	993	100.0%	-52	▲ 5.0%
農林漁業	3	0.3%	2	0.2%	-1	▲ 33.3%
非農林漁業 (S公務を除く)	1,042	99.7%	992	99.9%	-50	▲ 4.8%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設業	100	9.6%	84	8.5%	-16	▲ 16.0%
製造業	72	6.9%	69	6.9%	-3	▲ 4.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.2%	2	0.2%	0	0.0%
情報通信業	13	1.2%	13	1.3%	0	0.0%
運輸業、郵便業	13	1.2%	14	1.4%	1	7.7%
卸売業、小売業	259	24.8%	238	24.0%	-21	▲ 8.1%
金融業、保険業	15	1.4%	16	1.6%	1	6.7%
不動産業、物品賃貸業	64	6.1%	63	6.3%	-1	▲ 1.6%
学術研究、専門・技術サービス業	46	4.4%	42	4.2%	-4	▲ 8.7%
宿泊業、飲食サービス業	153	14.6%	142	14.3%	-11	▲ 7.2%
生活関連サービス業、娯楽業	94	9.0%	94	9.5%	0	0.0%
教育、学習支援業	50	4.8%	44	4.4%	-6	▲ 12.0%
医療、福祉	81	7.8%	88	8.9%	7	8.6%
複合サービス業	5	0.5%	5	0.5%	0	0.0%
サービス業 (他に分類されないもの)	75	7.2%	78	7.9%	3	4.0%

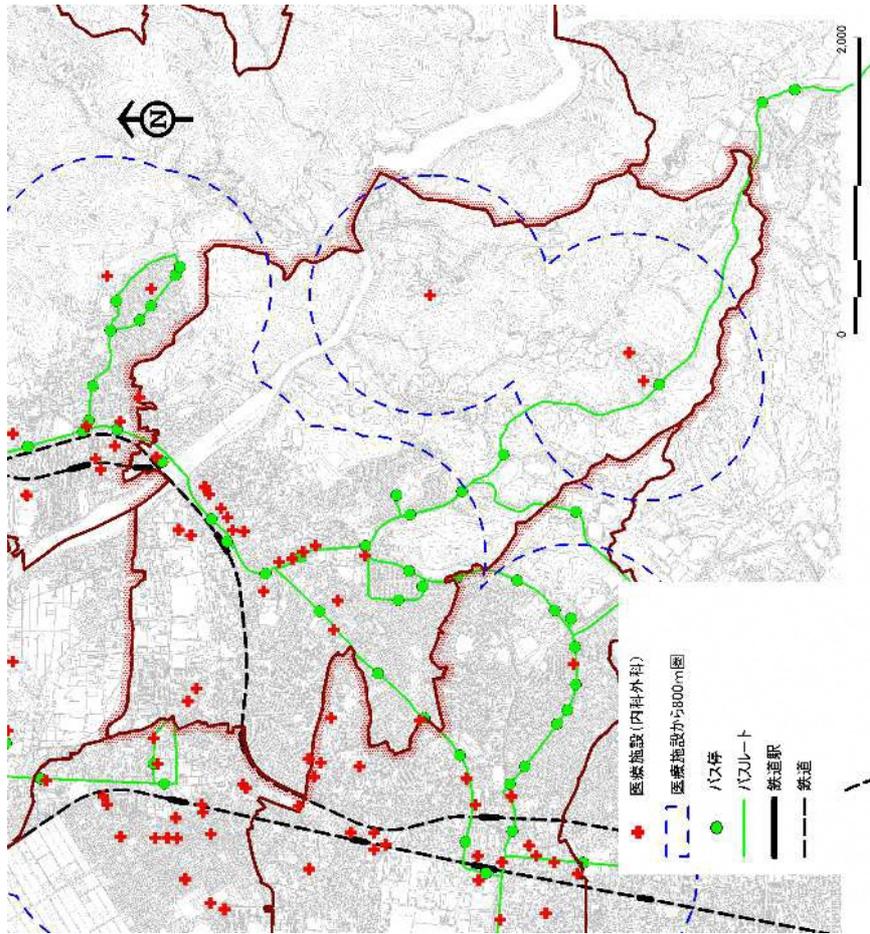
■地域内産業別従業員数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	従業員数	構成比	従業員数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	10,541	100.0%	9,958	100.0%	-583	▲ 5.5%
農林漁業	7	0.1%	5	0.1%	-2	▲ 28.6%
非農林漁業 (S公務を除く)	10,534	99.9%	9,953	99.9%	-581	▲ 5.5%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設業	598	5.7%	450	4.5%	-148	▲ 24.7%
製造業	922	8.7%	1,229	12.3%	307	33.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	33	0.3%	23	0.2%	-10	▲ 30.3%
情報通信業	297	2.8%	307	3.1%	10	3.4%
運輸業、郵便業	630	6.0%	252	2.5%	-378	▲ 60.0%
卸売業、小売業	2,303	21.8%	2,216	22.3%	-87	▲ 3.8%
金融業、保険業	155	1.5%	134	1.3%	-21	▲ 13.5%
不動産業、物品賃貸業	277	2.6%	132	1.3%	-145	▲ 52.3%
学術研究、専門・技術サービス業	461	4.4%	215	2.2%	-246	▲ 53.4%
宿泊業、飲食サービス業	941	8.9%	1,057	10.6%	116	12.3%
生活関連サービス業、娯楽業	437	4.1%	372	3.7%	-65	▲ 14.9%
教育、学習支援業	345	3.3%	275	2.8%	-70	▲ 20.3%
医療、福祉	2,049	19.4%	1,980	19.9%	-69	▲ 3.4%
複合サービス業	71	0.7%	306	3.1%	235	331.0%
サービス業 (他に分類されないもの)	1,015	9.6%	1,005	10.1%	-10	▲ 1.0%

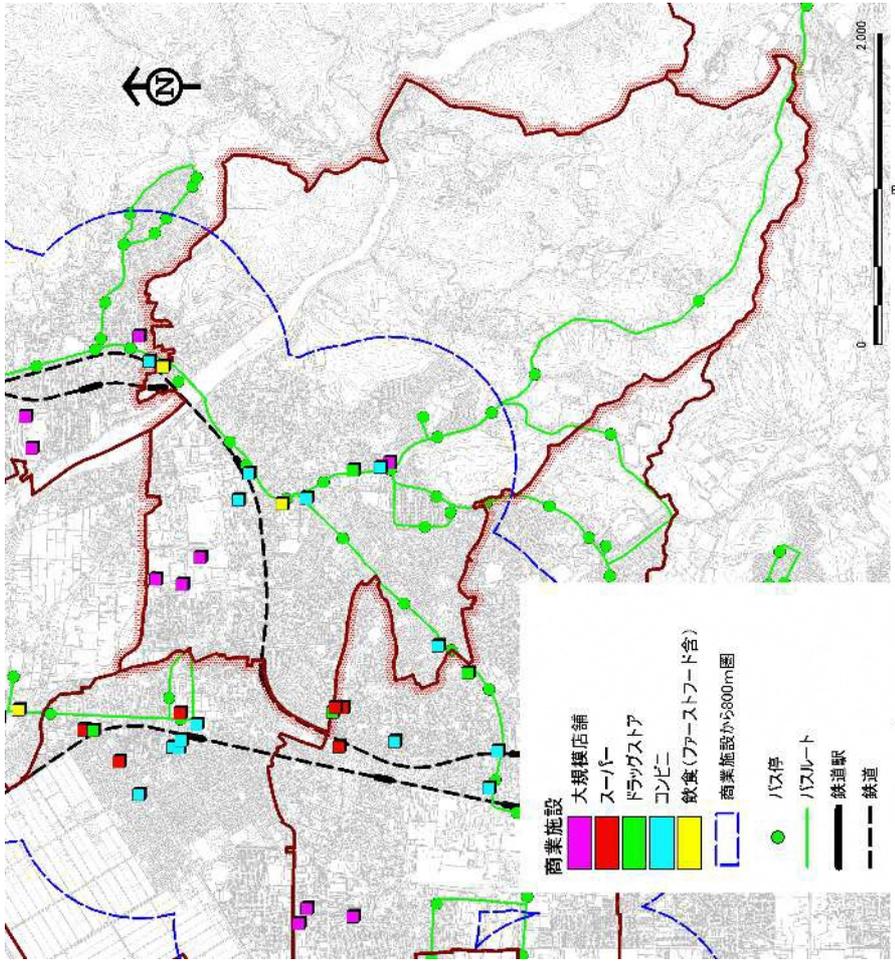
資料：経済センサス

2. 生活サービス施設の分布状況

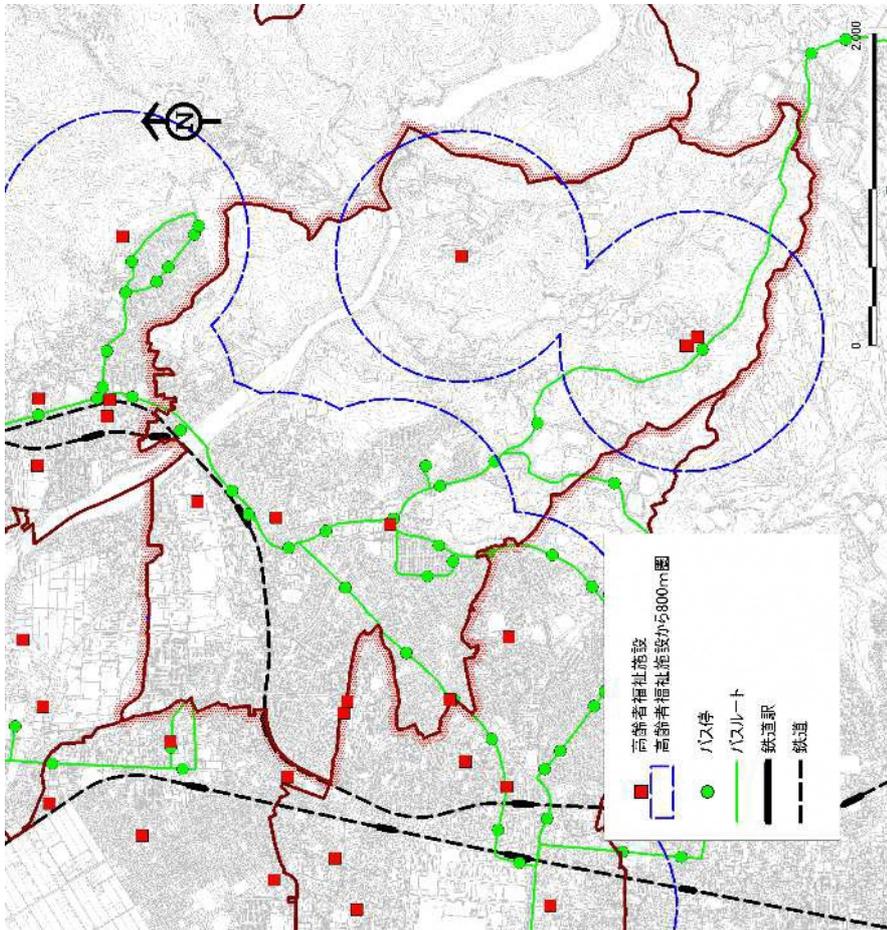
①医療施設と徒歩圏



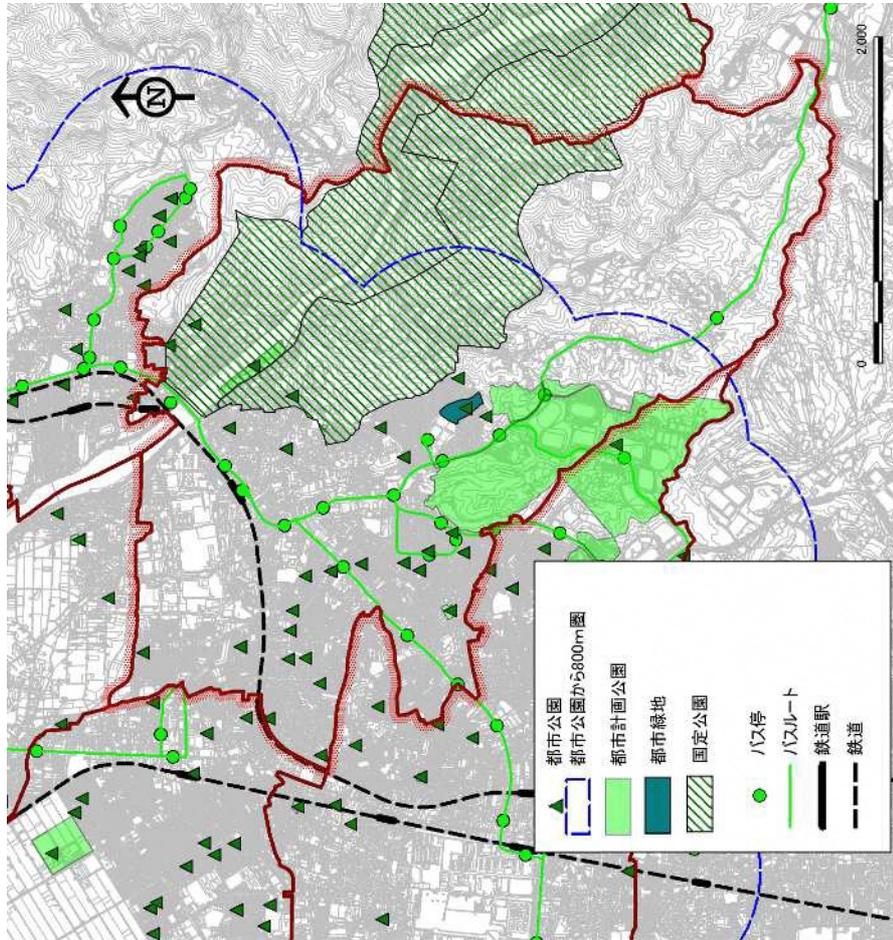
③商業施設と徒歩圏



②高齢者福祉施設と徒歩圏



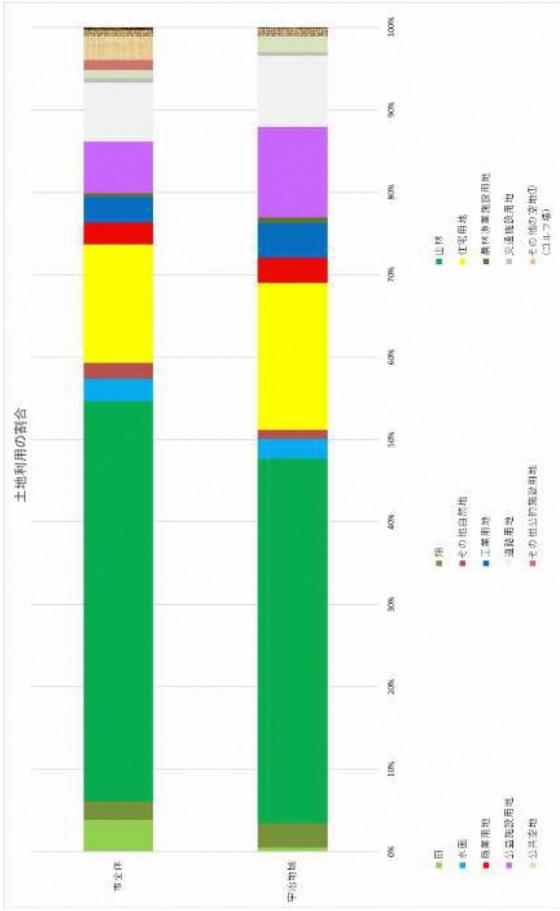
④公園と徒歩圏



3. 土地

①土地利用

宇治地域は住宅の割合が市全体と比べて大きくなっている。資料：都市計画基礎調査 (R2)



②用途地域別面積構成 (市街化区域内) 2019.3

宇治地区は第一種低層住居専用地域の割合が、市全体と比べて大きくなっている。



住居系		商業系			工業系		合計			
第一種 低層住居 専用地域	第二種 低層住居 専用地域	第一種 中高層住居 専用地域	第二種 中高層住居 専用地域	近隣商業 地域	商業地域	第一種工業 地域		第二種工業 地域		
144ha	0ha	9ha	0ha	122ha	15ha	1ha	12ha	36ha	42ha	393ha

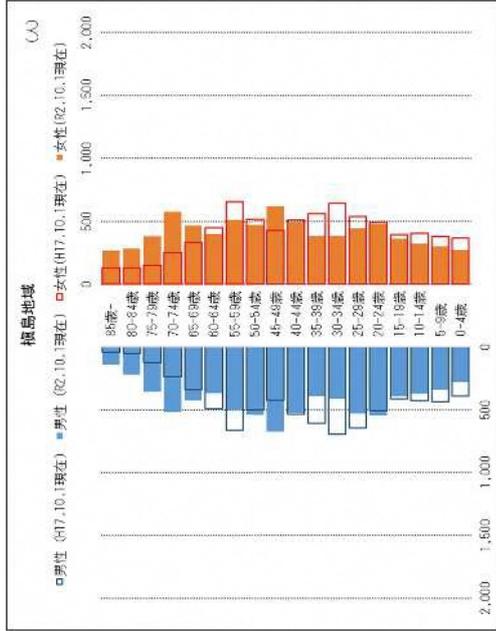
資料：宇治市作成

横島地域の現状

1. 人口

①人口ピラミッド

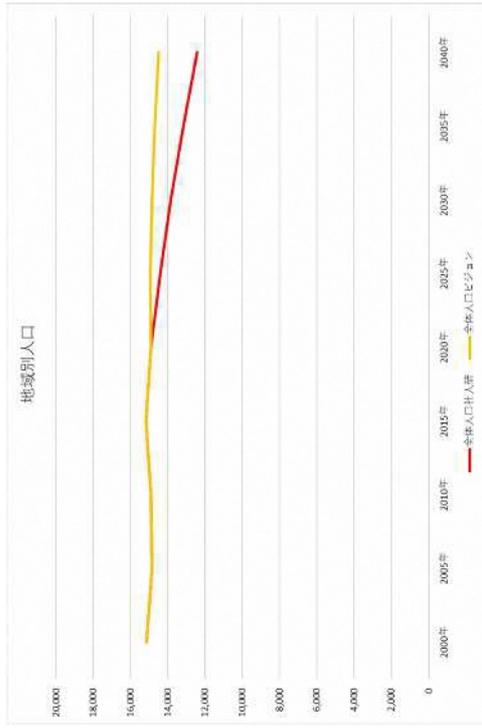
地域内の人口は、14,915人(2020/10)です。人口ピラミッドをみると、2005(H17)年から2020年(R2)にかけて、少子高齢化が進んでいることがわかります。



②人口減少

横島地域の人口は、宇治市の人口ピラミッドの予想では、2020年から2040年までに、約400人減少します。(社人研による推計では、約2,500人減少します。)

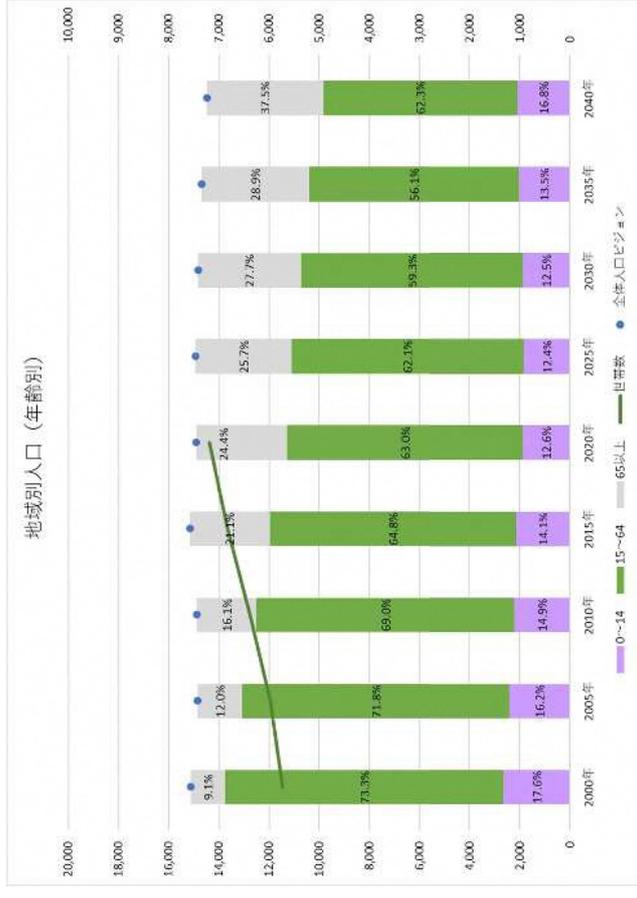
■地域の人口予測



横島地域	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全体人口ピラミッド	15,128	14,843	14,890	15,166	14,915	14,928	14,842	14,690	14,484
全体人口社人研	15,128	14,843	14,890	15,166	14,915	14,415	13,830	13,163	12,422

2020年から2040年までに15歳から64歳の生産人口は約9,400から7,700人となり、約1,600人減少します。(市の人口ピラミッド予想)

■地域の年齢3区分別人口推移



③地域の通勤人口

現在横島地域に居住する就業者のうち、宇治市内で就業する人の割合は43.3%となっており、46.9%は宇治市外へと働きに出ています。この割合は、市全体の平均と比較して少し低くなっています。

■地域の人口流動の状況 (2015)

流出人口	宇治市 (人)	横島地域 (人)	(%)
宇治市に居住する就業者	81,764	6,676	100.0
宇治市で従業	32,890	2,891	40.2
他市区町村で従業	43,499	3,131	53.2
府内	34,576	2,599	42.3
府外	8,297	489	10.1

資料：国勢調査

④地域の事業所数と従業者数の推移 (2009→2016)

- ・2009年と比べて、地域内の事業所数は減少し、従業者数は増加しています。(事業所数-9.8%、従業者数+1.5%)
- ・医療・福祉の従業者数が大きく増加し、金融・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・専門技術サービス業、教育・学習支援業も増加していますが、それ以外の業種は減少しています。

■地域内産業別事業所数の推移

業 種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	973	100.0%	878	100.0%	-95	▲ 9.8%
農林漁業	2	0.2%	2	0.2%	0	0.0%
非農林漁業 (S公務を除く)	971	99.8%	876	99.8%	-95	▲ 9.8%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.1%	0	0.0%	-1	▲ 100.0%
建設業	108	11.1%	95	10.8%	-13	▲ 12.0%
製造業	380	39.1%	319	36.3%	-61	▲ 16.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
情報通信業	4	0.4%	2	0.2%	-2	▲ 50.0%
運輸業、郵便業	28	2.9%	32	3.6%	4	▲ 14.3%
卸売業、小売業	174	17.9%	171	19.5%	-3	▲ 1.7%
金融業、保険業	2	0.2%	1	0.1%	-1	▲ 50.0%
不動産業、物品賃貸業	45	4.6%	38	4.3%	-7	▲ 15.6%
学術研究、専門・技術サービス業	12	1.2%	12	1.4%	0	0.0%
宿泊業、飲食サービス業、娯楽業	63	6.5%	56	6.4%	-7	▲ 11.1%
生活関連サービス業、娯楽業	44	4.5%	43	4.9%	-1	▲ 2.3%
教育、学習支援業	17	1.7%	14	1.6%	-3	▲ 17.6%
医療、福祉	20	2.1%	32	3.6%	12	▲ 60.0%
複合サービス業	2	0.2%	2	0.2%	0	0.0%
サービス業 (他に分類されないもの)	71	7.3%	59	6.7%	-12	▲ 16.9%

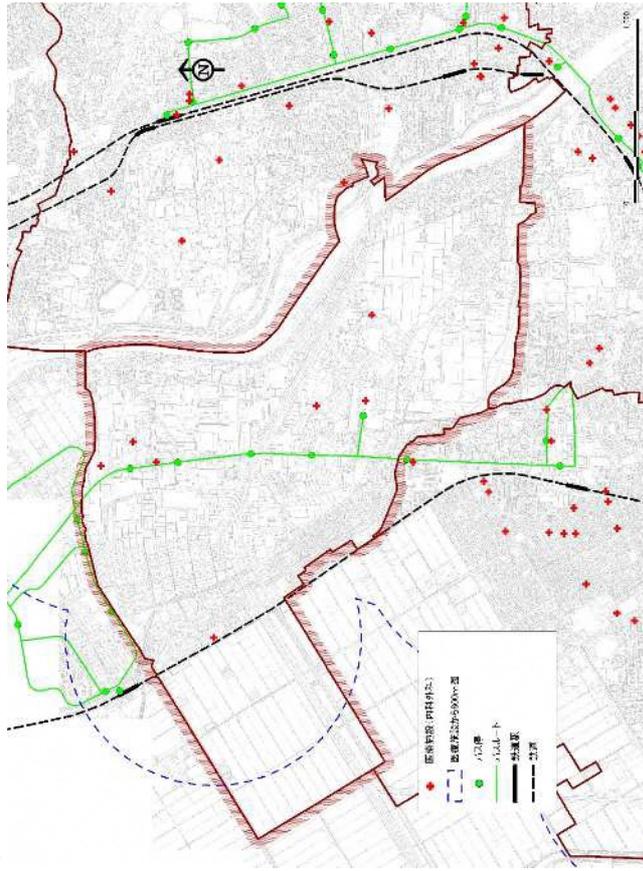
■地域内産業別従業者数の推移

業 種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	13,080	100.0%	13,280	100.0%	200	▲ 1.5%
農林漁業	30	0.2%	17	0.1%	-13	▲ 43.3%
非農林漁業 (S公務を除く)	13,050	99.8%	13,263	99.9%	213	▲ 1.6%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.0%	0	0.0%	-1	▲ 100.0%
建設業	788	6.0%	762	5.7%	-26	▲ 3.3%
製造業	6,647	50.8%	5,692	42.9%	-955	▲ 14.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
情報通信業	21	0.2%	6	0.0%	-15	▲ 71.4%
運輸業、郵便業	1,141	8.7%	814	6.1%	-327	▲ 28.7%
卸売業、小売業	1,811	13.8%	1,782	13.4%	-29	▲ 1.6%
金融業、保険業	5	0.0%	6	0.0%	1	▲ 20.0%
不動産業、物品賃貸業	122	0.9%	280	2.1%	158	▲ 129.5%
学術研究、専門・技術サービス業	72	0.6%	94	0.7%	22	▲ 30.6%
宿泊業、飲食サービス業、娯楽業	576	4.4%	486	3.7%	-90	▲ 15.6%
生活関連サービス業、娯楽業	531	4.1%	609	4.6%	78	▲ 14.7%
教育、学習支援業	233	1.8%	1,617	12.2%	1,384	▲ 594.0%
医療、福祉	19	0.1%	19	0.1%	0	0.0%
複合サービス業	344	2.6%	268	2.0%	-76	▲ 22.1%
サービス業 (他に分類されないもの)						

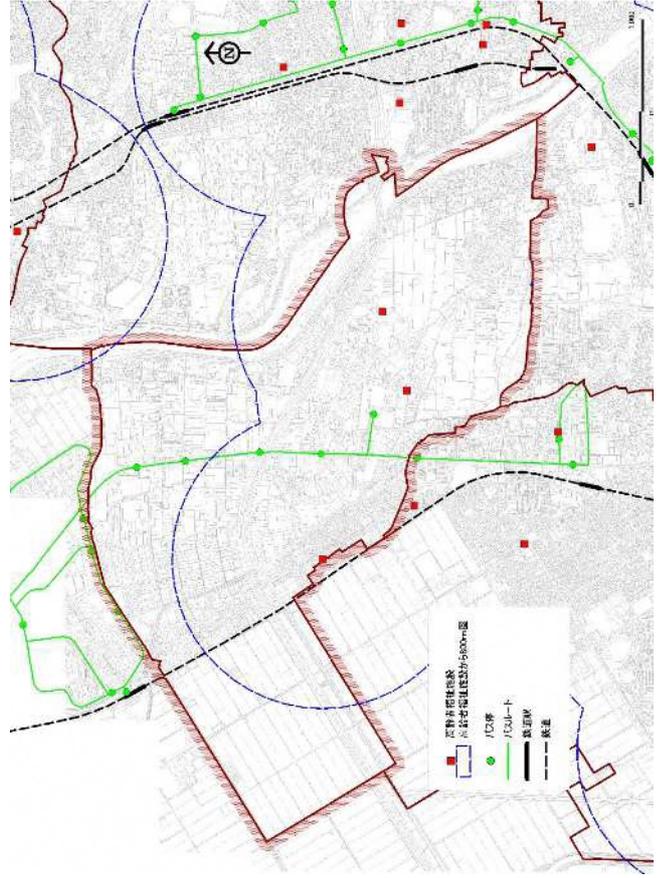
資料：経済センサス

2. 生活サービス施設の分布状況

①医療施設と徒歩圏



②高齢者福祉施設と徒歩圏

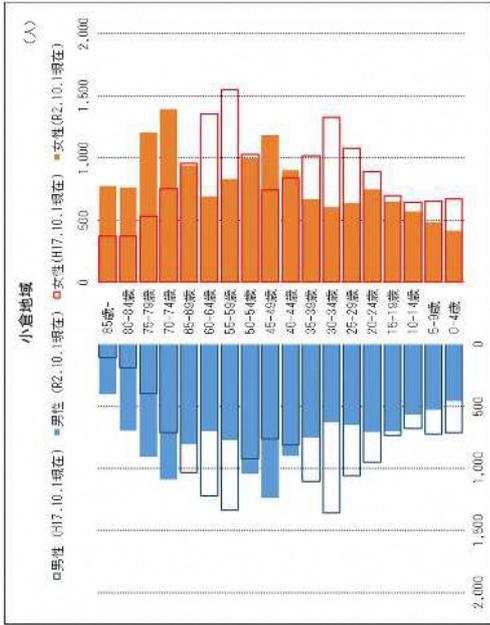


小倉地域の現状

1. 人口

①人口ピラミッド

地域内の人口は、27,986人(2020/10)です。人口ピラミッドをみると、2005(H17)年から2020(R2)にかけて、少子高齢化が進んでいることがわかります。



②人口減少

小倉地域の人口は、宇治市の人口ピラミッドの予想では、2020年から2040年までに、約3,100人減少します。(社人研による推計では、約6,500人減少します。)

■地域の人口予測



2020年から2040年までに15歳から64歳の生産人口は約16,000から12,500人となり、約3,500人減少します。(市の人口ピラミッド予想)

■地域の年齢3区分別人口推移



③地域の通勤人口

現在小倉地域に居住する就業者のうち、宇治市内で就業する人の割合は40.3%となっており、51.5%は宇治市外へと働きに出ています。この割合は、市全体の平均と比較して少し低くなっています。

■地域の人口流動の状況 (2015)

流出人口	宇治市 (人)	小倉地域 (%)	小倉地域 (人)	(%)
宇治市内に居住する就業者	81,764	100.0	10,673	100.0
宇治市で従業	32,890	40.2	4,305	40.3
他市区町村で従業	43,499	53.2	5,494	51.5
府内	34,576	42.3	4,448	41.7
府外	8,297	10.1	925	8.7

資料：国勢調査

④地域の事業所数と従業者数の推移 (2009→2016)

- ・2009年と比べて、地域内の事業所数や従業者数は減少しています。(事業所数-16%、従業者数-18%)
- ・電気・ガス・熱供給・水道業の従業者数は増加しているが、それ以外の業種は減少しています。

■地域内産業別事業所数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009→2016増減	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	1,184	100.0%	992	100.0%	-192	▲16.2%
農林漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
非農林漁業 (S公務を除く)	1,184	100.0%	992	100.0%	-192	▲16.2%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設業	102	8.6%	87	8.8%	-15	▲14.7%
製造業	59	5.0%	57	5.7%	-2	▲3.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	1	0.1%	1	-
情報通信業	11	0.9%	1	0.1%	-10	▲90.9%
運輸業、郵便業	13	1.1%	7	0.7%	-6	▲46.2%
卸売業、小売業	307	25.9%	240	24.2%	-67	▲21.8%
金融業、保険業	13	1.1%	13	1.3%	0	0.0%
不動産業、物品賃貸業	81	6.8%	61	6.1%	-20	▲24.7%
学術研究、専門・技術サービス業	30	2.5%	28	2.8%	-2	▲6.7%
宿泊業、飲食サービス業	229	19.3%	186	18.8%	-43	▲18.8%
生活関連サービス業、娯楽業	143	12.1%	129	13.0%	-14	▲9.8%
教育、学習支援業	71	6.0%	60	6.0%	-11	▲15.5%
医療、福祉	82	6.9%	88	8.9%	6	▲7.3%
複合サービス事業	6	0.5%	5	0.5%	-1	▲16.7%
サービス業 (他に分類されないもの)	37	3.1%	29	2.9%	-8	▲21.6%

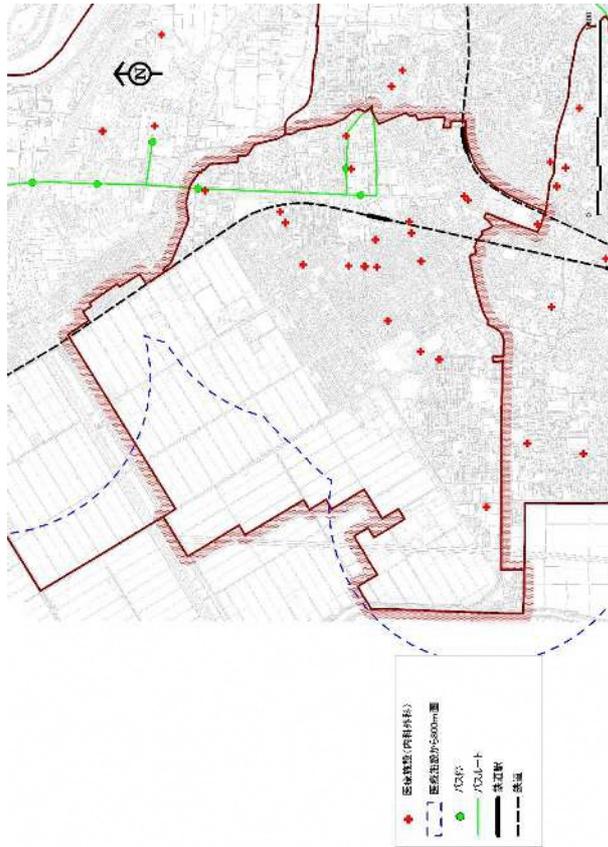
■地域内産業別従業者数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009→2016増減	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	8,536	100.0%	6,963	100.0%	-1,573	▲18.4%
農林漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
非農林漁業 (S公務を除く)	8,536	100.0%	6,963	100.0%	-1,573	▲18.4%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設業	420	4.9%	363	5.2%	-57	▲13.6%
製造業	889	10.4%	740	10.6%	-149	▲16.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	14	0.2%	14	-
情報通信業	29	0.3%	3	0.0%	-26	▲89.7%
運輸業、郵便業	132	1.5%	78	1.1%	-54	▲40.9%
卸売業、小売業	2,039	23.9%	1,865	26.8%	-174	▲8.5%
金融業、保険業	163	1.9%	151	2.2%	-12	▲7.4%
不動産業、物品賃貸業	314	3.7%	207	3.0%	-107	▲34.1%
学術研究、専門・技術サービス業	110	1.3%	104	1.5%	-6	▲5.5%
宿泊業、飲食サービス業	1,232	14.4%	1,064	15.3%	-168	▲13.6%
生活関連サービス業、娯楽業	527	6.2%	382	5.5%	-145	▲27.5%
教育、学習支援業	466	5.5%	435	6.2%	-31	▲6.7%
医療、福祉	1,742	20.4%	1,174	16.9%	-568	▲32.6%
複合サービス事業	37	0.4%	32	0.5%	-5	▲13.5%
サービス業 (他に分類されないもの)	436	5.1%	351	5.0%	-85	▲19.5%

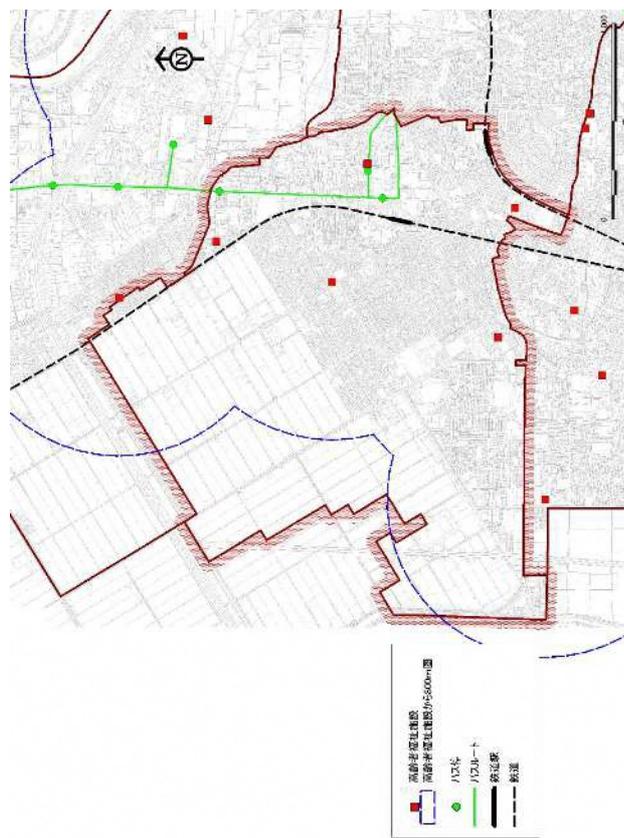
資料：経済センサス

2. 生活サービス施設の分布状況

①医療施設と徒歩圏



②高齢者福祉施設と徒歩圏

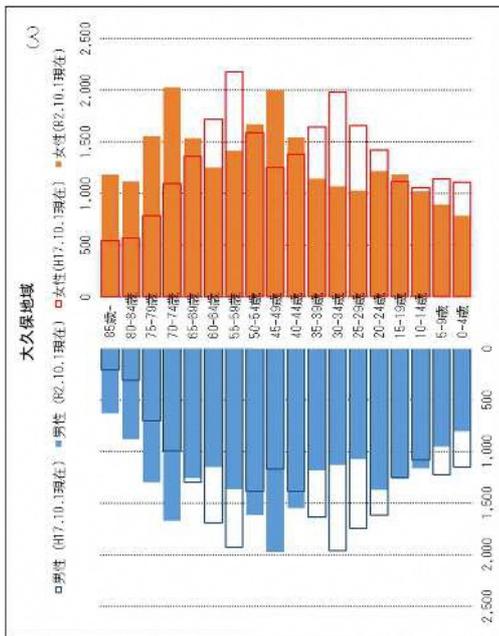


大久保地域の現状

1. 人口

①人口ピラミッド

地域内の人口は、45,975人(2020/10)です。人口ピラミッドをみると、2005 (H17) 年から2020 (R2) にかけて、少子高齢化が進んでいることがわかります。



②人口減少

大久保地域の人口は、宇治市の人口ピラミッドの予想では、2020年から2040年までに、約3,500人減少します。(社人研による推計では、約9,400人減少します。)

■地域の人口予測



大久保地域	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全体人口ピラミッド	45,975	46,334	46,473	46,655	45,975	45,399	44,532	43,508	42,441
全体人口社人研	45,975	46,334	46,473	46,655	45,975	44,006	41,688	39,167	36,575

2020年から2040年までに15歳から64歳の生産人口は約27,200人から21,900人となり、約5,300人減少します。(市の人口ピラミッド予想)

■地域の年齢3区分別人口推移



③地域の通勤人口

現在大久保地域に居住する就業者のうち、宇治市内で就業する人の割合は38.3%となっており、54.8%は宇治市外へと働きに出ています。この割合は、市全体の平均と比較して少し高くなっています。

■地域の人口流動の状況 (2015)

流出人口	宇治市 (人)	大久保地域 (%)	大久保地域 (人)	(%)
宇治市に居住する就業者	81,764	100.0	21,789	100.0
宇治市で従業	32,890	40.2	8,346	38.3
他市区町村で従業	43,499	53.2	11,933	54.8
府内	34,576	42.3	9,642	44.3
府外	8,297	10.1	2,119	9.7

資料：国勢調査

- ④地域の事業所数と従業員数の推移 (2009→2016)
- ・2009年と比べて、地域内の事業所数や従業員数は減少しています。(事業所数-14.9%、従業員数-5.3%)
 - ・農林漁業、鉱業・採石業・砂利採取業、金融業・保険業、教育・学習支援業、医療・福祉などの従業員数は増加していますが、それ以外の業種は減少しています。

■地域内産業別事業所数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	1,319	100.0%	1,122	100.0%	-197	▲ 14.9%
農林漁業	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
非農林漁業 (S公務を除く)	1,318	99.9%	1,121	99.9%	-197	▲ 14.9%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	1	0.1%	1	-
建設業	114	8.6%	88	7.8%	-26	▲ 22.8%
製造業	86	6.5%	73	6.5%	-13	▲ 15.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
情報通信業	13	1.0%	9	0.8%	-4	▲ 30.8%
運輸業、郵便業	14	1.1%	12	1.1%	-2	▲ 14.3%
卸売業、小売業	337	25.5%	260	23.2%	-77	▲ 22.8%
金融業、保険業	29	2.2%	24	2.1%	-5	▲ 17.2%
不動産業、物品賃貸業	113	8.6%	94	8.4%	-19	▲ 16.8%
学術研究、専門・技術サービス業	50	3.8%	55	4.9%	5	10.0%
宿泊業、飲食サービス業	179	13.6%	131	11.7%	-48	▲ 26.8%
生活関連サービス業、娯楽業	152	11.5%	132	11.8%	-20	▲ 13.2%
教育、学習支援業	71	5.4%	62	5.5%	-9	▲ 12.7%
医療、福祉	106	8.0%	127	11.3%	21	19.8%
複合サービス業	4	0.3%	3	0.3%	-1	▲ 25.0%
サービス業 (他に分類されないもの)	50	3.8%	50	4.5%	0	0.0%

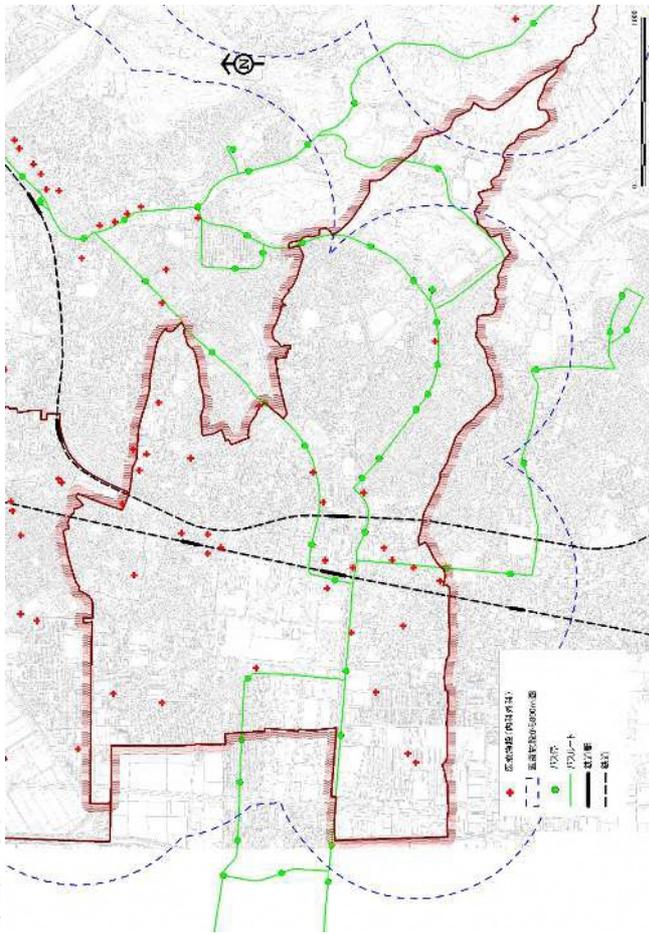
■地域内産業別従業員数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009~2016増減	
	従業員数	構成比	従業員数	構成比	実数	増減率
全産業 (S公務を除く)	11,742	100.0%	11,117	100.0%	-625	▲ 5.3%
農林漁業	168	1.4%	227	2.0%	59	35.1%
非農林漁業 (S公務を除く)	11,574	98.6%	10,890	98.0%	-684	▲ 5.9%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	9	0.1%	9	-
建設業	552	4.7%	425	3.8%	-127	▲ 23.0%
製造業	2,200	18.7%	2,023	18.2%	-177	▲ 8.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
情報通信業	59	0.5%	19	0.2%	-40	▲ 67.8%
運輸業、郵便業	388	3.3%	337	3.0%	-51	▲ 13.1%
卸売業、小売業	2,730	23.2%	2,199	19.8%	-531	▲ 19.5%
金融業、保険業	405	3.4%	422	3.8%	17	4.2%
不動産業、物品賃貸業	431	3.7%	286	2.6%	-145	▲ 33.6%
学術研究、専門・技術サービス業	202	1.7%	186	1.7%	-16	▲ 7.9%
宿泊業、飲食サービス業	1,044	8.9%	986	8.9%	-58	▲ 5.6%
生活関連サービス業、娯楽業	803	6.8%	791	7.1%	-12	▲ 1.5%
教育、学習支援業	487	4.1%	668	6.0%	181	37.2%
医療、福祉	1,882	16.0%	1,888	17.0%	6	0.3%
複合サービス業	21	0.2%	19	0.2%	-2	▲ 9.5%
サービス業 (他に分類されないもの)	370	3.2%	632	5.7%	262	70.8%

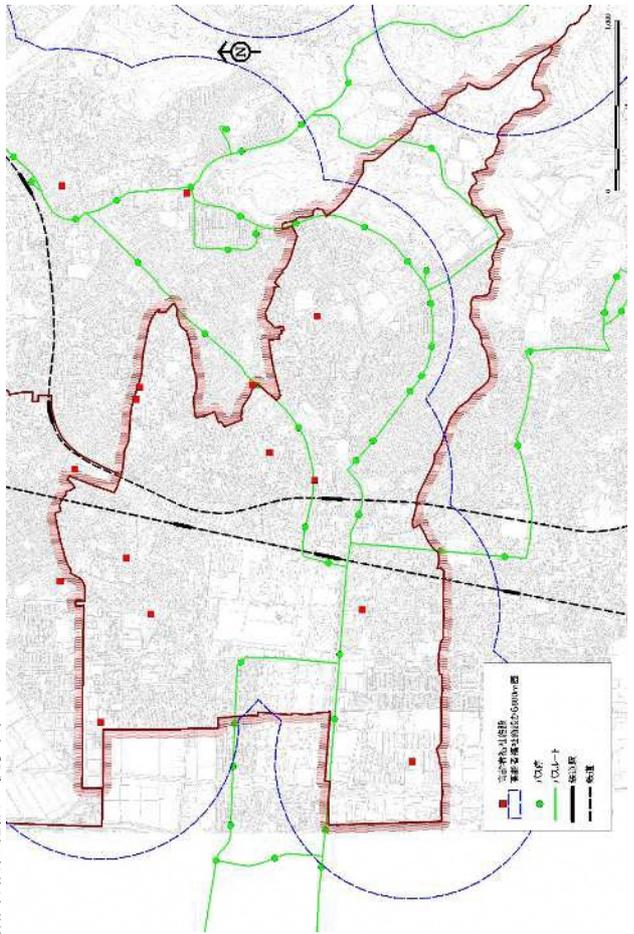
資料：経済センサス

2. 生活サービス施設の分布状況

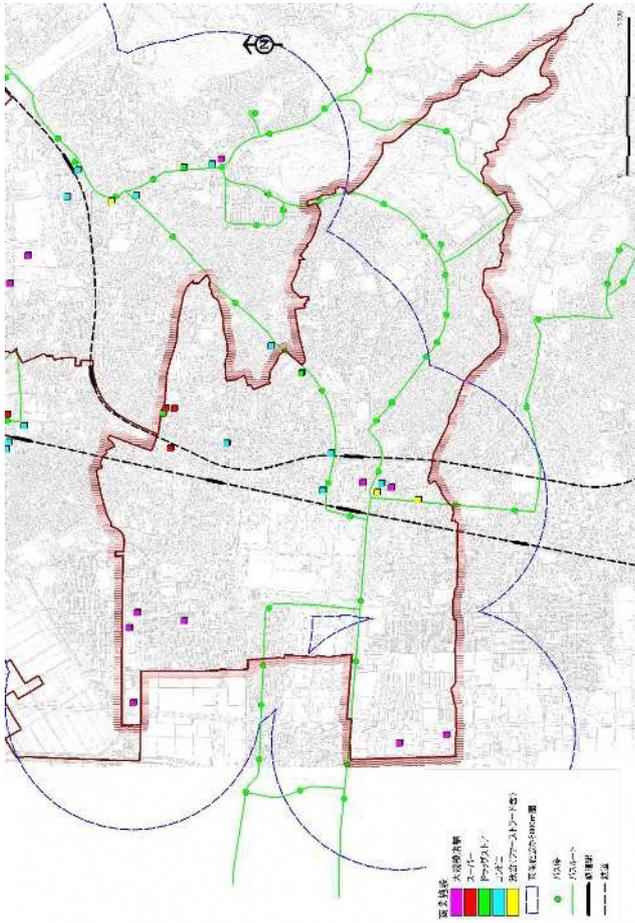
①医療施設と徒歩圏



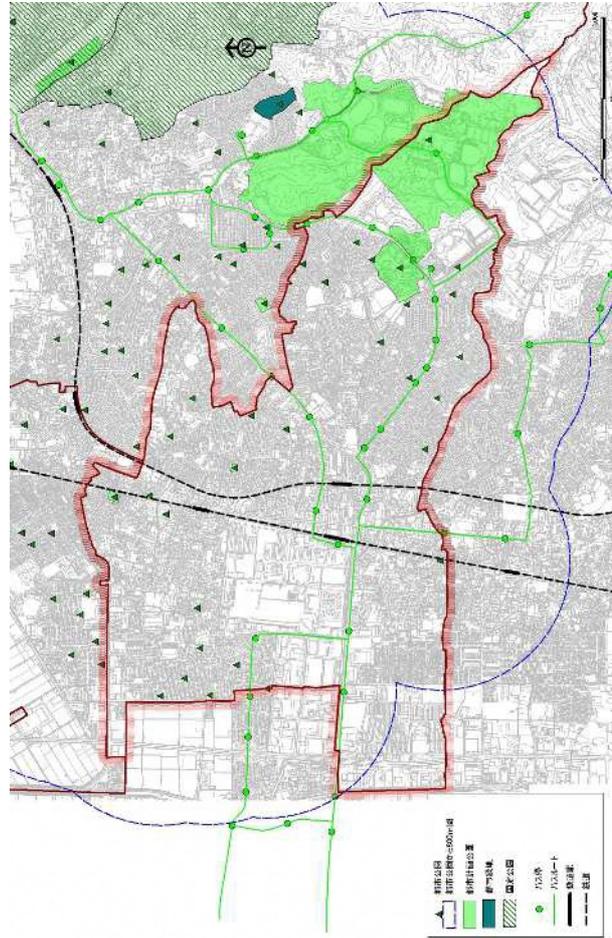
②高齢者福祉施設と徒歩圏



③商業施設と徒歩圏



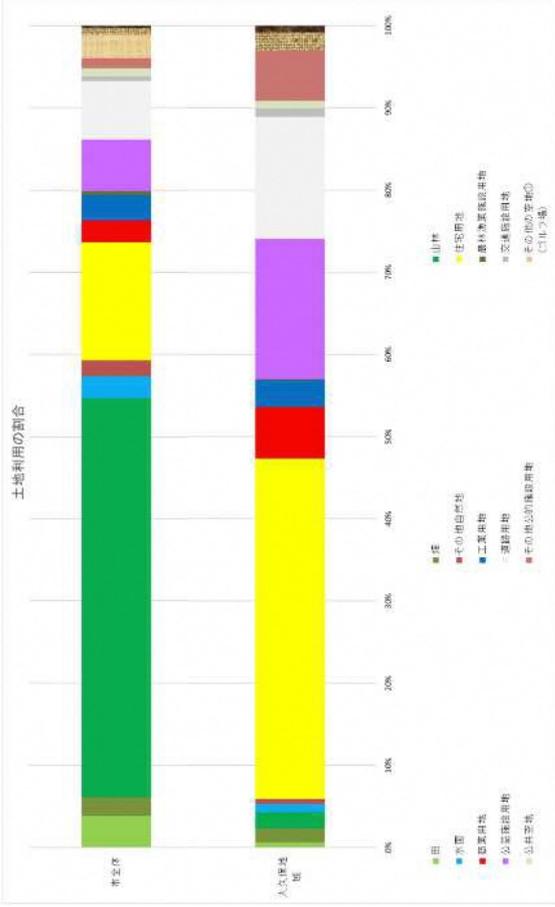
④公園と徒歩圏



3. 土地

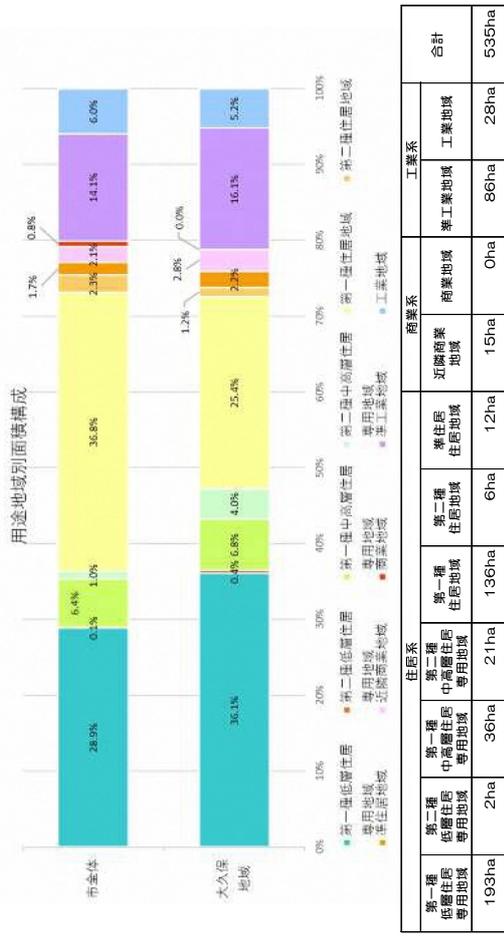
①土地利用

大久保地域は住宅地の割合が市全体と比較して大きくなっている。資料：都市計画基礎調査(R2)



②用途地域別面積構成 (市街化区域内) 2019.3

大久保地域は第一種低層住宅専用地域の割合が、市全体と比較して大きくなっている。



用途地域	住居系				商業系			工業系		合計		
	第一種低層住宅専用地区	第二種低層住宅専用地区	第一種中高層住宅専用地区	第二種中高層住宅専用地区	第一種住宅地	第二種住宅地	近隣商業地区	商業地区	工業地区			
第一種低層住宅専用地区	193ha	2ha	39ha	21ha	136ha	6ha	12ha	15ha	0ha	86ha	28ha	535ha

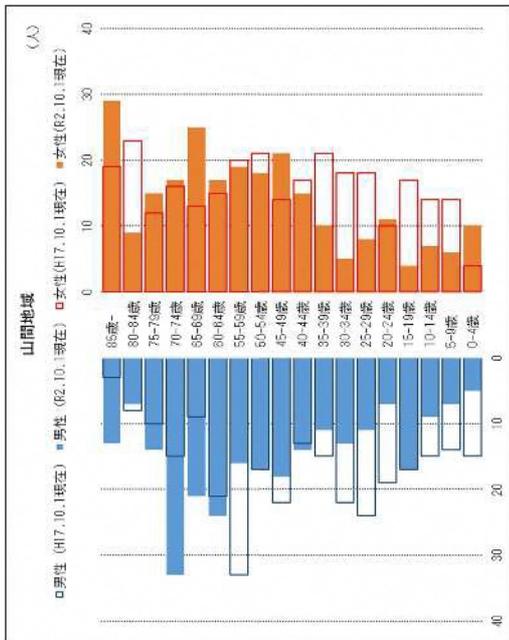
資料：宇治市作成

山間地域の現状

1. 人口

①人口ピラミッド

地域内の人口は、503人(2020/10)です。人口ピラミッドをみると、2005(H17)年から2020(R2)にかけて、少子高齢化が進んでいることがわかります。



②人口減少

山間地域の人口は、宇治市の人口ピラミッドの予想では、2020年から2040年までに、約100人減少します。(社人研による推計では、約140人減少します。)

■地域の人口予測



山間地域	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全体人口ピラミッド	501	501	501	501	503	477	454	430	404
全体人口社人研	501	501	501	501	503	466	431	396	359

2020年から2040年までに15歳から64歳の生産人口は約276人から181人となり、95人減少します。(市の人口ピラミッド予想)

■地域の年齢3区分別人口推移



③地域の通勤人口

現在山間地域に居住する就業者のうち、宇治市内で就業する人の割合は62.6%となっており、35.8%は宇治市外へと働きに出ています。この割合は、市全体の平均と比較して低くなっています。

■地域の人口流動の状況(2015)

流出人口	宇治市(人)	山間地域(人)	(%)
宇治市に居住する就業者	81,764	254	100.0
宇治市で従業	32,890	159	62.6
他市区町村で従業	43,499	91	35.8
府内	34,576	72	28.3
府外	8,297	17	6.7

資料：国勢調査

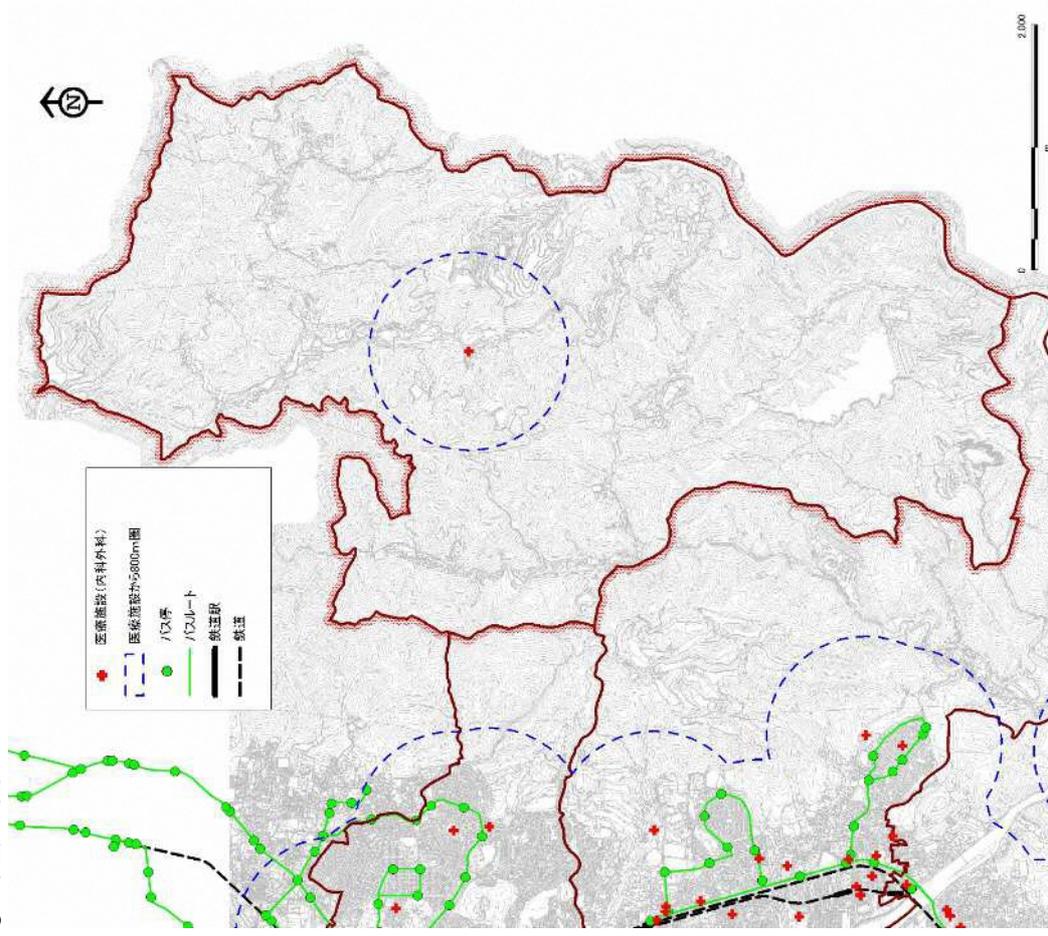
- ④地域の事業所数と従業者数の推移（2009→2016）
- ・2009年と比べて、地域内の事業所数や従業者数は減少しています。（事業所数-1.5%、従業者数-3.3%）
 - ・卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業は減少したが、それ以外の業種は変わらないか、少し増加しています。

■地域内産業別事業所数の推移

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009～2016増減	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	実数	増減率
全産業（S公務を除く）	68	100.0%	67	100.0%	-1	▲1.5%
農林漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
非農林漁業（S公務を除く）	68	100.0%	67	100.0%	-1	▲1.5%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	1	1.5%	1	-
建設業	4	5.9%	4	6.0%	0	0.0%
製造業	45	66.2%	44	65.7%	-1	▲2.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
情報通信業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
運輸業、郵便業	0	0.0%	2	3.0%	2	-
卸売業、小売業	2	2.9%	3	4.5%	1	50.0%
金融業、保険業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
不動産業、物品賃貸業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
宿泊業、飲食サービス業、娯楽業	3	4.4%	1	1.5%	-2	▲66.7%
生活関連サービス業、娯楽業	4	5.9%	4	6.0%	0	0.0%
教育、学習支援業	2	2.9%	1	1.5%	-1	▲50.0%
医療、福祉	2	2.9%	3	4.5%	1	50.0%
複合サービス事業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
サービス業（他に分類されないもの）	6	8.8%	4	6.0%	-2	▲33.3%

2. 生活サービス施設の分布状況

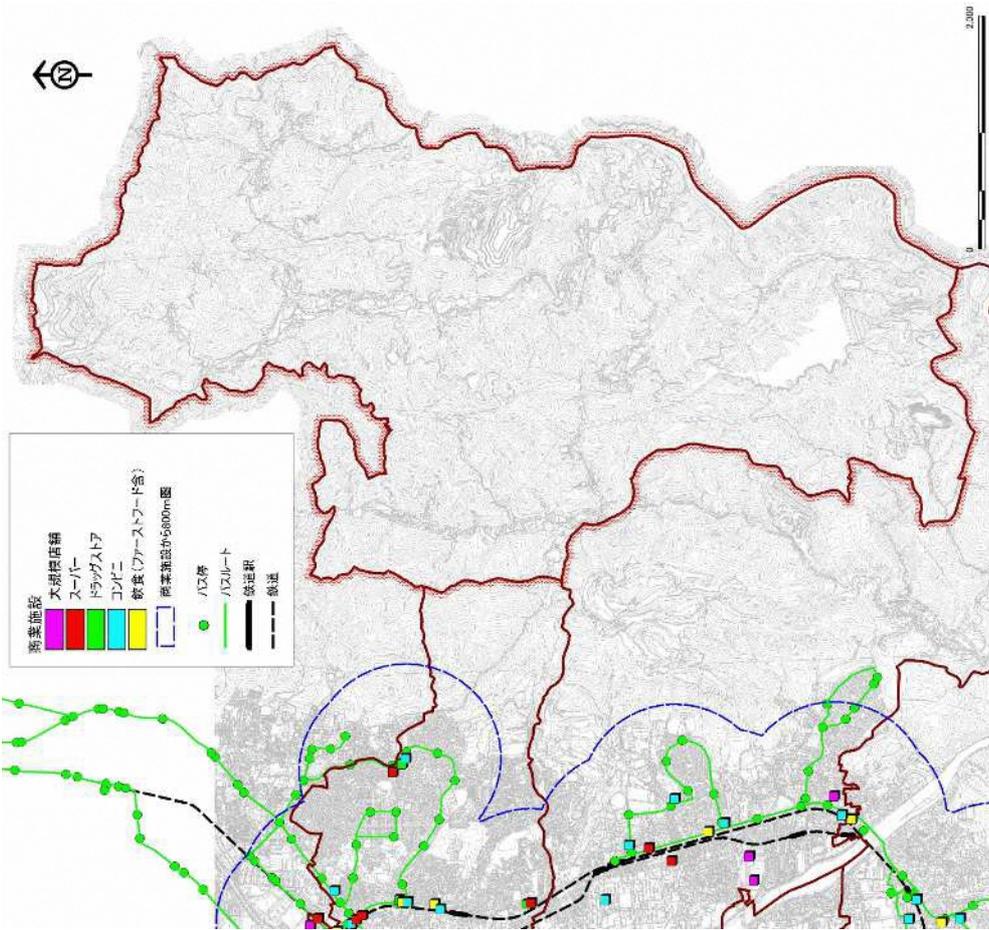
①医療施設と徒歩圏



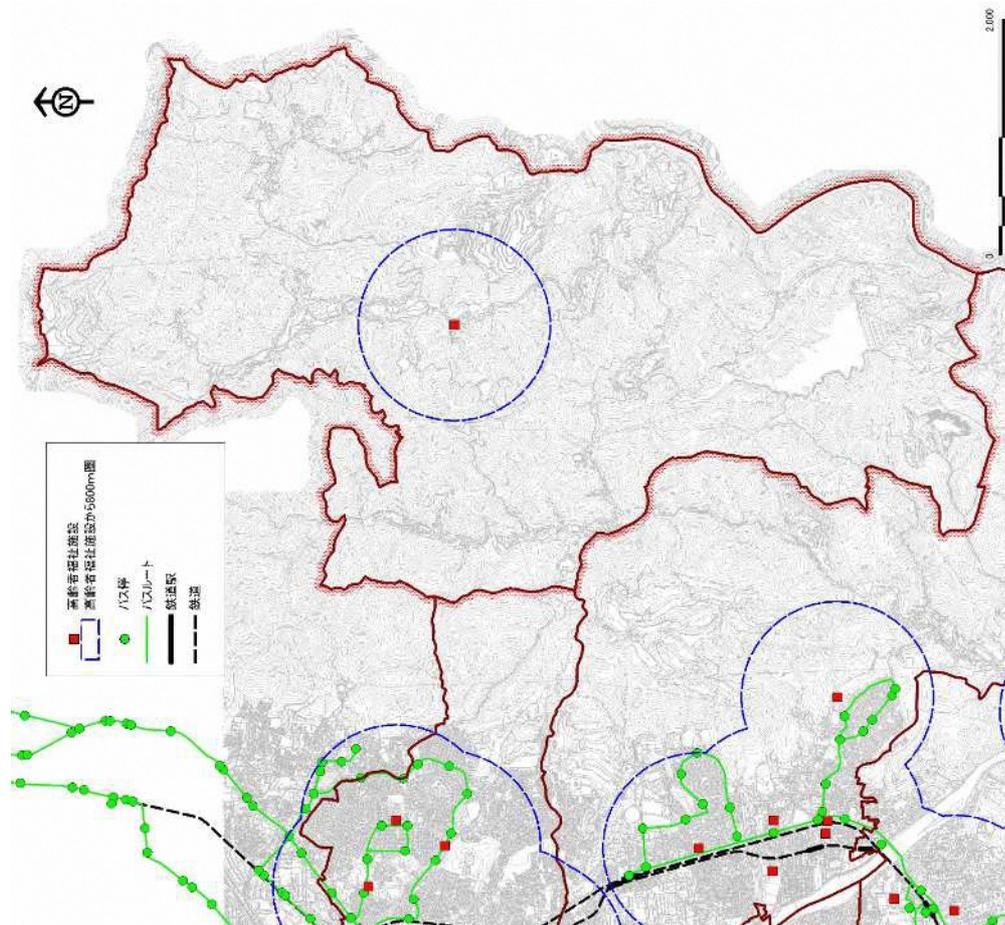
資料：経済センサス

業種	2009(平成21)年		2016(平成28)年		2009～2016増減	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	実数	増減率
全産業（S公務を除く）	361	100.0%	373	100.0%	12	3.3%
農林漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
非農林漁業（S公務を除く）	361	100.0%	373	100.0%	12	3.3%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%	1	0.3%	1	-
建設業	20	5.5%	20	5.4%	0	0.0%
製造業	145	40.2%	151	40.5%	6	4.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
情報通信業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
運輸業、郵便業	0	0.0%	17	4.6%	17	-
卸売業、小売業	6	1.7%	4	1.1%	-2	▲33.3%
金融業、保険業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
不動産業、物品賃貸業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
宿泊業、飲食サービス業、娯楽業	27	7.5%	21	5.6%	-6	▲22.2%
生活関連サービス業、娯楽業	53	14.7%	30	8.0%	-23	▲43.4%
教育、学習支援業	19	5.3%	31	8.3%	12	63.2%
医療、福祉	70	19.4%	70	18.8%	0	0.0%
複合サービス事業	0	0.0%	0	0.0%	0	-
サービス業（他に分類されないもの）	21	5.8%	28	7.5%	7	33.3%

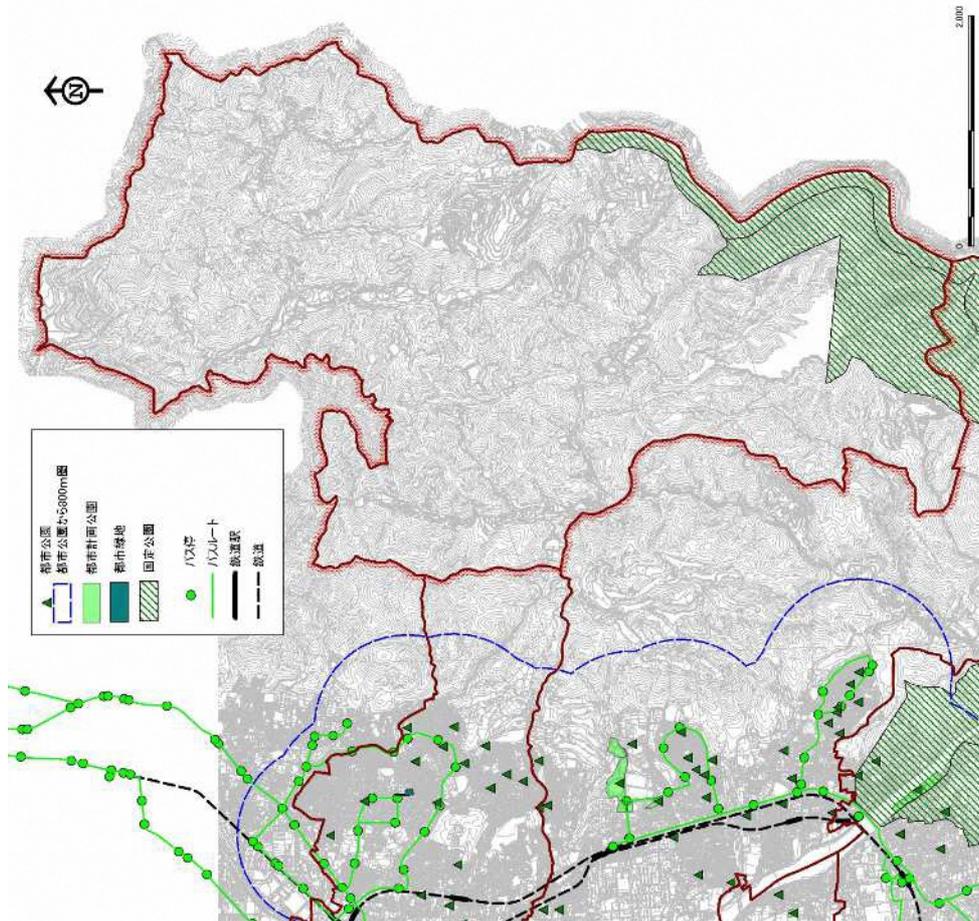
③商業施設と徒歩圏



②高齢者福祉施設と徒歩圏



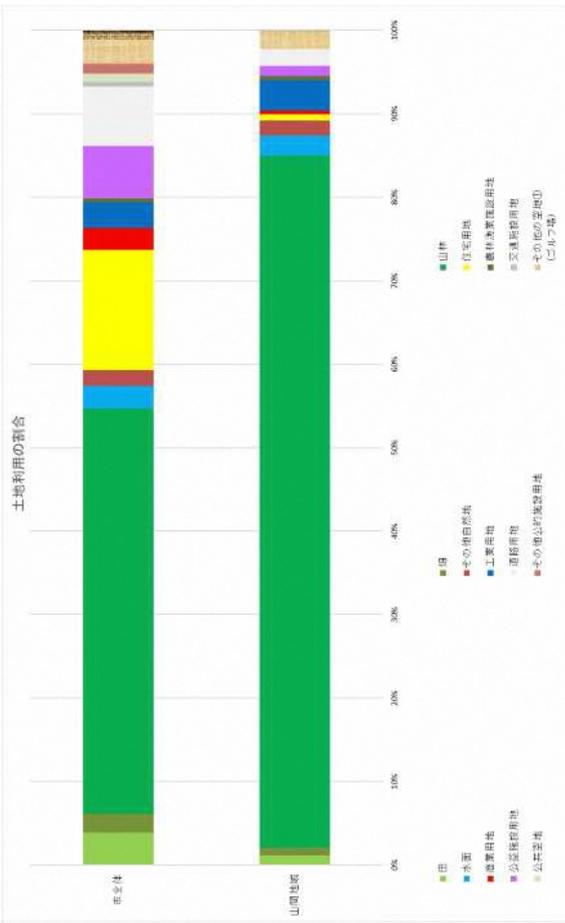
④公園と徒歩圏



3. 土地

①土地利用

山間地域は山林の割合が市全体と比較して大きくなっている。資料：都市計画基礎調査(R2)



②用途地域別面積構成 (市街化区域内) 2019.3

山間地域に市街化調整区域がかかる。



住居系			商業系			工業系			
第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	第三種住居地域	近隣商業地域	商業地域	工業地域	合計
Oha	Oha	Oha	Oha	Oha	Oha	Oha	Oha	Oha	Oha

資料：宇治市作成